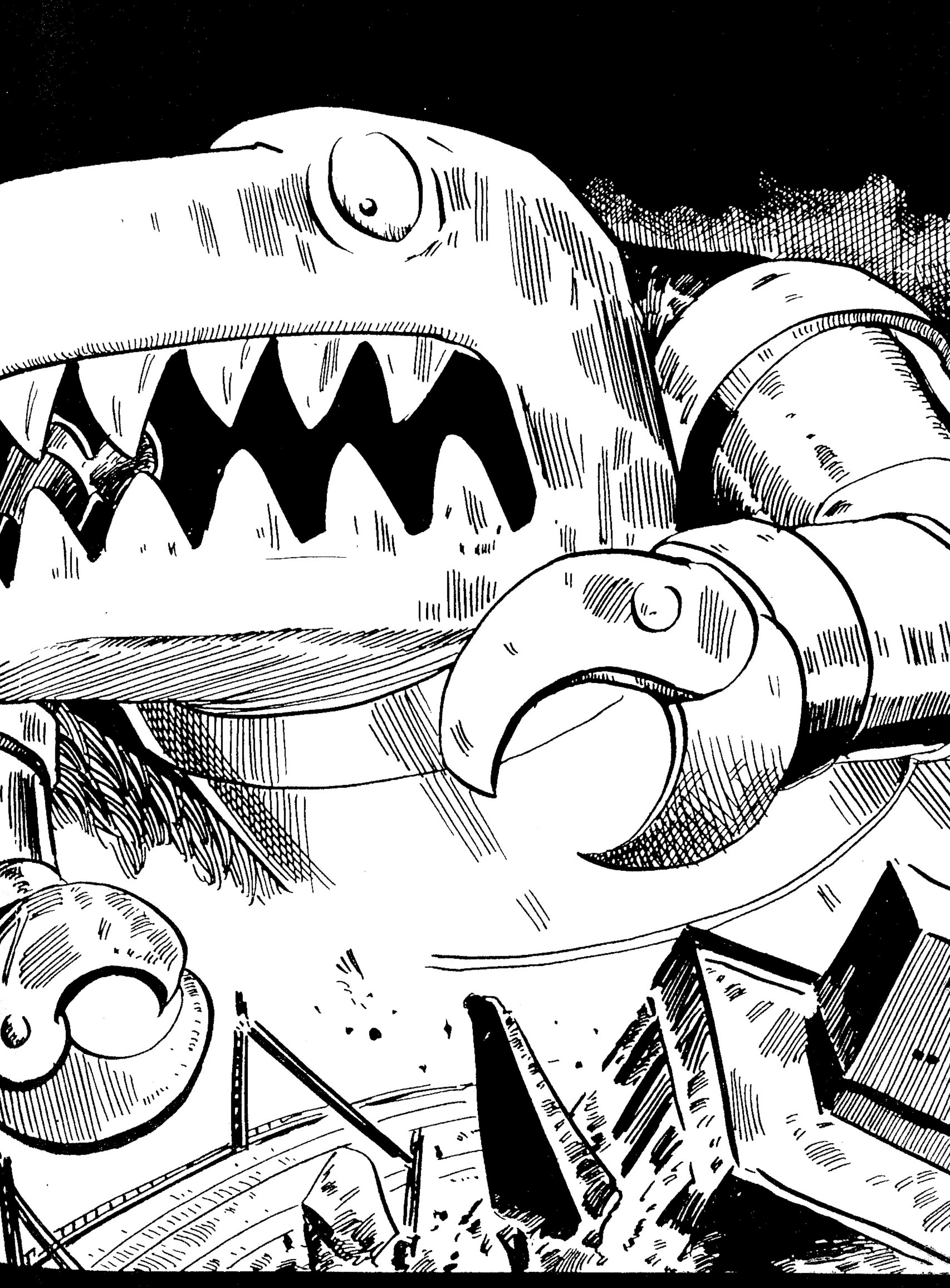

水木伝説XIII
怪獣漫画特集
絵

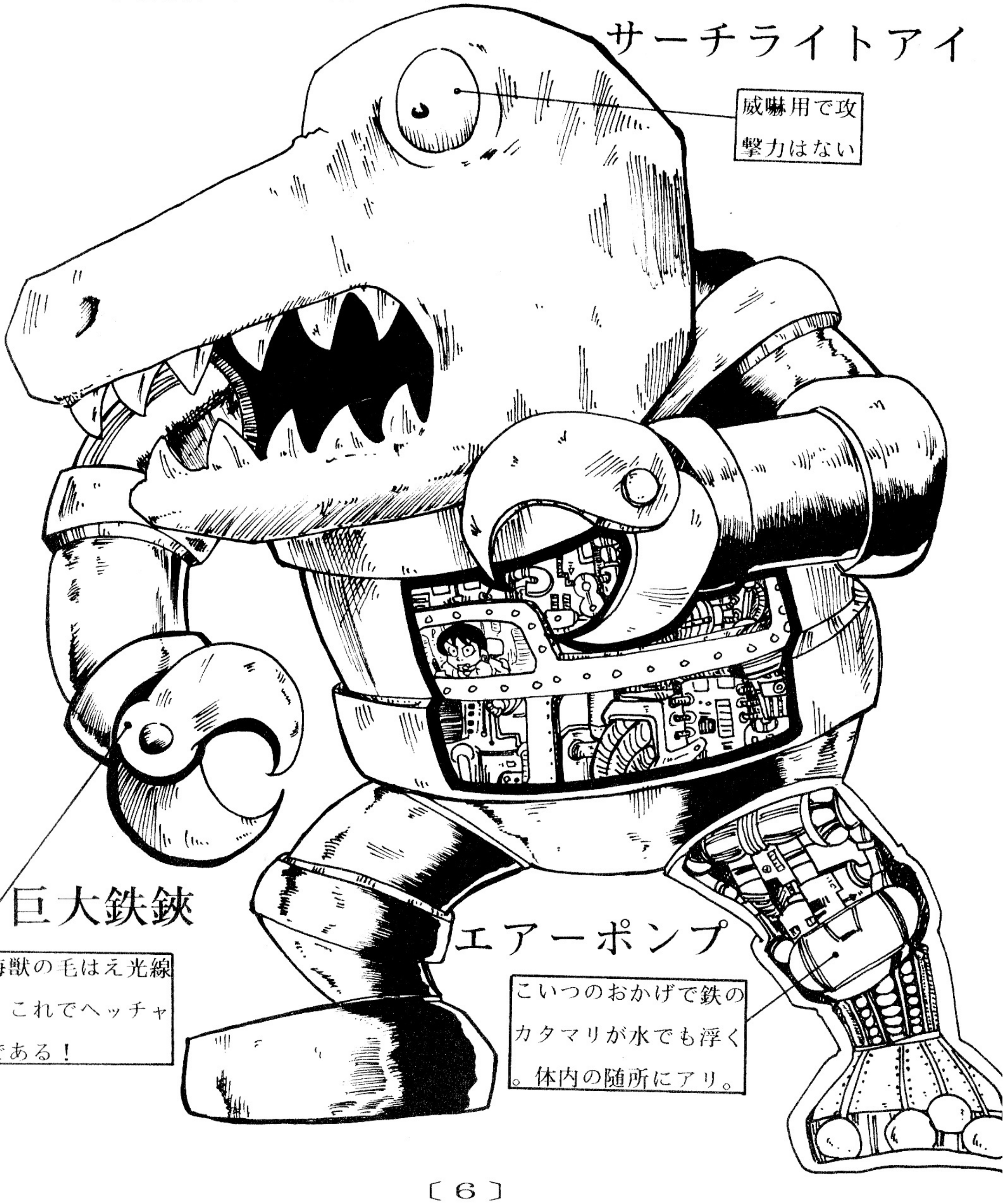

水木伝説XIII
怪獣漫画特集
総天然色




ヴォーン
バシッ
日本に突然現われた鯨の祖先・ゼウグロノドンが町を破壊している！
自衛隊の攻撃ももろともしないこの怪獣に政府は鉄の大海獣を開発し差し向けた
怪獣とロボットの死闘に都市はしだいに破壊されて行く！
頼むぞ！鉄の大海獣！
日本を守ってくれ！

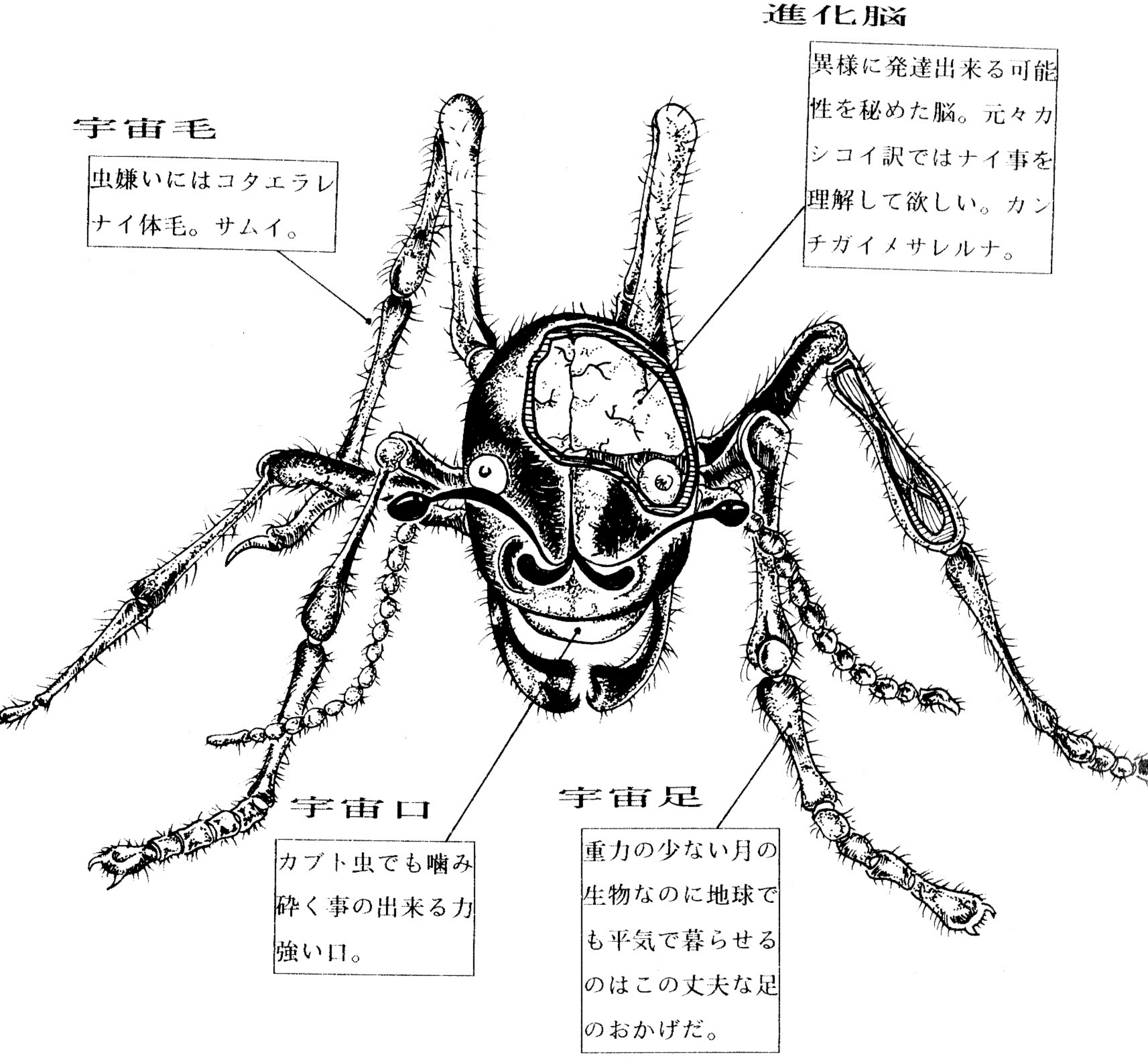
対ゼオクロノドンロボ

若き天才科学者・山田秀一が私欲にかられ、鬼太郎を大海獣にした。証拠隠滅・大義名分で、その大海獣を退治するためにつくられたのが、このロボットである。製作費は、なんと昭和４１年当時で５億円もかかっているのだ！



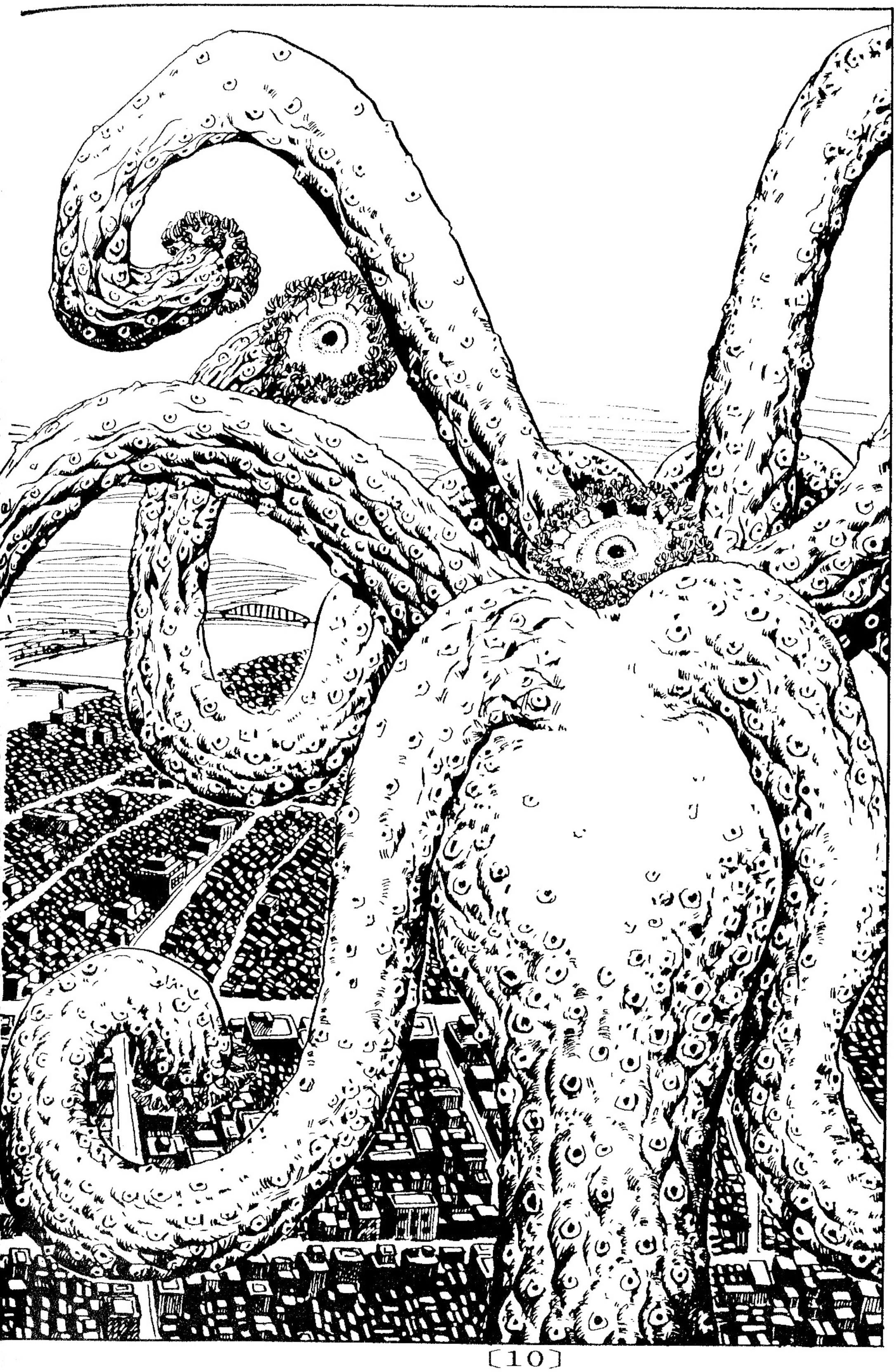
宇宙虫

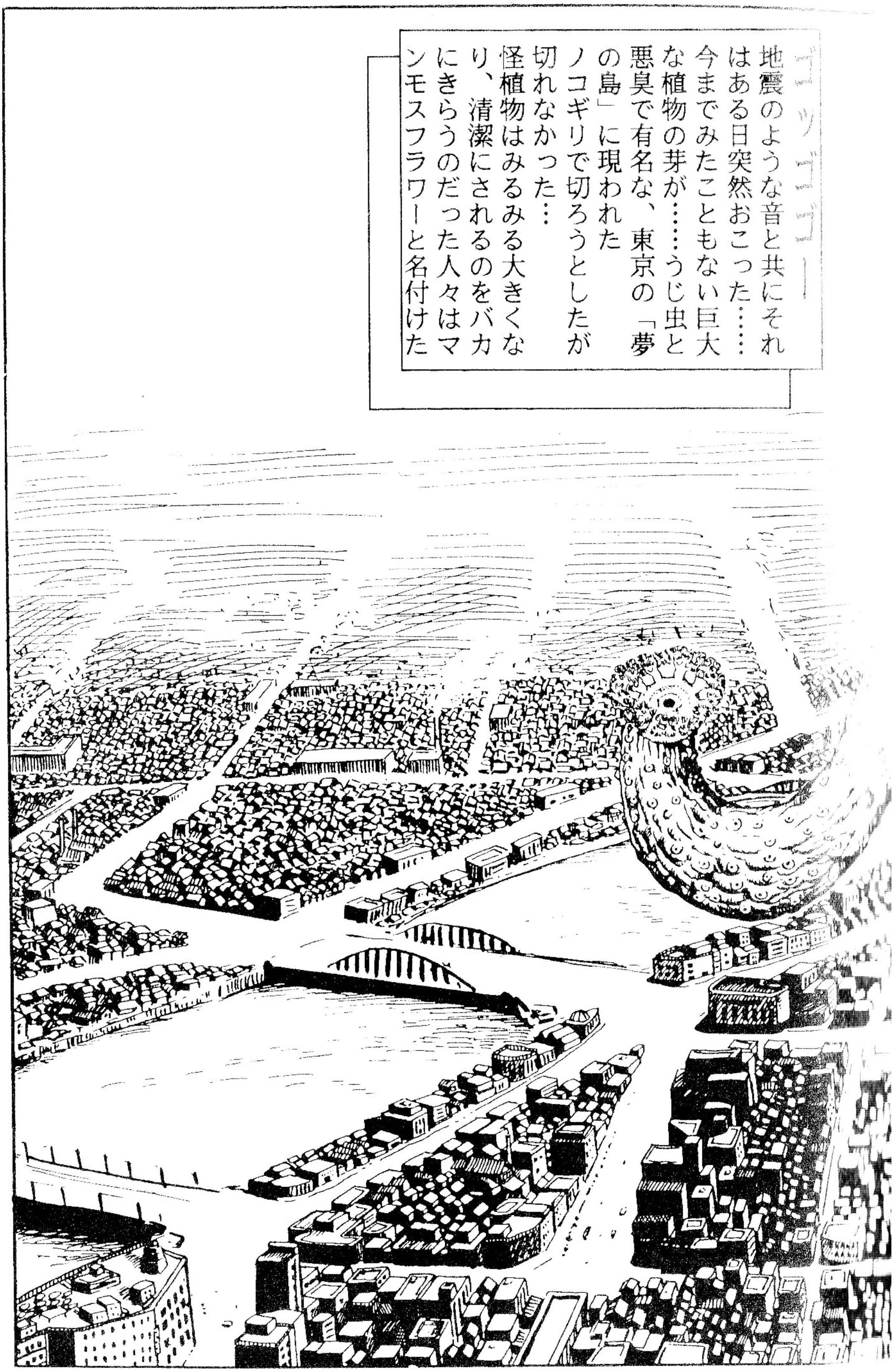
月に生息する虫。とても進化性に優れていて、人類が何億年もかけて成し遂げた文明をわずか４～５ヶ月で成し遂げる力を持つ。



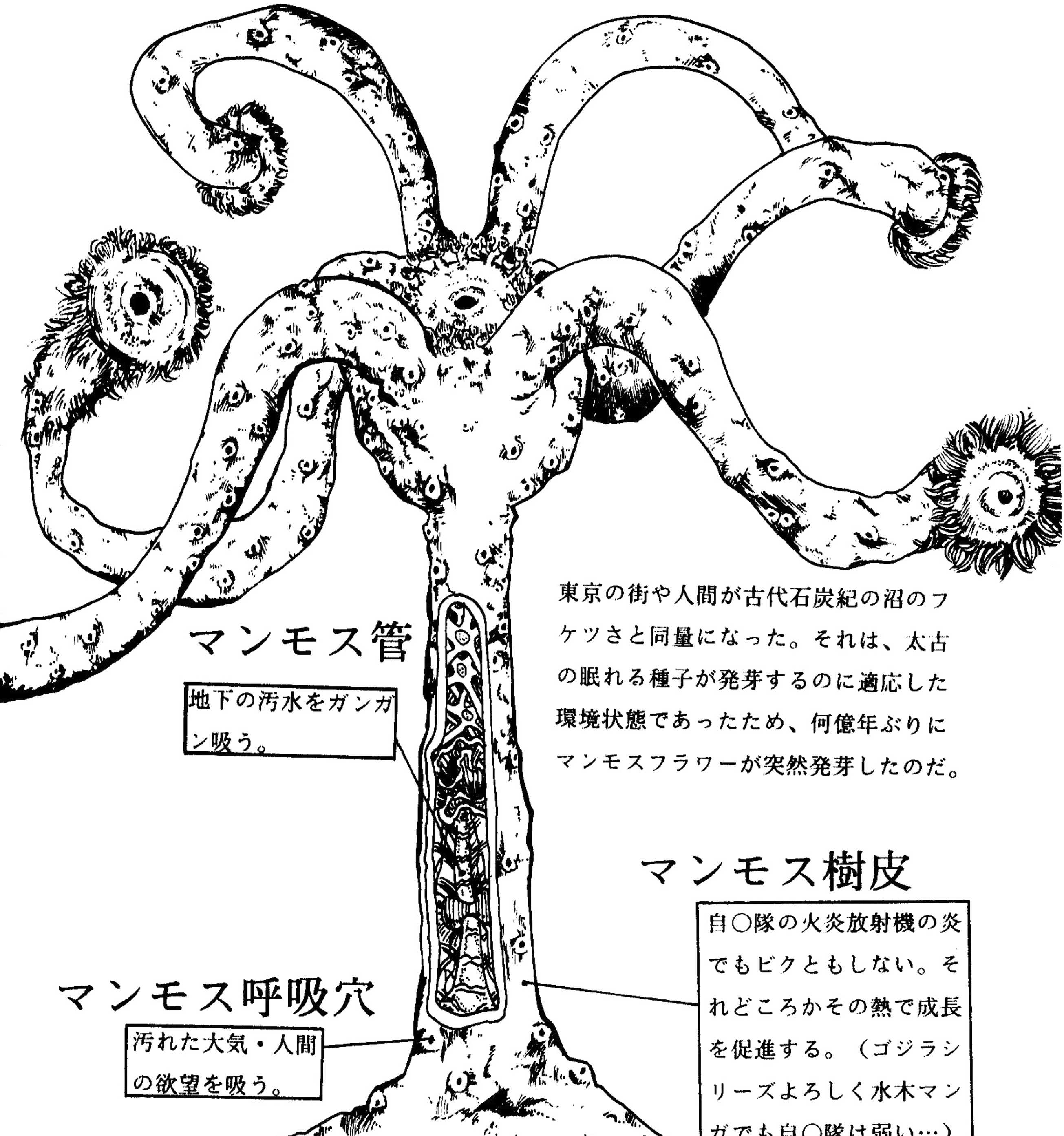

霊獣マッサライは夢の中だけに現われる伝説の怪獣だ
金に目の眩んだ者たちはマッサライを求めて南方の聖地へ足を運ぶが生きて帰った者はない！
しかし…
ニューギニアでマッサライそっくりの怪獣が死体で捕獲されたことがある！
あの生き物は何だったのだろうか…






ゴッゴゴー
地震のような音と共にそれはある日突然おこった……
今までみたこともない巨大な植物の芽が……うじ虫と悪臭で有名な、東京の「夢の島」に現われた
ノコギリで切ろうとしたが切れなかった…
怪植物はみるみる大きくなり、清潔にされるのをバカにきらうのだった人々はマンモスフラワーと名付けた

マンモスフラワー



東京の街や人間が古代石炭紀の沼のフケツさと同量になった。それは、太古の眠れる種子が発芽するのに適応した環境状態であったため、何億年ぶりにマンモスフラワーが突然発芽したのだ。

ビチゴン

２０００年前に冬眠に入ったという世界一臭い怪物。

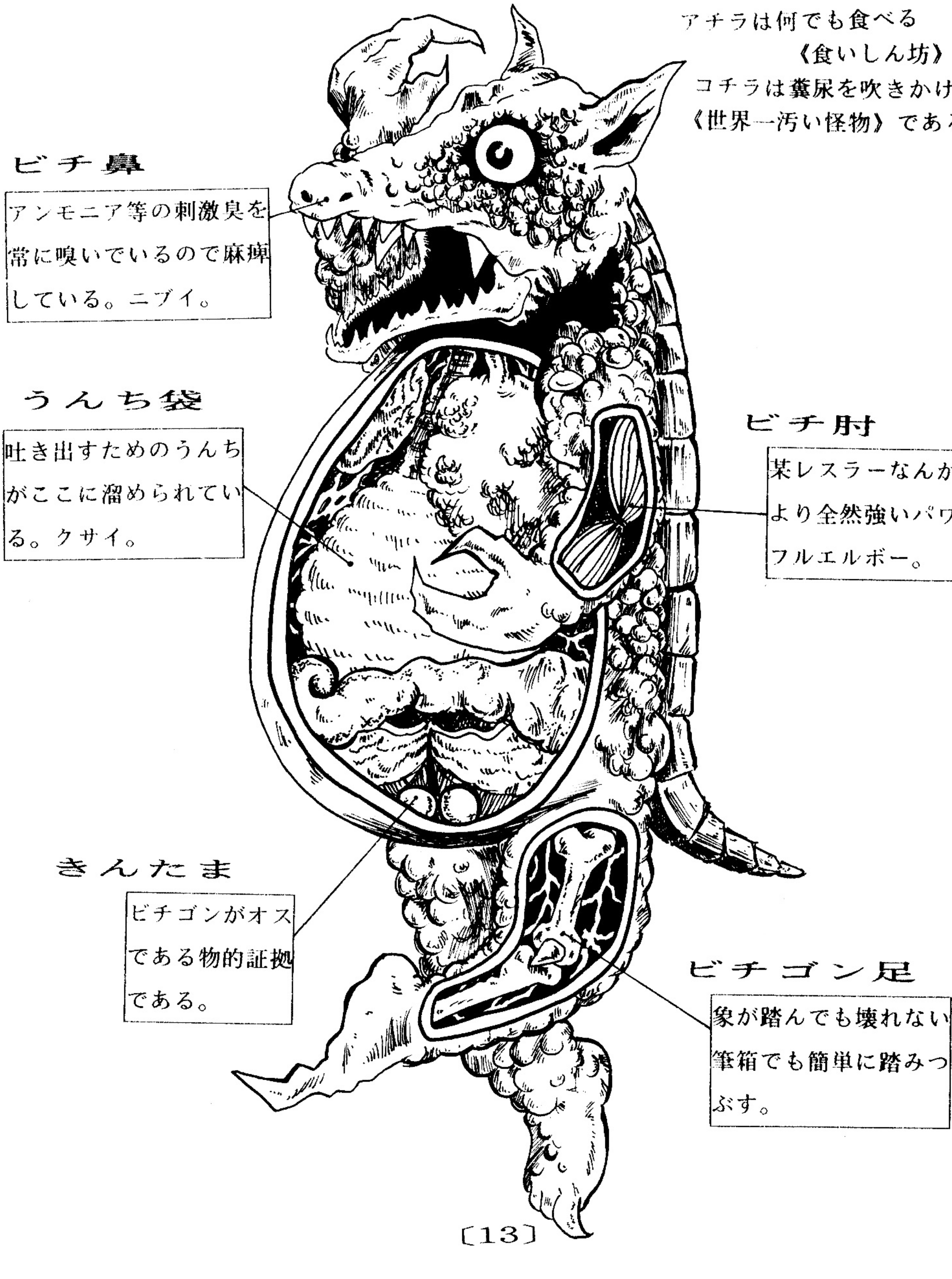
「ペロリゴン」に外見はよく似ているが、

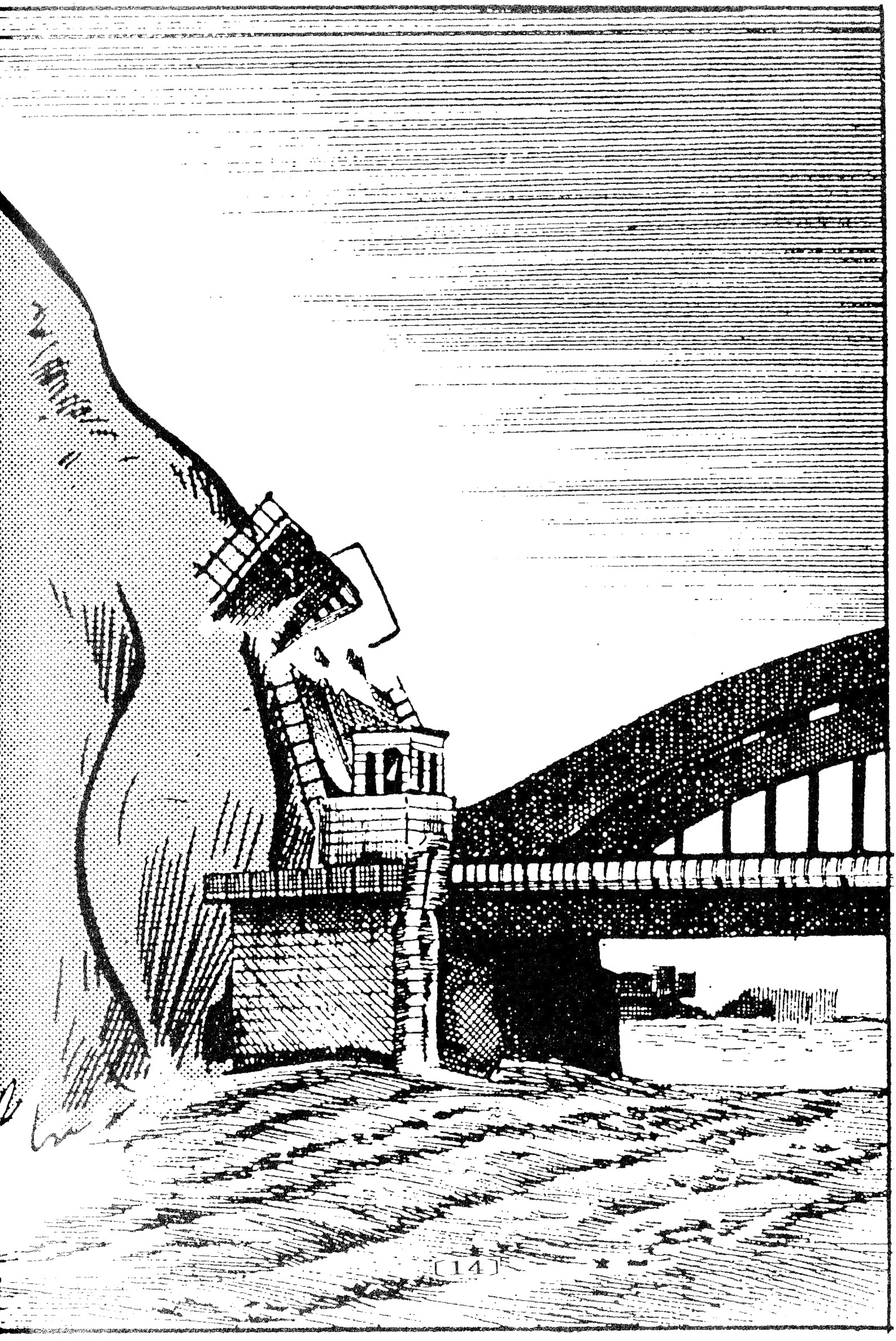
アチラは何でも食べる

《食いしん坊》、

コチラは糞尿を吹きかける

《世界一汚い怪物》である。





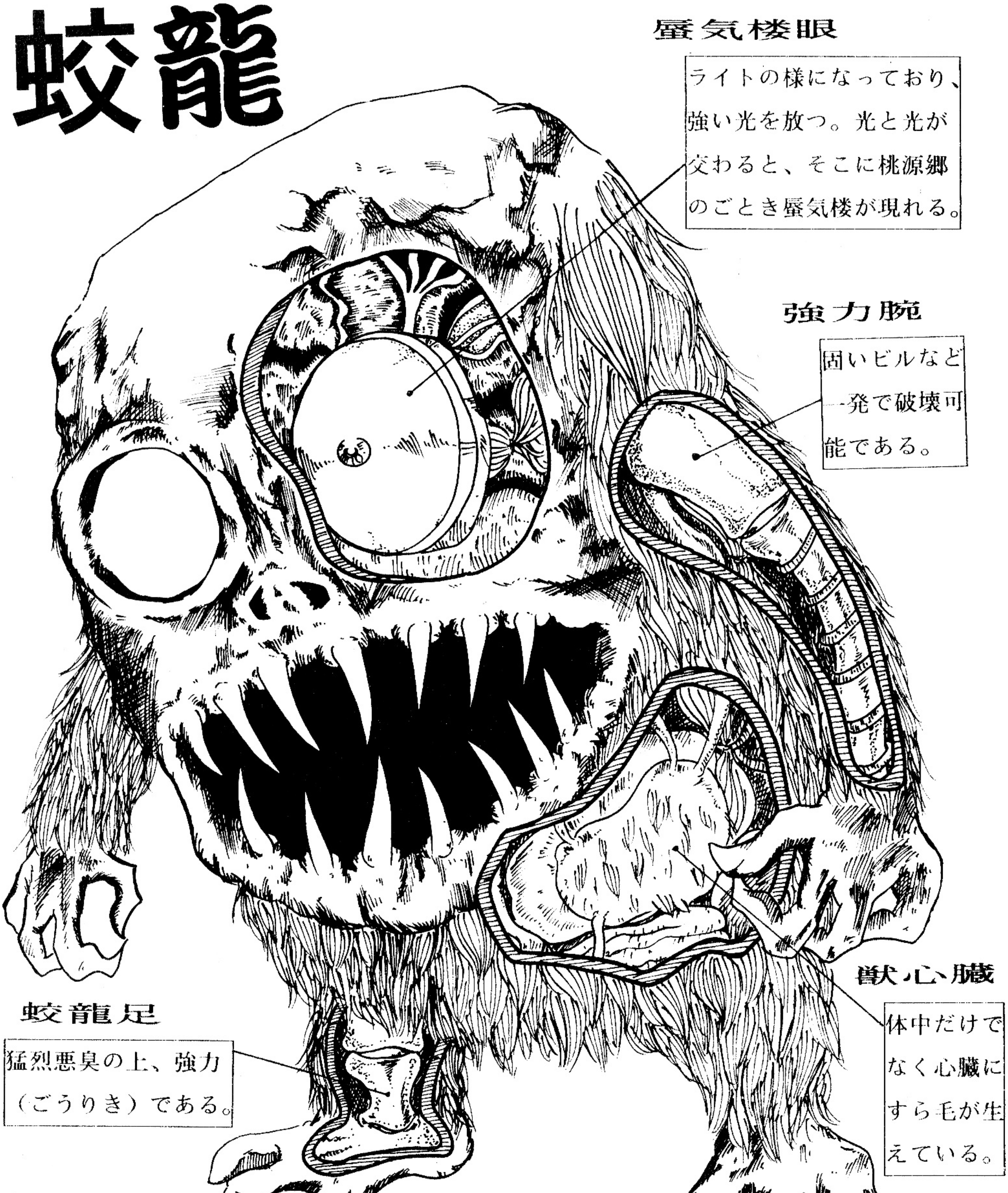

しかし
母は子をもとめて
どこまでも
進んできます
ボギ




ウォー
四国の山奥に封印されていた「八百八狸」が復活した
八百八狸は妖怪獣「蛟龍」と「妖怪なまず」を操り人類に戦線布告してきた
まず蛟龍が日本の都心に現われ破壊を続ける
人類の武器では歯が立たない…
そんな時！正義の妖怪・鬼太郎が立ち上がった！

７０年生きた蛇が蜃気楼の中に入って卵を産み、その卵が孵化して地下に入り、数百年を経ると丸くなって天に昇り蛟龍となるという。蛟龍は千年か万年に一度現れるか否かという珍しい妖怪獣（「妖」の一文字が付くのはダテではなく、怪獣よりも強い）である。

蛟龍



怪獣大図鑑

凡例

1・このコーナーは、水木漫画に登場する『怪獣』の特集である。

2・『怪獣』とは、以下の3つの基準の内、2つ以上当てはまるものである。

A 巨大である　B 奇妙な能力を持つ生物である　C 私の独断と偏見

3・また、各々の『怪獣』は以下の12種に分類され、紹介順もそれに従っているが文中特に示していないので、ここで覚えて下さい。

い・妖怪獣	巨大な妖怪	ろ・巨大妖怪	巨大化した妖怪
は・未知生物	生態や存在が未知の生物	に・異次元生物	別世界の生物
ほ・巨大生物	巨大化した生物	へ・突然変異	性質が変容した生物
と・怪虫	特殊能力を持つ昆虫	ち・怪植物	特殊能力を持つ植物
り・不定形生物	特定の容姿を持たない生物	ぬ・人工生命	人工的に創造された生物
る・機械獣	ロボットや巨大メカ	を・その他	分類不可能な怪獣達

4・解説文中の記号については以下の通りである。

①体長　②体重　③出身地・出現地　④武器・能力　⑤弱点　〔 〕登場作品

妖怪獣蛟龍（ようかいじゅう こうりゅう）



①60ｍ②1500ｔ③東京湾（第2の月）④蜃気楼光線⑤目〔ゲゲゲの鬼太郎〕

70年生きた蛇が蜃気楼の中で産んだ卵から孵化した蛇が、地下で数百年を経て丸くなり天に昇って誕生するという非常に珍しい《妖怪獣》。

ビルを丸かじりする程の頑丈な牙と、目から発射して相手に幻覚を見せる《蜃気楼光線》を武器に暴れ回る。

糞射妖怪獣（ふんしゃようかいじゅう）ビチゴン



①40ｍ②2000ｔ③天神峠の底無し穴④糞噴射〔悪魔くん〕

天神峠の底無し穴の中で冬眠していたが、穴の中に大量の豚の糞を流し込まれた為に眠りから醒めて暴れだした。

口から豚の糞を噴射するという世界的に類を見ない奇抜な攻撃で町を襲う。何故県庁や都心を襲うのかは不明。『ペロリゴン』の兄弟分で学名『ペケペケザウルス』。

毒血怪獣（どくちかいじゅう） 怪物（りゅう）



①30m②500t③梓川上流にある禁断の湖・月〔河童の三平〕

『ストトントノス大王』の秘宝を守る第一の妖怪。当初は『河童』と敵対関係にある『川獺』の守護神的妖怪だと思われていたが、実は『ストトントノス大王』が秘宝を守る為に残した月の妖怪の子孫だった。

月（つき）の妖怪（ようかい） かわうそ



①30m②750t④食欲・毒血⑤仙果の粉末〔縄文少年ヨギ〕

あらゆる動植物を食べ尽くしながら移動する怪物。退治するには『山の精』が持つ《仙果の粉末》を飲ませるしかない。

使徒（しと）家獣（やじゅう）



⇨タイプB

⇧タイプA



①1〜15ｍ②不定③奥軽井沢／タイプA〔悪魔くん千年王国〕〔ノストラダムス大予言〕／タイプB〔悪魔くん世紀末大戦〕〔最新版悪魔くん〈バウー〉〕

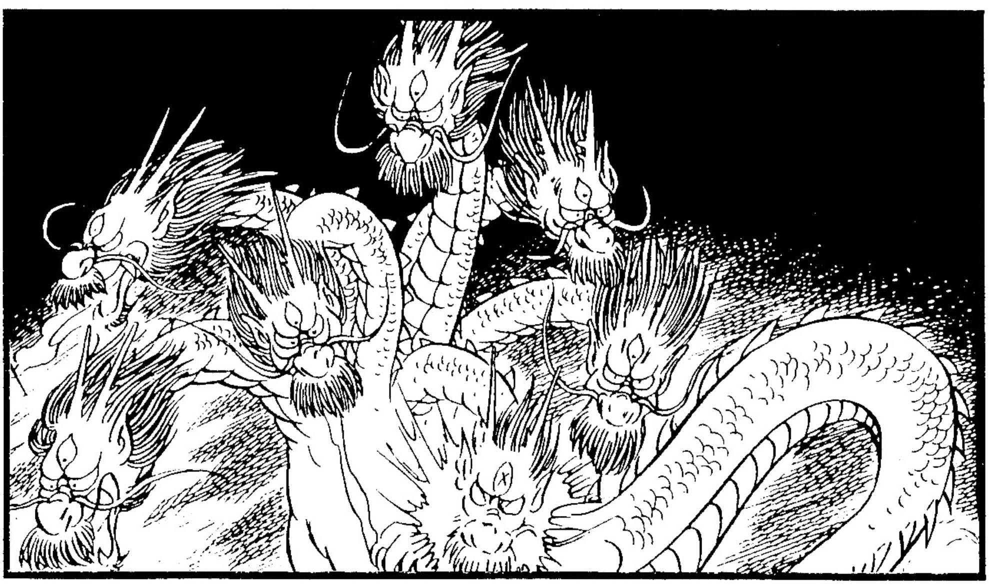
体内に人間を住まわせ、その人間の糞で野菜や果実を栽培して共存する家の形をした生物。

水中でも活動する事ができ、『悪魔くん』の第六使徒として活躍する。

『悪魔くん』の指令が無いときは普通の建物、もしくは建物の一部としてじっとしている。

〔最新版悪魔くん〕では第八使徒『バウー』として、《異次元移動》と《光線反射能力》を得て活躍した。

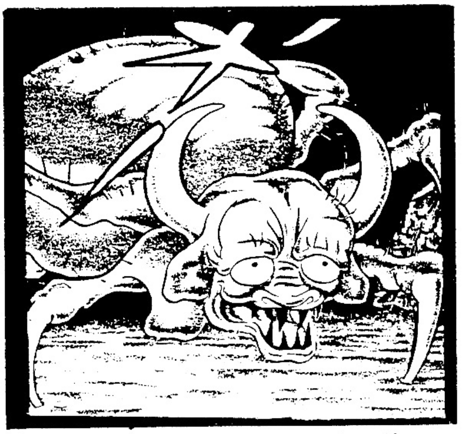
魔王（まおう）シーレン



①２〜10ｍ③フランス④魔力・妖術⑤アロンの杖・モーゼの柩〔ノストラダムス大予言〕

かつて人間界支配を企て、モーゼに封印されて地中海に沈められていた。『死神伯爵』の手によって蘇り、歴史を裏から操る。

気体妖怪（きたいようかい） 牛鬼（ぎゅうき）





初代（右）　二代目（左）　三代目（左下）

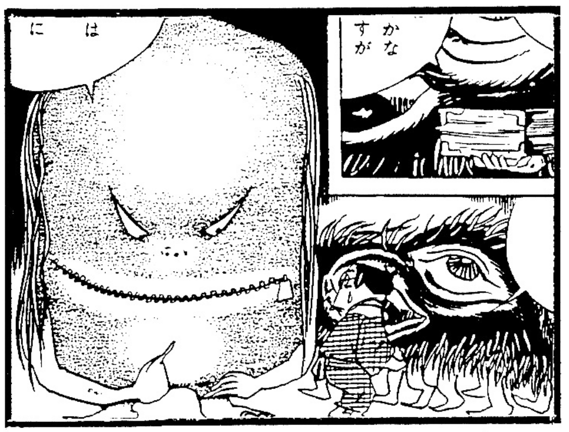


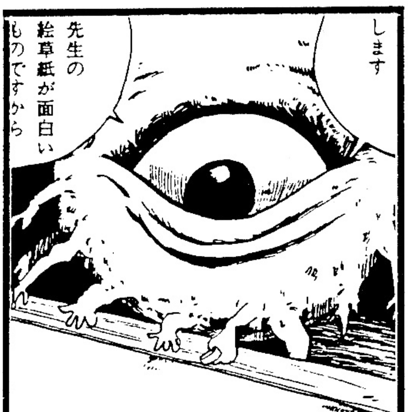
初代は『吸血鬼』と戦い共倒れ、二代目は『カルラ様』に封印される。

そして三代目はゲゲゲの森で暮らしている。

〔鬼太郎夜話（初代）〕〔ゲゲゲの鬼太郎（二代目）〕〔新編ゲゲゲの鬼太郎（三代目）〕

怪物（かいぶつ） マチコミ







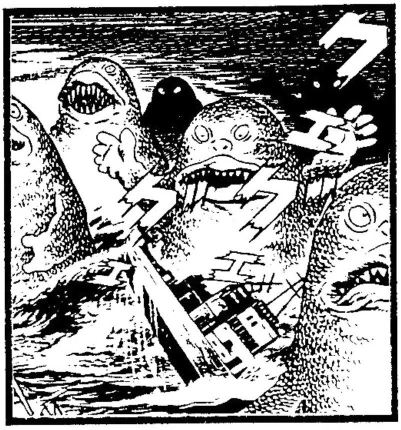
①1〜2m④アイデア吸収〔怪物マチコミ〕

有望な新人の元へ集い、その新人のアイデアを絞り取って廃人にしてしまう恐ろしい怪物。

しかし、旨く付き合えば名士になれる。

別名《ジャーナリズム》。

海底人（かいていじん）アンドリアス



①20m③海底⑤ある種の音波〈悪魔くん世紀末大戦〉

太古の昔より海底を支配していた『邪神クルール』の手下。

進化した山椒魚で、学名『アンドリアス・ショイクゼリ』

不死身妖怪（ふじみようかい）大鯰（おおなまず）



①100m②32t③地下湖④熱光線⑤低温〈ゲゲゲの鬼太郎〉

地下湖に棲息する不死身の『妖怪獣』。

『刑部狸』の神通力によって操られ、東京を破壊する。

吸生気怪物（きゅうせいきかいぶつ）蛸足（たこあし）



①30m〜無限③長野県梓川の上流・天の岩戸④吸生気〈悪魔くん〉

生物の生気を吸い取って巨大化する。

『油すまし』のペット。

食河童生物（しょくかっぱせいぶつ）妖怪（ようかい）クラゲ



①180m③地下世界④毒針〈河童の三平〉

普通の胃の他に、河童専用の溶解胃を持つストトントノス海の主。

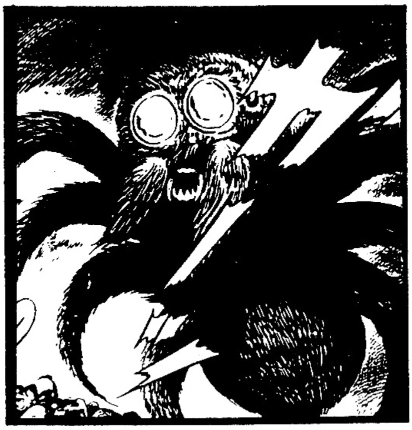
『河童』を食べると500年も生きる事が出来る。

ムーの刺客（しかく）獣人（じゅうじん）



①6*m*②40t③ムーの国
④怪力〔鬼太郎国盗り物語
古代魔法を使う魔道師の手下。
怪力しか芸が無い。

樹海妖怪（じゅかいようかい）土蜘蛛（つちぐも）



①1〜10*m*③樹海④変身能力〔妖怪博士の朝食〕
人間に化けて出版社を経営し、《樹海天国》という本を出版して人間を樹海に誘い込んで生気を吸い取っていた。

海魔神（かいまじん）大海魔（だいかいま）



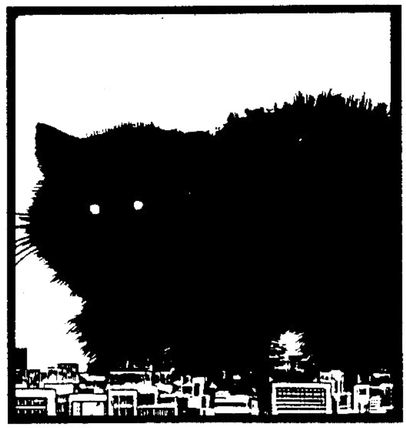
①50*m*④毒ガス〔死神大戦記〕
霊魂を食べ、体内で猛毒ガスに変えて吐き出す。
『サタン』の手下で『パイドン』との関係は不明。

水操妖怪（すいそうようかい）赤舌（あかじた）



①10*m*②170t〔ゲゲゲの鬼太郎〕
水を自在に操る妖怪で、地下で暮らしていたのだが酸素不足の為に地上へ出て来た。
妖怪の王になるべく『鬼太郎』を襲う。

妖猫 影食い猫



①30㎝～無限③エジプト④擬態〔新ゲゲの鬼太郎〕

擬態を使って姿を隠し、影（闇）を食べ尽くして地上を砂漠にする。

エジプトが砂漠化したのもこいつの仕業らしい。

火炎魔獣 フォービ



①40m②300t④火気・炎糞・バリアー〔最新版悪魔くん〕

《火気》と言う炎を遠隔操作する魔法を使う魔物。

真っ赤に焼けた糞を蹴り飛ばして攻撃し、バリアーを張って身を守る。

黒猫妖怪 魔猫



①20m②200t③イギリス⑤九つの魂〔新編ゲゲゲの鬼太郎〕

女教師に憑依して日本の子供を洗脳し、自分の王国を築こうと企む。

九つの魂を持つ。

吸引妖怪 野づち

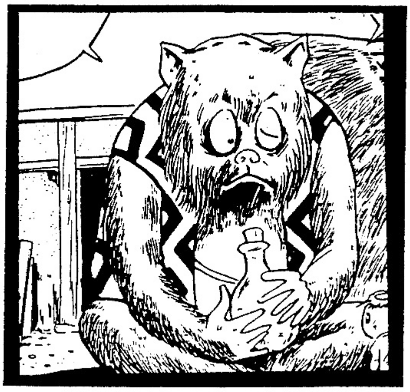


①50m②5000t③野づち塚④吸引力〔ゲゲゲの鬼太郎〕

物凄い吸引力であらゆる物を吸い込む。

普段は塚の下で眠っている。

地蔵狸（じぞうたぬき）



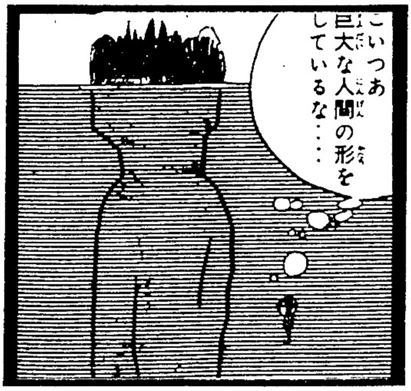
河原家の大根畑の下で、地蔵の力によって封印されていた《妖怪狸》。イタズラ狸が掘り起こしてしまった。同類に『狸囃』という妖怪がいる（？）。〔河童の三平〕

ハンザキ大明神（だいみょうじん）



《ロボット病》という人間を無気力化させる奇病を流行らせた。しかし、その目的については明かされる前に倒されたので不明である。〔フ～シギくん〕

人食い島（ひとくいじま）



和歌山県佐々岡村の沖で、島になりすまして『海神』と偽って生け贄を要求していた。

風を自在に操る。〔ゲゲゲの鬼太郎〕

マンモス殿下（でんか）



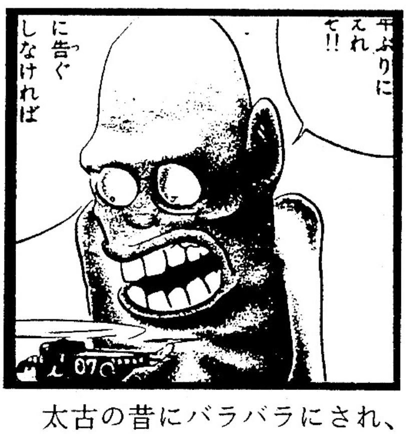
子供の髪の毛を食べて成長する。相手に髪の毛を絡ませて動きを封じる。《お化けナイター》の『マンモス男』との関係は不祥。〔雪姫ちゃんとゲゲゲの鬼太郎〕

家獣（やじゅう）



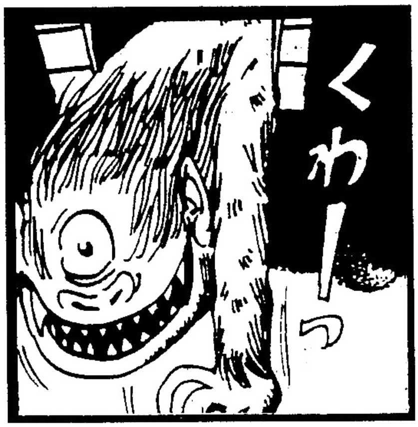
魔女裁判を逃れて、日本へ逃げて来た家の姿をした魔物（ちゃんと内蔵は家具の形をしている）。英語の煙文字で意思表示をする。〔新編ゲゲゲの鬼太郎〕

ダイダラボッチ



太古の昔にバラバラにされ、日本各地に封印されていた巨人。ダイダラボッチ教の信者によって封印が解かれて復活し、日本列島を食べ始める。〔ゲゲゲの鬼太郎〕

灼熱妖怪（しゃくねつようかい） ひでり神（かみ）



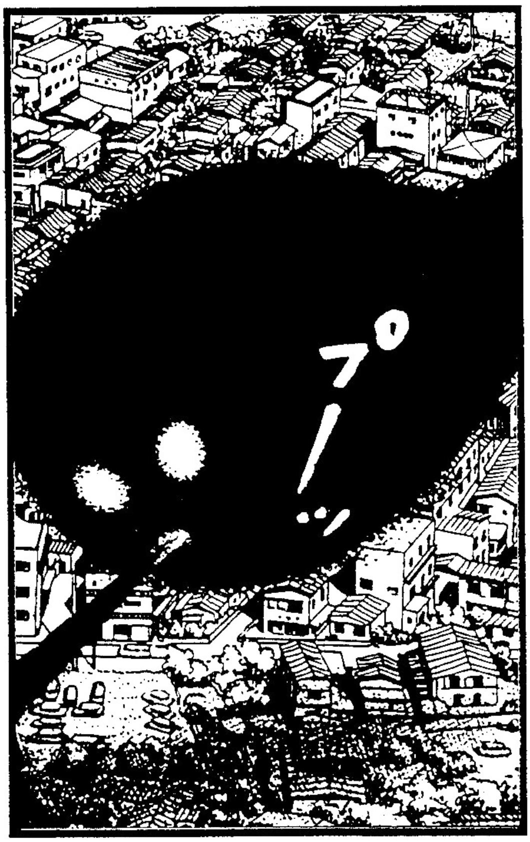
①1〜15*m*④熱気・炎〔ゲゲゲの鬼太郎〕
熱気を利用したホバークラフトを乗り回す。火口に落ちてパワーアップした。



吸煙妖怪（きゅうえんようかい） 煙羅煙羅（えんらえんら）



①不定②不定③炭焼き小屋④噴射ガス〔新編ゲゲゲの鬼太郎〕
煙を吸って生きていたが、都会の有害な煙を吸い過ぎて巨大化した。



総大将（そうだいしょう） ぬらりひょん



①170㎝～20ｍ④強力な妖術〔最新版ゲゲゲの鬼太郎〕

『鬼太郎』に《先祖流し》で過去に送られたが、人間の邪悪な心を吸収して妖怪の総大将となる。



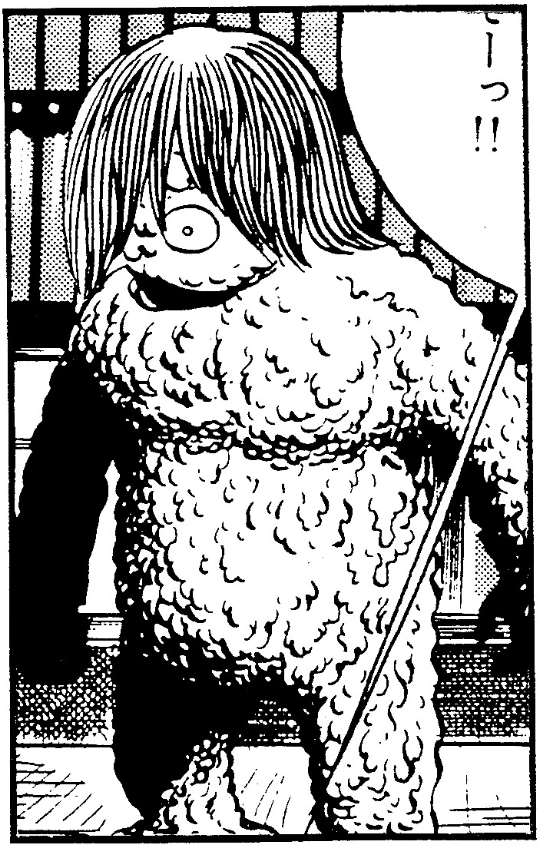
公害妖怪（こうがいようかい） あかなめ



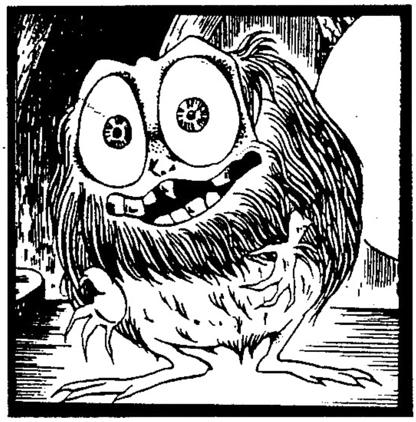
①150㎝～100ｍ③夢の島④同化吸収⑤太古の植物〔ゲゲゲの鬼太郎〕

廃液やメタンガスの影響で巨大化した。

体に触れるものを同化してさらに巨大化する。



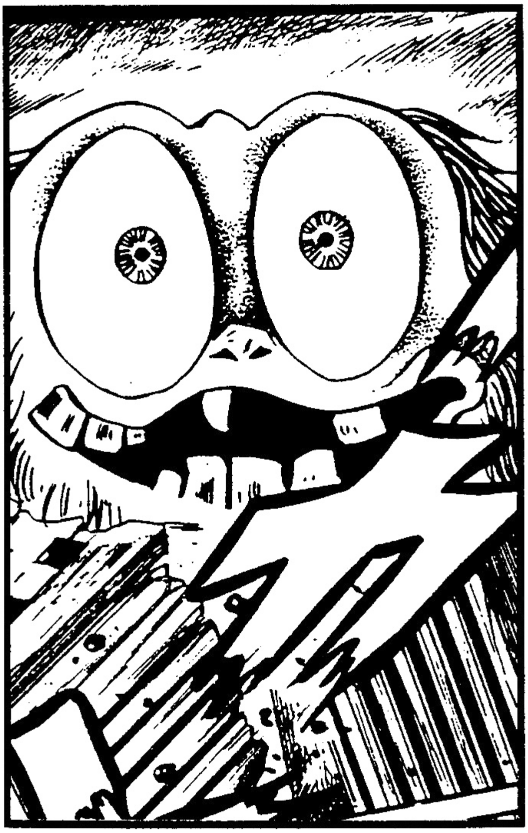
地獄の妖怪獣 ヨナルデパズトーリ



①1～50ｍ③メキシコの地獄④地獄流し〔最新版ゲゲゲの鬼太郎〕

『ぬらりひょん』の霊波で巨大化し、殺した人間の魂を地獄へ送る。

後に『悪魔くん』の使徒となる。



毛髪妖怪 夜叉獣



①不定③寄生〔最新版ゲゲゲの鬼太郎〕

他の生物に寄生し、魂を食べて生きている妖怪『夜叉』の一族が合体した姿。



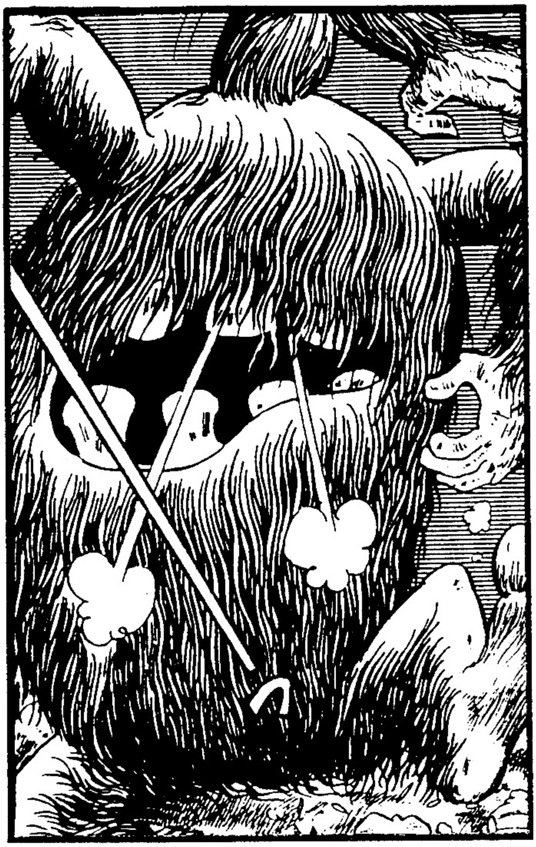
地底魔獣（ちていまじゅう） エルフ



①1〜10③地底④超音波⑤太陽光線〔最新版悪くん〕

《超音波》を使い攻撃したり、地面を掘り進んで移動したりする。

仲間を体内に取り込んで巨大化する。



紳士悪魔（しんしあくま） トミー



①150cm〜15m③イギリス④バラバラボーン〔最新版悪魔くん〕

体をバラバラにして攻撃してくるイギリスの紳士悪魔。

魔天道のパワーで巨大化した。



ノコギリ悪魔（あくま） ギリゴギ

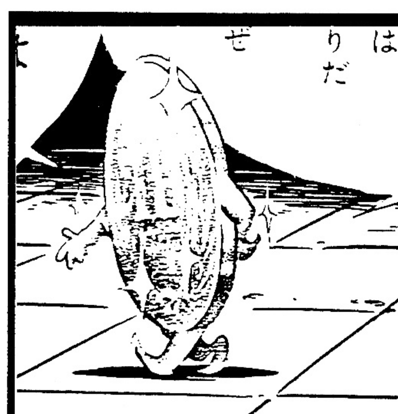


①1〜7*m*④回転刃・合体〔最新版悪魔くん〕『東嶽大帝』の部下で、体を回転させながら相手を切り刻む。

合体して巨大化する。



硬貨妖怪（こうかようかい） 金霊（かねだま）



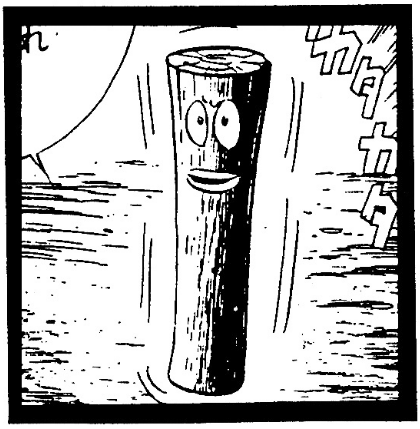
①1〜15*m*④黄金化光線〔鬼太郎国盗り物語〕

本来は山に棲んでいるが、欲望の毒気に当たって巨大化した。

お札をばら撒き人間を混乱させ、物体を黄金に変える。



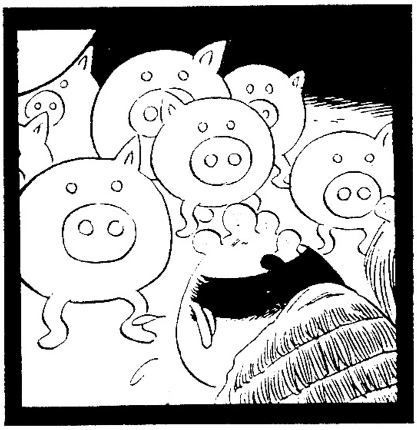
植物妖怪（しょくぶつようかい） 霊棍棒（れいこんぼう）



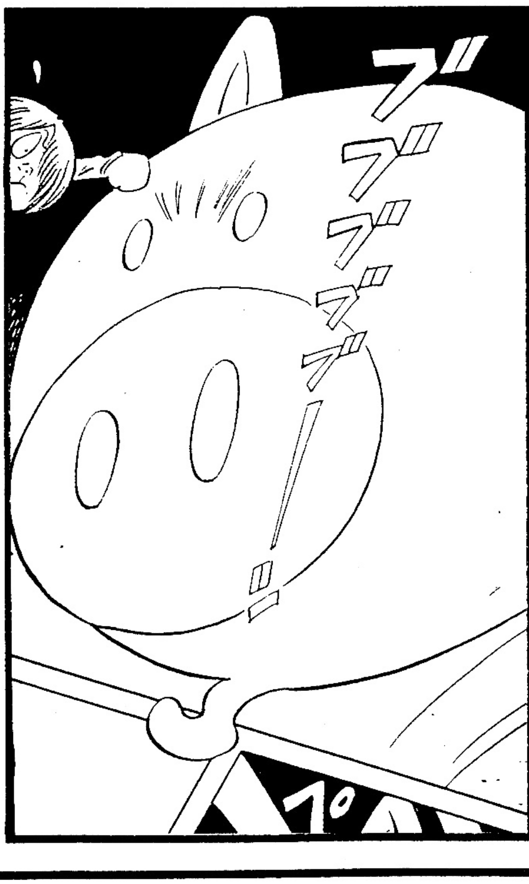
①1～6ｍ④体当たり・合体〔最新版悪魔くん〕『ジュジュガシラ』の部下。
伸縮自在で、合体する事もできる。



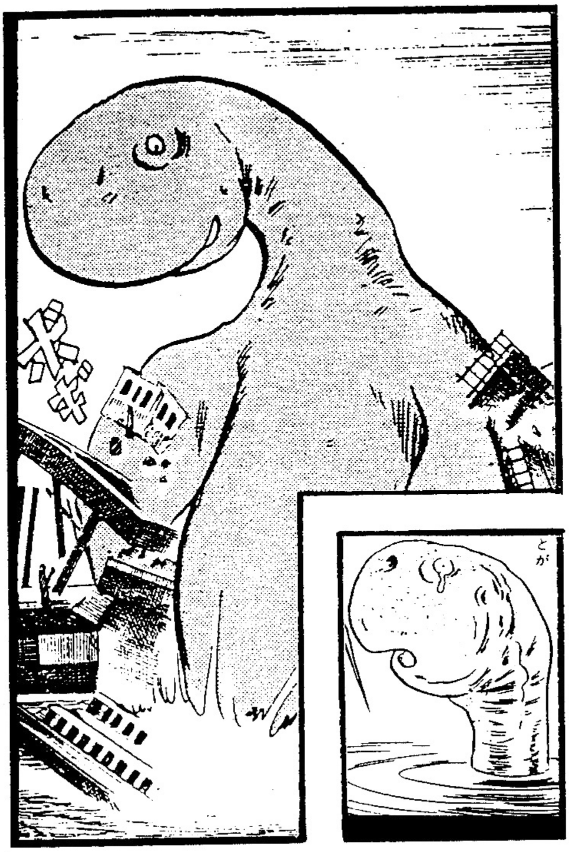
豚妖怪（ぶたようかい） ミンキラウウ



①1～5ｍ④落下攻撃〔鬼太郎国盗り物語〕
木の実に化け、相手が近付いて来た所で頭上に落下する。
合体して巨大化する事もできる。



未確認生物（みかくにんせいぶつ） ネッシー様（さま）

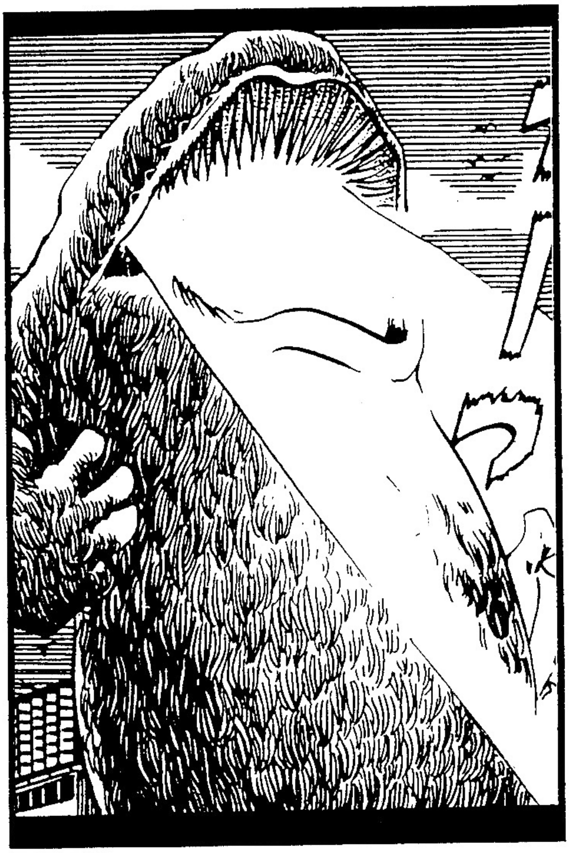


①親・40*m*／子・10*m*②親・350t／子・40t③ニュージーランド沖④涙（親）〔ネッシー様〕

ニュージーランド沖で捕獲された首長龍の子供。

『ネッシー様』と命名され見世物にされるが、鳴き声を上げる度に海水の塊が飛んで来て辺りを水浸しにするのだった。それは母親の涙であり、やがて母親は子供を追って日本へ上陸する。

大海獣（だいかいじゅう） ゼオクロノドン



①50*m*②1000t③ニューギニアの湿地帯④毛生え光線〔ゲゲゲの鬼太郎〕

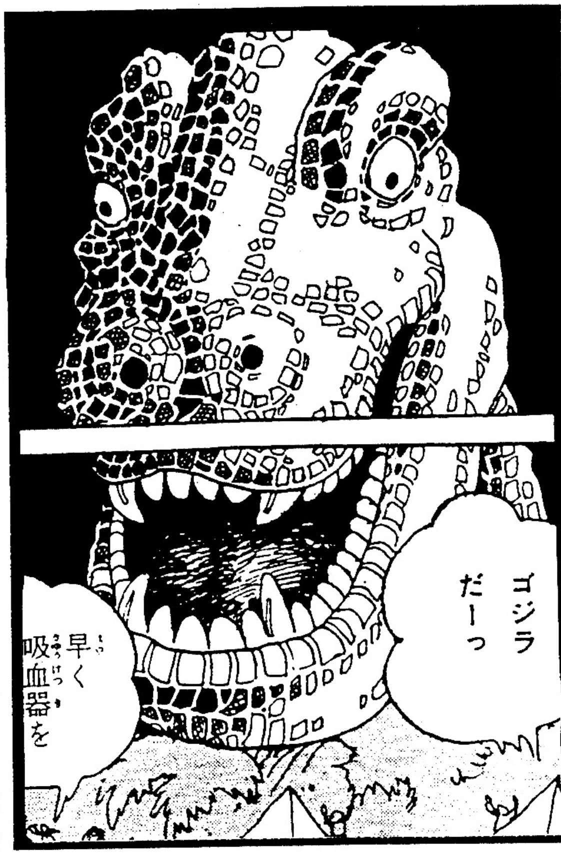
ニューギニアの湿地帯に棲息する鯨の祖先。

三億年も前から生き続けていたと推測されており、その血液に不死の秘密があるとされている。

しかしその血液には同時に、注射された者の肉体をゼオクロノドンと同じ物に変化させる作用がある。

物体の表面に自分の物と同じ体毛を発生させる光線を発する。

怪獣王（かいじゅうおう） ゴジラ

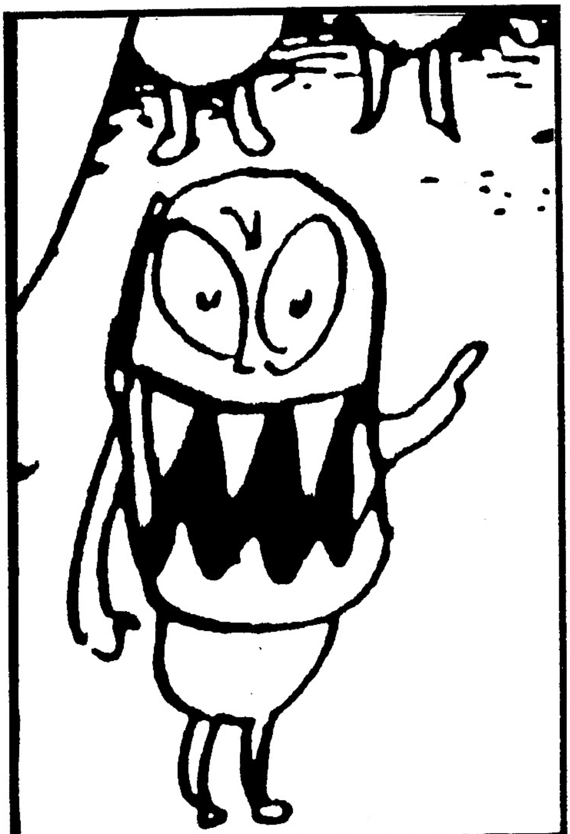


①50ｍ②6000t③ニューギニア・ポロゴン山④熱光線〔怪獣ラバン〕

『ゴジラ』は架空の生物だと誰もが考えていた。しかし東西大学の天才青年科学者、伊川二郎と水木一郎の2人だけはその存在を信じて疑わなかった。

そしてついにニューギニアで『ゴジラ』が発見され、2人の天才少年科学者は調査隊の一員としてニューギニアへと向かうのであった。

進化猛魚（しんかもうぎょ） 陸（りく）ピラニア



①3～10㎝②5～10g③何処かの無人島④牙・寄生能力〔陸ピラニア〕

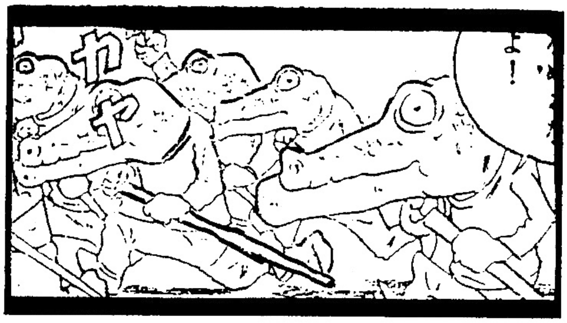
本来は群れで生活する生物なのだが、ある時期だけ他の生物に寄生して栄養を採る。

ある程度成長すると独立して群れに戻り、それまでの寄宿主を集団で襲って食べるか、捕らえて家畜にしてしまう。

南米アマゾンに棲息するピラニアの一種らしい。

第二人類地下人（だいにじんるい ちかじん）





①6m②5t③地底④怪力⑤王冠〔フ～シギくん〕

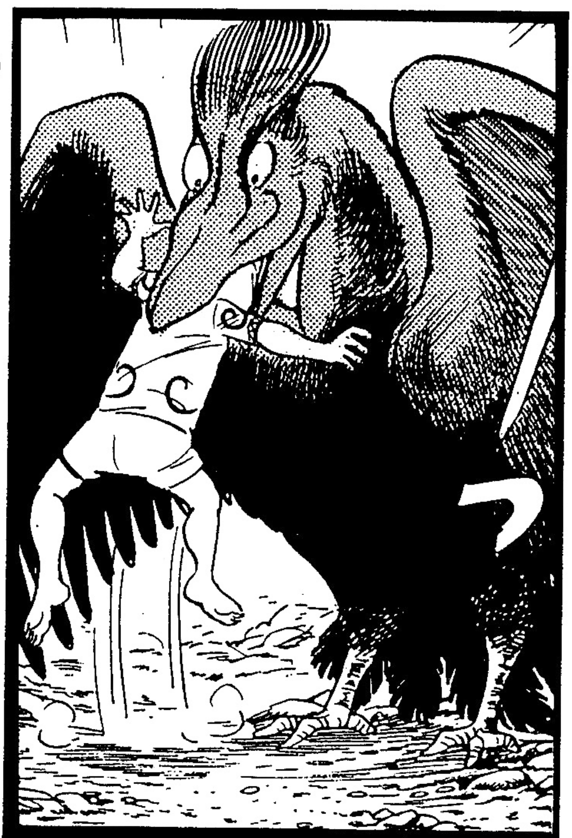
かつて人類との戦争に敗れ、地底へと追いやられた巨人。

ドラキュラにそそのかされ、ビルを盗んで地下都市を造ろうとした。

怪力の持ち主だが王冠を取られると力が発揮出来なくなる。

鰐に似た顔の手下がいる。

翼手竜怪鳥（よくしゅりゅう かいちょう）



①1～3m②20kg③黒曜石の島④くちばし〔縄文少年ヨギ〕

孵化してわずか2・3日で体長が倍以上に成長する雑食性の巨鳥。

地中に卵が埋もれていた事から、爬虫類から鳥類へと進化する途中の生物である事が推測される。

飛行魚（ひこうぎょ） 砂漠鮫（さばくさめ）



①3*m*③地下世界④牙〔鬼太郎国盗り物語〕

砂漠に棲息する新種の鮫で、飛行能力と鋭利な牙を持ち何でも食べる。

通常は単独で行動する。

巨大魚（きょだいぎょ） 鯤（こん）



①7*m*②35t〔縄文少年ヨギ〕

大海に棲息する幻の大魚。

その生肉はあらゆる難病に効果がある。

寄生妖猫（きせいようびょう） 猫又（ねこまた）



①60㎝②2㎏③無人島④寄生〔猫又〕

30年以上生きた老猫で、尾の先が二つに割れているのが特徴。

食べられる事によって生きている。

漂遊生物（ひょうゆうせいぶつ） 島の怪物（しまのかいぶつ）



①200*m*③太平洋〔鬼太郎の世界お化け旅行〕

太平洋を浮遊する、背中に木を生やした巨大生物。

背中に何かが上陸すると動き出す。

謎の怪物 アマゾンの奇妙なもの

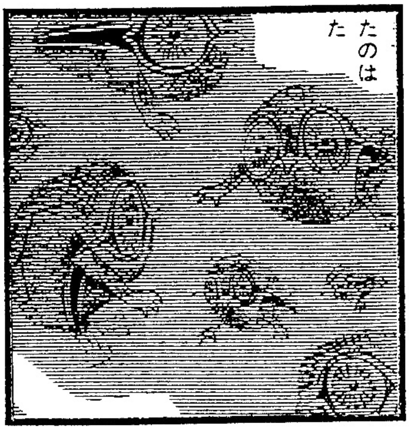


①1m③アマゾン④怪光線〔アマゾンの奇妙なもの〕

アマゾンのベレムからパラ付近にかけて現れた謎の怪物。

行動目的、正体については一切不明。

透明妖怪 もののけ



①1m③長野県梓川の上流④吸生気〔悪魔くん〕

妖怪や悪魔にしかその姿を見ることが出来ない奇怪な生物。

夜行性で、生物の生気を吸い取る。

第三生物 原始生物

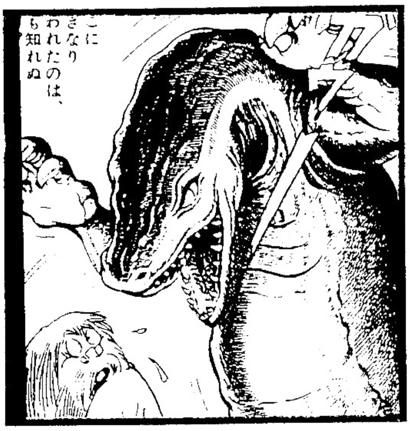


①4m③ある研究所④怪力〔恐るべきライバル〕

動物でも植物でもない《第3の生物》。知能指数と繁殖能力に優れており、人間との交配も可能。

怪力の持ち主で、変温生物。

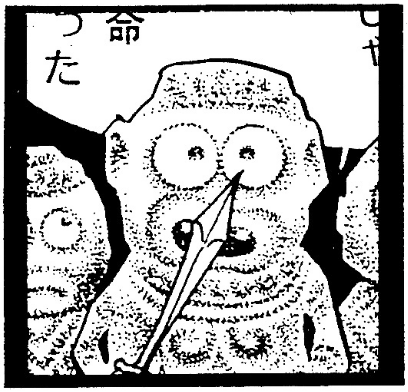
謎の怪物 名も知れぬ怪物



①3m③八ヶ岳〔首かざり〕

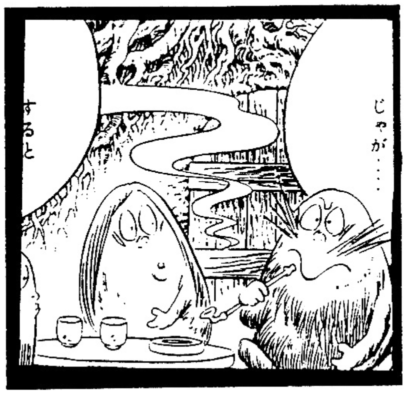
太古の昔に棲息していた謎の怪物。

但し、この怪物を倒したと言う男の話は今一つ信憑性に欠ける。



地下人（ちかじん）

黒い部分を透かして見る事が出来る《メガネ石》が埋もれている無人島でひっそりと暮らしている。住居を荒らす者には容赦せずに攻撃する。〔秘密のメガネ〕



モグラ人間（にんげん）

地上と《ムーの国》の中間辺りに国を築いて人間のような生活をしている。

『幽霊族』の親類。

〔鬼太郎国盗り物語〕



牙蛙（きばがえる）

アマゾンの奥地に生息する大型の蛙。見た目の割におとなしく、人畜無害。

〔化木人のなぞ〕



ヤドカリマンモス

『歯痛殿下』が操る《甲殻類》と《マンモス》の合いの子のような怪物。ブルドーザー並の破壊力を持つ。

〔鬼太郎国盗り物語〕



大首（おおくび）

手足が退化して首だけになった妖怪。霊魂を食べて縄文時代から生き続けていた。

〔ゲゲゲの鬼太郎〕



万年（まんねん）クモ

ムーの入り口付近に巣を張り、侵入者を捕食する。〔鬼太郎国盗り物語〕

霊獣（れいじゅう）マッサライ

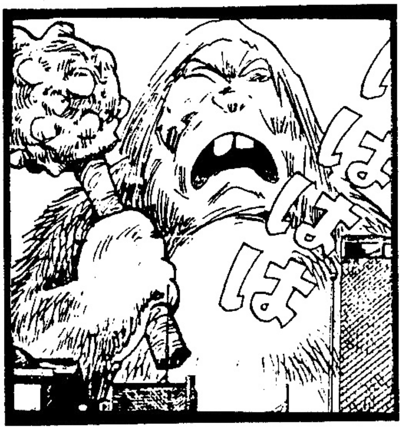


①不詳②35ｇ③南方のあの世〔霊獣マッサライ〕

南方のあの世に棲息する霊獣。

ニュージーランド沖で発見された怪獣の死体によく似ているが、関連については不明。

文明破壊神（ぶんめいはかいしん）原始（げんし）さん



①100ｍ③なんとか神社④文明破壊〔原始さん〕

5000年に1度現れて文明を破壊し、世の中を原始時代に戻す神様。

伝説怪獣（でんせつかいじゅう）やまたのおろち

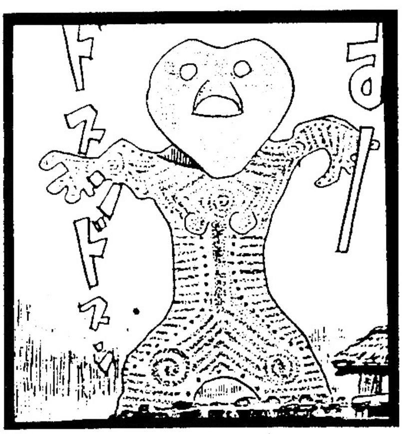


①不明③解放石の中〔やまたのおろち〕

斐伊川の上流に棲む『呼ぶ子』の持つ《解放石》の中に棲息する怪物。

石の中に吸い込まれた人間を食べる。

怪神（かいしん）ブンメイ



①20ｍ④文明排出〔天国〕

堅い土を食べて《土器》や《ランプ》といった便利な物を排出する。

但し、常に土を与え続けなければ怒って暴れだす。

別名『シンポ』。

魔神顔面獣（まじんがんめんじゅう）

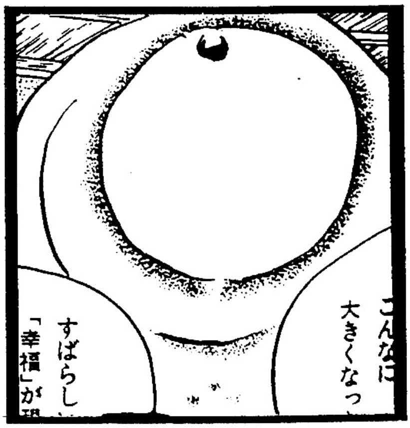


①5～20ｍ③魔界〔悪魔くん〕

突然現れた謎の怪物（蛸足）を退治する為に『悪魔くん』が召喚した魔物。

結果は引き分けで両者ダウン。

謎の怪物（なぞのかいぶつ）幸福（こうふく）



①5㎝～3ｍ③豊島家〔幸福という名の怪物〕

成長と共に飼い主を幸福にする不思議な怪物。

ミルクやロイヤルゼリーで育つが、欲張り過ぎると爆発する。

古き者の誘導者（ふるきもののゆうどうしゃ）ヨーグルト

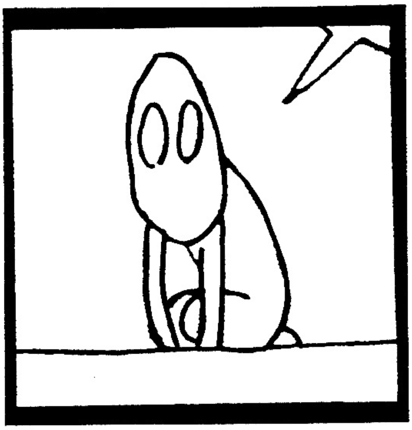


①不定③鳥取県八つ目村⑤ヘロパスの呪い〔地底の足音〕

地上支配を企む『古き者』と人間の間に生まれた双子の怪物の片割れ。

成長が速い上に姿が透明で見えない。

二次元人（にじげんじん）テレビ生物（せいぶつ）



①5㎜③山田家のテレビ〔テレビくん〕

テレビの中に棲息し、撮影された品物をテレビから自由に出し入れする能力を持つ。

ズー



人間を豚に変える能力を持つヒマラヤ出身の魔神。

『悪魔くん』に憑依して地上支配を企てた。〔最新版悪魔くん〕

ゴーレム



地上を滅ぼす為に魔界からやって来た。

砂と同化して巨大化し、砂嵐に変身する能力を持つ。「ガ～ッ』」が口癖。

〔最新版悪魔くん〕

スフィンクス



部下であるロナルド・サタンを助ける為にエジプトから３００ノットのスピードで泳いで来た。口の中に本体が居るが、その正体は不明である。〔悪魔くん千年王国〕

シェキリロン



地獄12王子の中の１人。地球最大の蟹に変身して『悪魔くん』を襲うが、復活した『家獣』に敗れる。口から泡を吐き目から怪光線を発する。〔悪魔くん世紀末大戦〕

水（みず）ころがし



脱走した『地獄童子』を追って来た地獄からの刺客。

水と同化し、あらゆる物を溶かしてしまう。炎に弱い。〔最新版ゲゲゲの鬼太郎〕

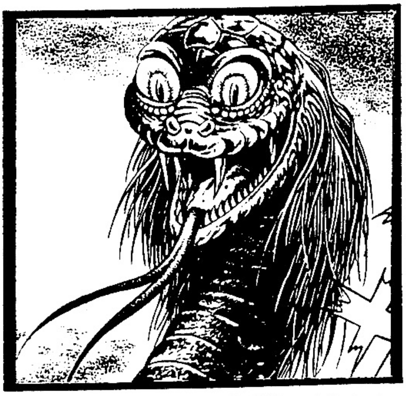
がしゃどくろ



自殺者の怨念が合体した妖怪。

町を破壊してして死者を増やし、骨を吸収してさらに巨大化する。

炎に弱い。〔最新版ゲゲゲの鬼太郎〕

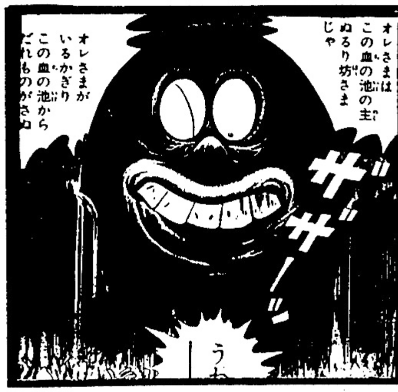


三途の川の大蛇（さんずのかわのだいじゃ）

三途の川の深い場所に棲息し、川に迷い込んで来た者を食べる。

鬼太郎の胃液で溶かされる。

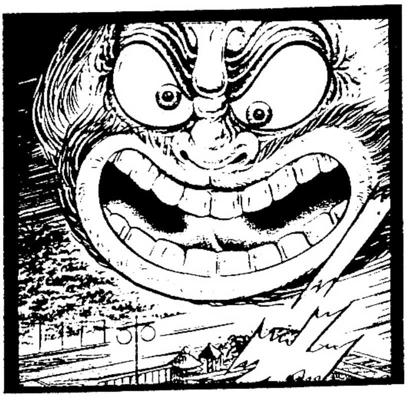
〔鬼太郎地獄編〕



ぬるり坊（ぬるりぼう）

地獄の名所《血の池地獄》の主。

妖力を吸収するヒルを口から吐き出して攻撃してくる。〔鬼太郎地獄編〕



大口（おおぐち）

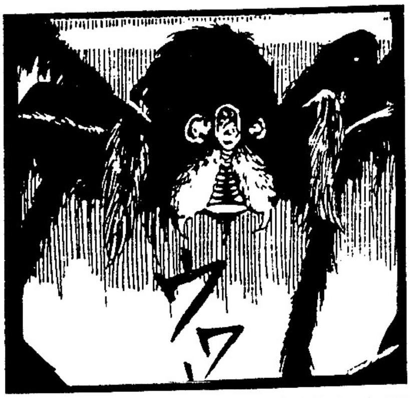
大気中の妖気が増えると現れる《妖怪を食べる妖怪》。食べた『妖怪』を腹の中でトコロテンに変える。妖気の量が変化すると消滅する。〔鬼太郎国盗り物語〕



古代の魔物（こだいのまもの）

数万年前に神々との戦いに敗れ、自ら石像と化して眠りに就いた魔物達。

《青い血》を降りかける事によって復活するが…。〔新編ゲゲゲの鬼太郎〕



巨大蜘蛛（きょだいぐも）

蝦夷（北海道）の大雪山中腹にある《入らずの穴》で『蜘蛛の水』の番をしている

〔深雪物語〕



巨大蜘蛛（きょだいぐも）

アメリカの石油王で魔術師であるロナルド・サタン氏が変身した姿。

〔悪魔くん千年王国〕

選ばれし戦士　大河童

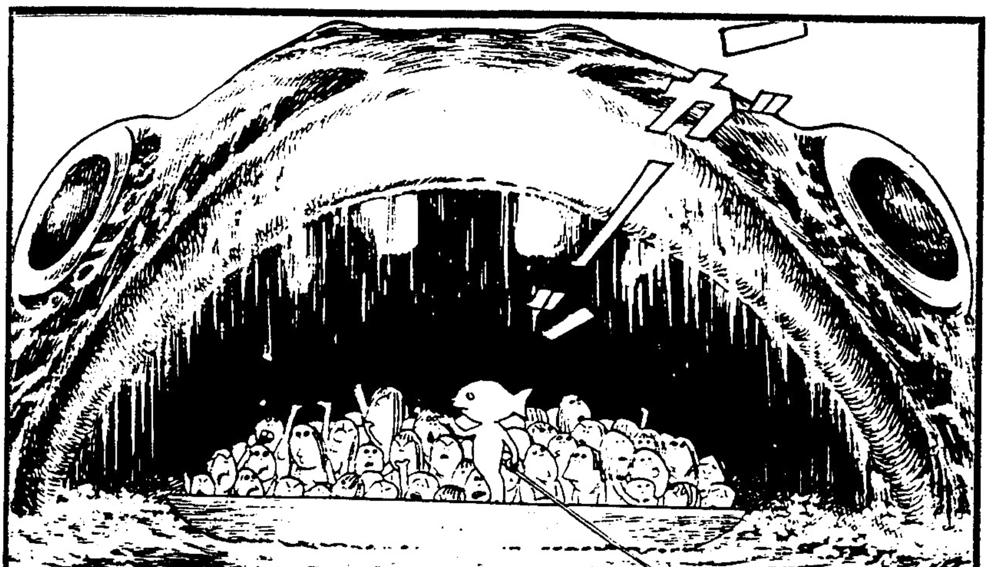


①15ｍ②350ｔ③河童の国〔河童の三平〕

『ストトントノス大王』の秘宝を求め、一五〇〇年前に地下世界へと旅立った『かん平』の祖先。

《体を大きくして長生きする秘宝》で生き永らえていたが、『三平』達を大王のもとへ行かせる為に自ら『妖怪湖』の犠牲となる。

海洋の怪物　巨大魚



①35ｍ②８０００ｔ〔島にて〕

無人島に流れ着いた人間に食料や伴侶を与え、ある程度繁殖させた所で『魚人間』が漕ぐ小船に乗せてそのまま口へ運び、一口で食べてしまう。

巨人（きょじん）キンドコング



①40*m*②900t③東京④モグラ〔キンドコング〕

神社の護符を葉書代わりに使われた事に怒った『化け狸』が神通力を使って巨大化させた人気コメディアン『欽ちゃん』。

パンツも履けず、家にも住めなくなって困っていた所へ大嫌いなモグラの怪獣が出現し、戦う羽目になる。

まだ『欽ちゃん』が『大将』と呼ばれる以前のお話しである。

催眠巨人（さいみんきょじん）巨大火事（きょだいかじ）くん

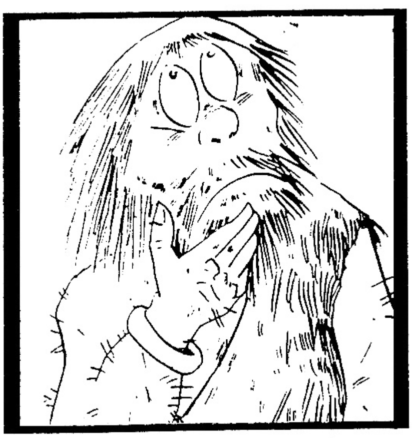


①30*m*②300t〔最新版悪魔くん〕

『悪魔くん』の形態催眠で巨大化した漫画家アシスタント。後に人気漫画家となる。

代表作は《最新版鍛治くん》。

縄文人（じょうもんじん）山男（やまおとこ）



①240cm②400kg⑤文明社会〔カモイ伝〕

人跡未踏の山奥で暮らしていた縄文人。

文明社会に連れ出され「カモイ（怖い）！」と叫ぶ。



大イカ（おお）

『半漁人』の手下。『鬼太郎』を飲み込むが逆に体を支配されてしまう。

《かまぼこ》にすると美味いらしい。

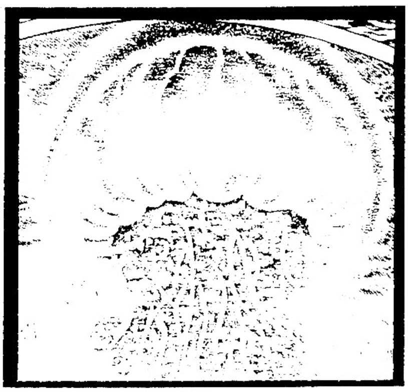
〔ゲゲゲの鬼太郎〕



大タコ（おお）

大岩島の主。生物のエネルギーや血液を吸い取る吸盤を飛ばして攻撃してくる。

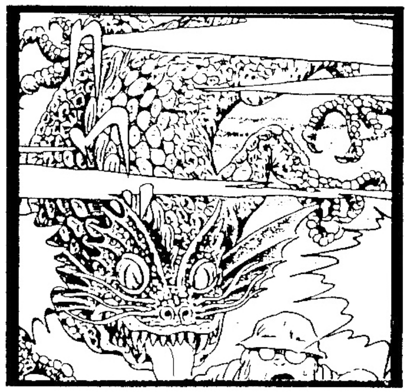
『雪姫ちゃん』に求婚してくる超ロリコン野郎。〔雪姫ちゃんとゲゲゲの鬼太郎〕



大クラゲ（おお）

『悪魔くん』と12使徒の呼び掛けによって海底から姿を現した。東京上空に覆いかぶさり、洪水から人々を守った。

〔ノストラダムス大予言〕



大トカゲ（おお）

アマゾンの原住民が《不吉な場所》として忌み嫌う地域に棲息する大型の爬虫類。

性格は極めて凶暴で肉食。常に群れで行動する。

〔天空船〕

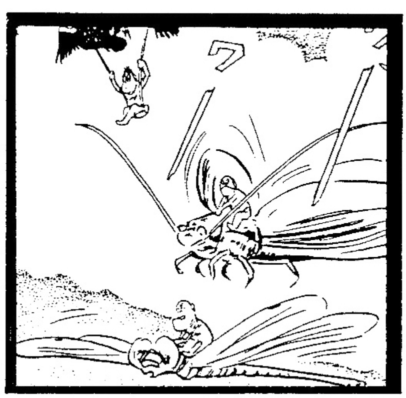


巨大昆虫（きょだいこんちゅう）

月の妖怪『桂男』の妖術で巨大化した昆虫群。

日中しか活動できない。

〔新編ゲゲゲの鬼太郎〕



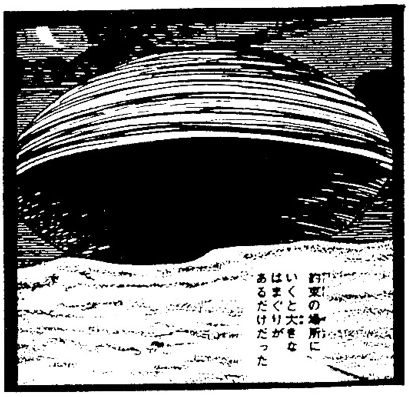
巨大昆虫（きょだいこんちゅう）

縄文時代に棲息していた昆虫達。

縄文人はこれ等の昆虫達を飼い慣らして《空中大レース》のマシンとして利用していた。

〔縄文少年ヨギ〕

巨大蛤（きょだいはまぐり）

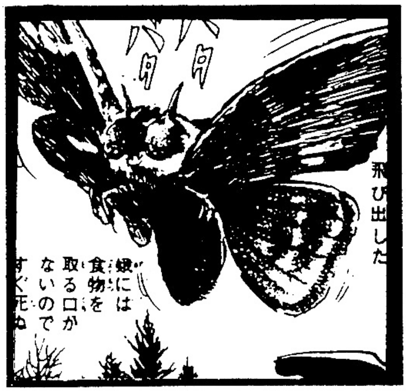


『川獺』が船頭を務める貝船。潮が満ちてくると自然に出港する。

畑と小屋を備えている。

〔ゲゲゲの鬼太郎〕

モスラ



幼虫は生物の内蔵を食べて育つが、成虫は食物を採る事が出来無い為、直ぐに死んでしまう。正確には《『モスラ』のように大きな蛾》である。　〔ゲゲゲの鬼太郎〕

大鼠（おおねずみ）



突然変異で巨大化し、異常発生で集団化した野鼠。知能が高く、熊や虱でさえも逃げ出してしまうほど恐ろしい。

〔縄文少年ヨギ〕

沼の主（ぬまのぬし）



蛙男の親類で、忘れる程に齢を取った蝦蟇蛙。

蜘蛛の術を使う者に強い。

〔悪魔くん千年王国〕

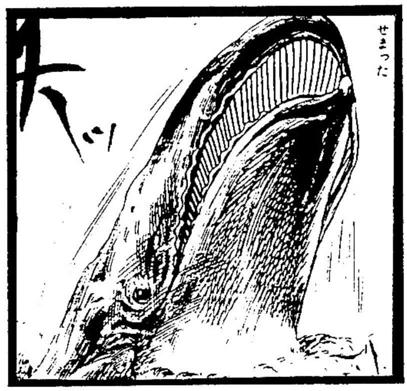
くじら



人の行かない大海洋に棲息する大魚。

但し、この大魚を仕留めたという男の話は今一つ信憑性に欠ける。　〔首かざり〕

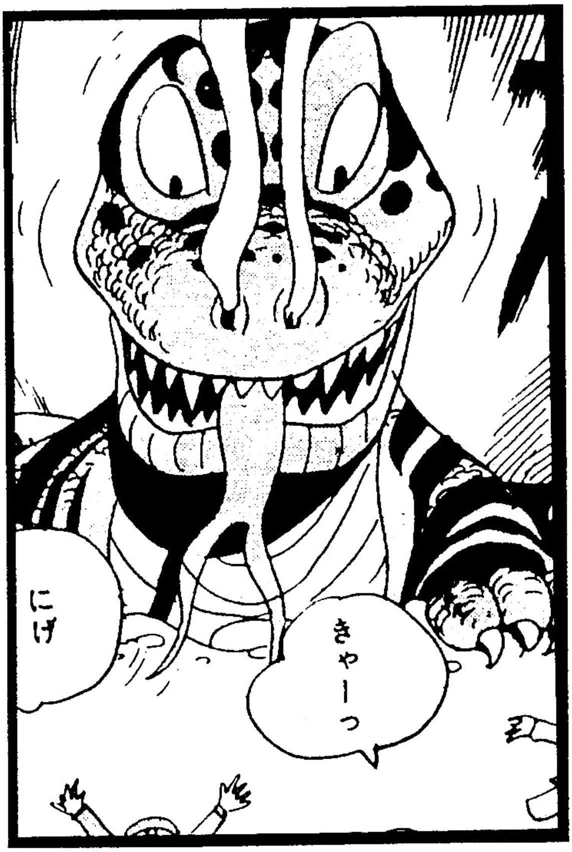
鯨神（げいしん）



捕鯨船の漁師達の間で恐れられている齢二百歳を越える老鯨。

知能が高く、水面下から急上昇して船をひっくり返す。　〔かえり船〕

怪獣人間ラバン

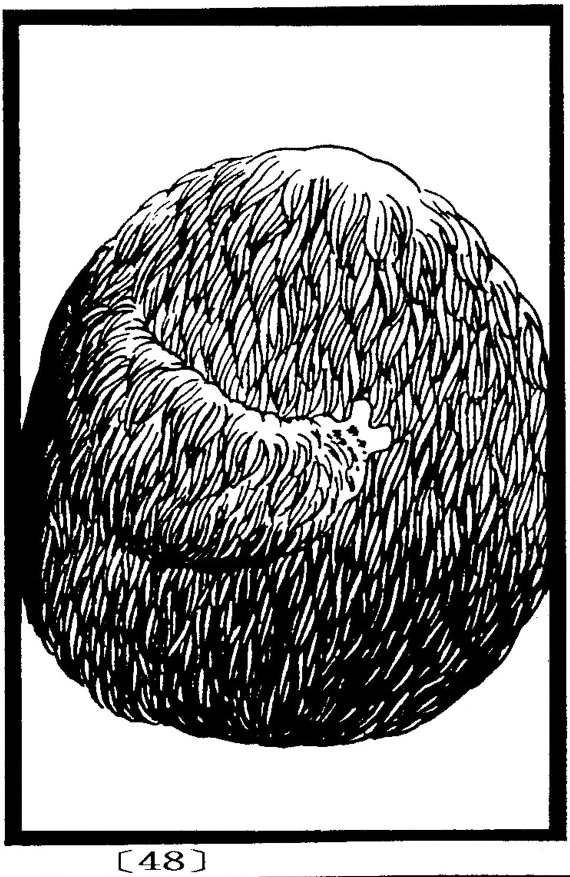


①50m②10000t③太平洋上〔怪獣ラバン〕

伊川二郎の手によって『ゴジラ』の血液を注射されてしまった為に、怪獣へと変身してしまった天才少年科学者、水木一郎の姿。

一郎は一目母に会おうと日本へ現れるが自衛隊の攻撃を受け、さらに伊川の開発した『ラバン17号』と戦う羽目になる。

突然変異 土ころび

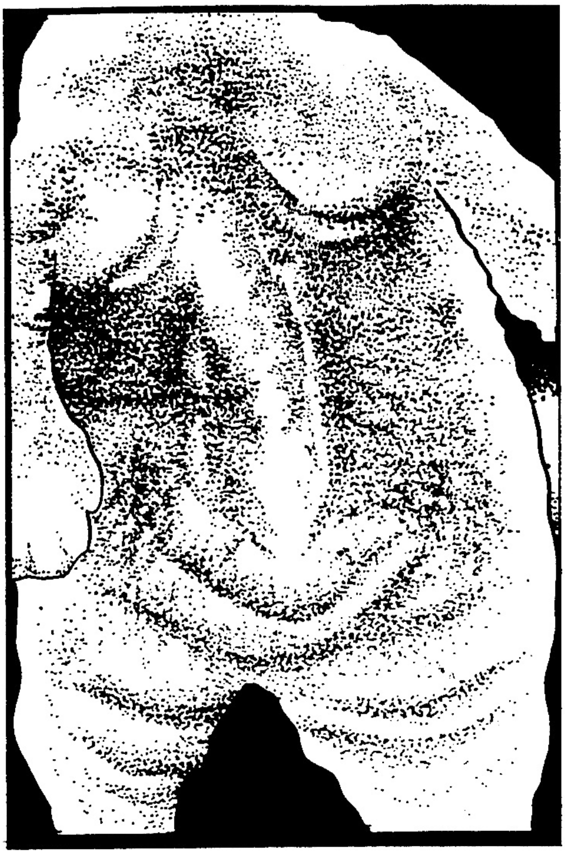


①2m②400kg③人里離れた山奥④エネルギー吸引〔ゲゲゲの鬼太郎〕

石油や電気、妖力といったエネルギーを食べて生きている。

その正体は、電力会社の流す工業排水を飲み続けた為に、肉体が変化してしまった人里離れた山奥で暮らす農夫の哀れな末路だった。

妖怪奇形児（ようかいきけいじ） ぬっへふほふ



①10m②130t③朝鮮④怪力・透明な肉体〔ゲゲゲの鬼太郎〕

《アリランの歌》で人間の若さを吸い取る妖怪『ぬっへふほふ』が使う《朝鮮魔法》の正体。

実は魔法でも何でもなく、生まれつき巨大で透明な肉体を持つ『ぬっへふほふ一族』の奇形児だった。

吸血鬼（きゅうけつき） おどろおどろ



①２ｍ②１００kg④吸血毛・霊界輸送機〔ゲゲゲの鬼太郎〕

毛生え薬の実験に失敗して吸血妖怪と化してしまった科学者。物体に浮力を持たせる《ホウキ元素》入りのプラモ飛行機で子供をおびき寄せ、血を吸っては《霊界輸送機》で霊界へ送っていた。

影の支配者 創造主



①１㎞②不定③ムー帝国④生命創造⑤冷却装置器官〔鬼太郎国盗り物語〕

地上の化学工場から排出された毒素が地下に溜まり、化学反応を起こして生まれた《新妖怪》。生命を創造する能力を持ち、ムー帝国を支配して地上征服を企む。

体内に多種多様の寄生虫（と言っても体長が１～２ｍはある者ばかりだが）を飼っている。

常に体を冷却していなければ核爆発を起こしてしまう。

混血軟体類 タコ人間



①10ｍ②１００㎏③海底④スミ攻撃〔続ゲゲゲの鬼太郎〕

女性愛護協会会長と雌蛸のハーフ。

船を襲って品物を奪い、海底で文化的な夫婦生活を営んでいた。

公害怪獣 モグラコング

①40ｍ②１０００ｔ③東京④毒ガス⑤水〔キンドコング〕

地下に溜まった公害の毒素の影響で巨大化したモグラ。

麻酔は効かないが水に弱い。



進化怪人（しんかかいじん） 海坊主先生（うみぼうずせんせい）



①170㎝②120㎏③海坊主村⑤退化薬〔墓場の鬼太郎〕

《進化薬》の作用で霊魂を食べる生物へと進化した小学校の教師。

子供を自殺に追い込む。

怨霊（おんりょう） へびの神（かみ）

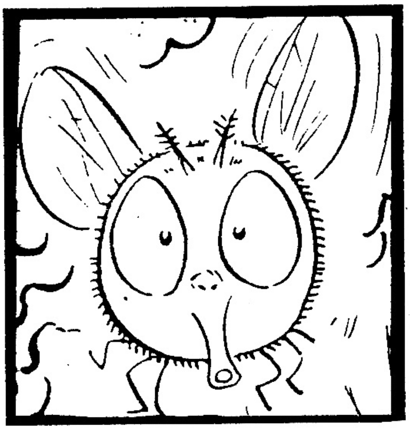


①2ｍ③天竜峡⑤塩〔へびの神〕

かつて板垣左馬介に裏切られ殺された諏訪頼重の怨霊が憑依した《蛞蝓の突然変異》。

恨みを晴らすべく板垣の子孫を狙う。

進化蝿（しんかばえ） ブン太（た）



①3㎝③夢の島〔ゲゲゲの鬼太郎〕

ゴミが増え、生活が豊かになったために知能が発達した蝿。

『あかなめ』の出現を予言した。

悪戯動物（いたずらどうぶつ） 毛虫（けむし）&（アンド）三毛（みけ）

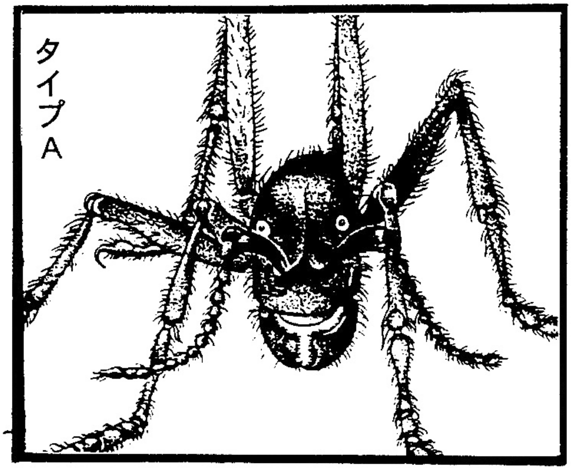


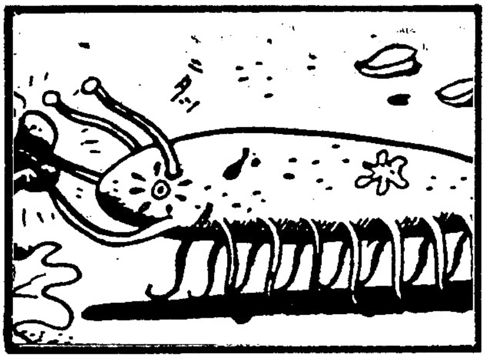
①毛虫・80㎝／三毛・1ｍ③妖怪学校〔ゲゲゲの鬼太郎〕

『見上げ入道』の《妖怪ミキサー》の特訓で半妖怪へと進化した毛虫と猫。

現在はゲゲゲの森で暮らしている。

進化妖虫(しんかようちゅう) 宇宙虫(うちゅうむし)


タイプA



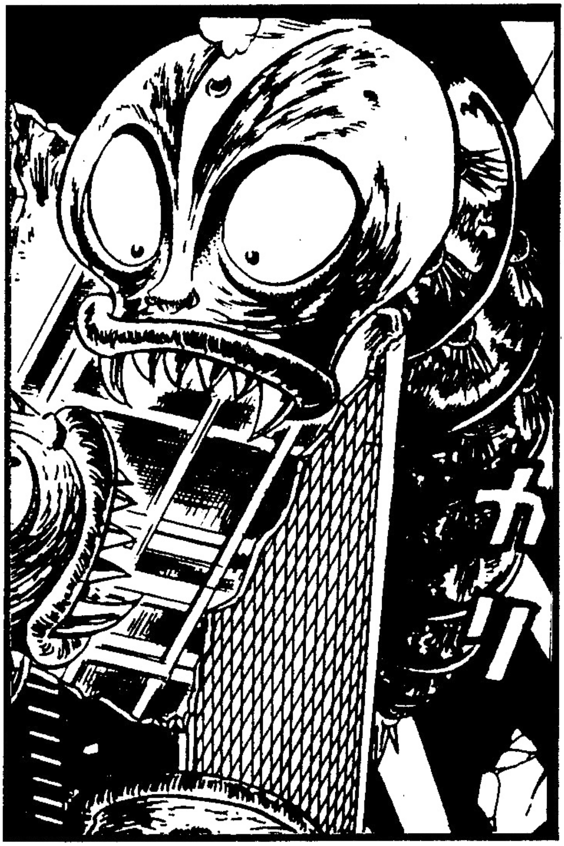
タイプB

①2㎜〜5㎝③月・凡太の爪の間④進化する頭脳〔宇宙虫〔タイプB・〔深雪物語〕〕〕

孵化すると道具を使うことを覚えて製鉄技術を身につけ、やがて科学力を発展させて核を保有するまでに文明を発達させる恐るべき昆虫。

そしてロケットを製造し、宇宙へと旅立つのである。

食鉄妖虫(しょくてつようちゅう) 不吉虫(ふきつむし)



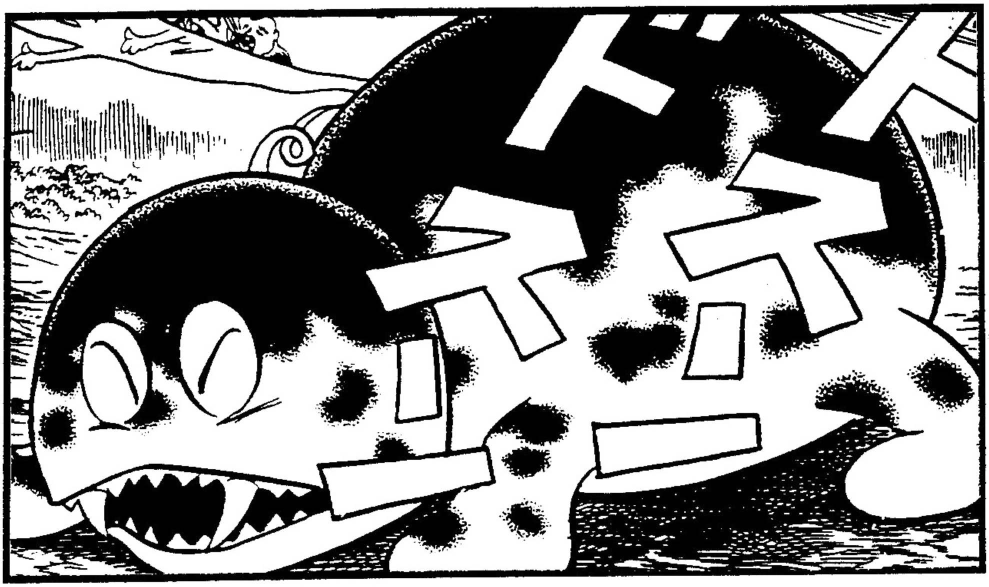
①3㎝〜25ｍ②10g〜300t③韓国④牙⑤塩水〔最新版悪魔くん〕

鉄を食べ、食べた分だけ成長する食鉄目妖虫科の妖虫。ゴムやビニールは食べられないらしい。

体の大部分は鉄で構成されており、塩水を浴びると急激に酸化する。

性格は極めて凶暴で、怒ると頭部から蒸気を噴出させながら襲い掛かって来る。

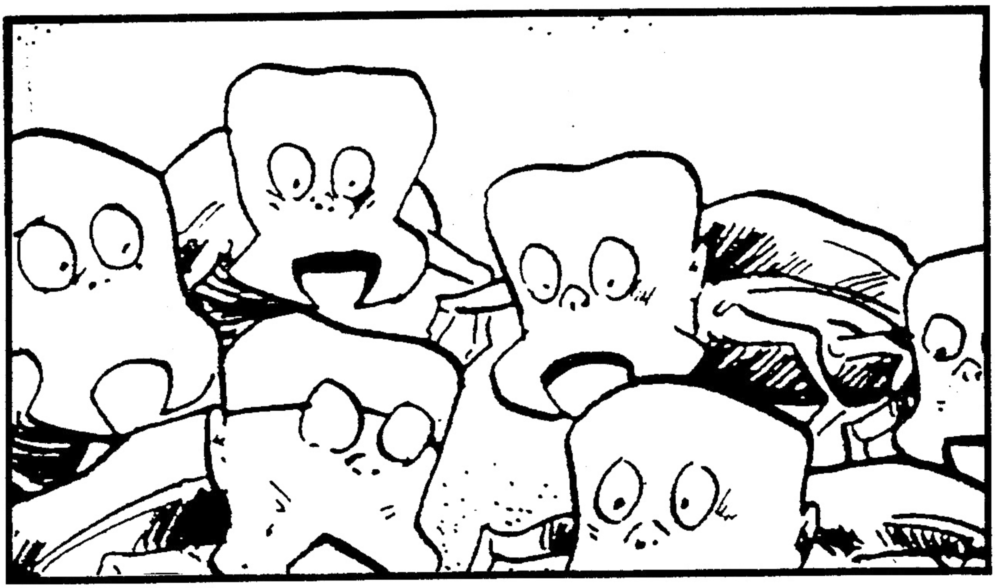
けらけら妖虫（ようちゅう） 笑虫（わらいむし）



①30㎝～50ｍ④笑い粉〔新編ゲゲゲの鬼太郎〕

『けらけら女』の手下でもあり分身でもある。少しでも吸うと笑いが止まらなくなる《笑い粉》を体から分泌し、共食いをする事によって巨大化する。

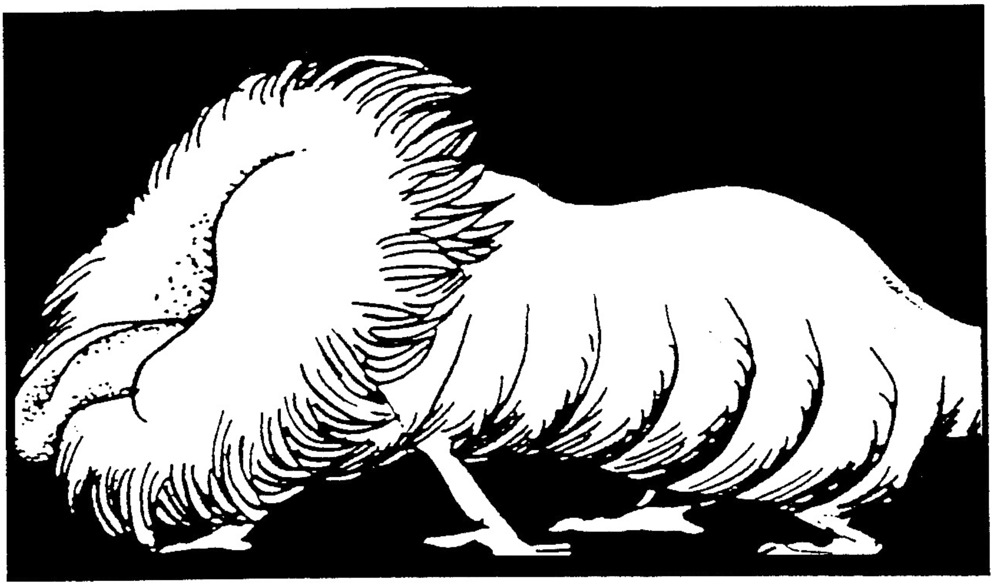
離別妖虫（りべつようちゅう） 縁切虫（えんきりむし）



①５㎝④縁切り〔縁切り虫〕

この虫に咬まれると自分の意志とは無関係に、その瞬間に目の前にいた人物の事が嫌いになる。世の中に失望している人間のもとに集い、逆に世の中に執着する人間を嫌う性質を持つ。

食糞妖虫(しょくふんようちゅう)月虫(げっちゅう)

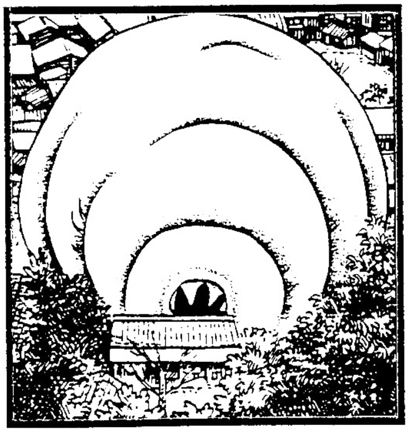


①５〜20㎝③月④食欲・不死の体〔ある心配〕

体色は桃色で香水に似た香りを放ち、体の堅さを自由に変える。

始めは生物の老廃物を食べて繁殖し、やがて他の生物を襲い始めて最終的には一つの惑星を絶滅させてしまう。

妖虫(ようちゅう)プラちゃん



①２㎝〜無限③山田ブタ吉氏宅〔続ゲゲゲの鬼太郎〕

プラスチックを食べる食鉄目妖虫科の亜種。

排泄器官を持たない為に食べた分だけ成長する。

食肉妖虫(しょくにくようちゅう)墓守虫(はかもりむし)



①１㎝④牙〔墓守り虫〕

生きた人間の肉を好んで食べる伝説の虫。

大変危険ですので取り扱いの際には十分注意してください。

輪廻妖虫（りんねようちゅう） 霊虫（れいちゅう）

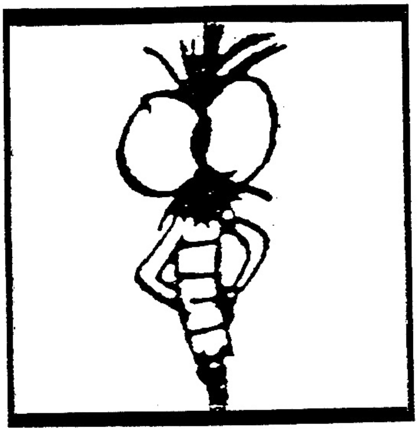


①30㎝～1m③五島列島〔魔女モンロー〕

体内に取り込んだ人間の魂を受け継ぎ、肉体をその人間の姿に変化させる。

《旧人類》はこの虫を利用して不老不死を得ていた。

幸運寄生虫（こううんきせいちゅう） 成功虫（せいこうちゅう）

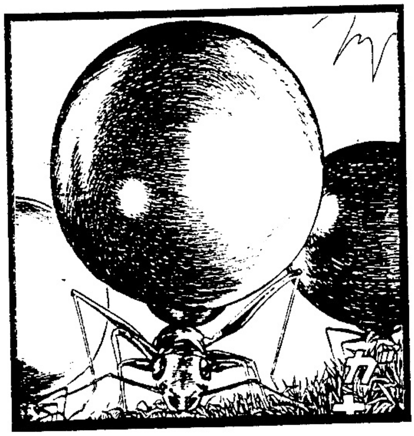


①20㎝③資料研究室〔紙魚〕

この虫を生きたまま服用すると、あらゆる成功をおさめる事が出来る。

また、人間の体内で何年も生き続け、言葉を話す事も出来る。

巨大蟻（きょだいあり） ツカンデロ

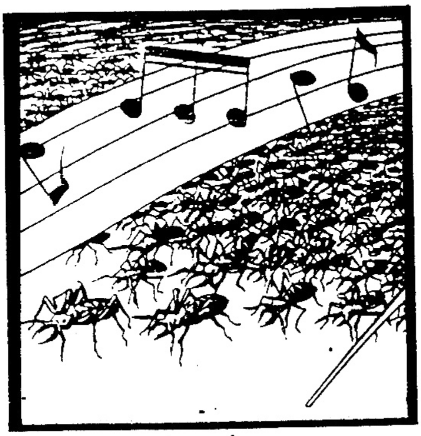


①7m③アマゾンの奥地・越えられぬ森⑤紫外線〔化木人のなぞ〕

アマゾンに棲息する巨大な蟻。

集団で行動し、紫外線を嫌う性質を持つ。

ピラニア妖虫（ようちゅう） 地獄蟻（じごくあり）

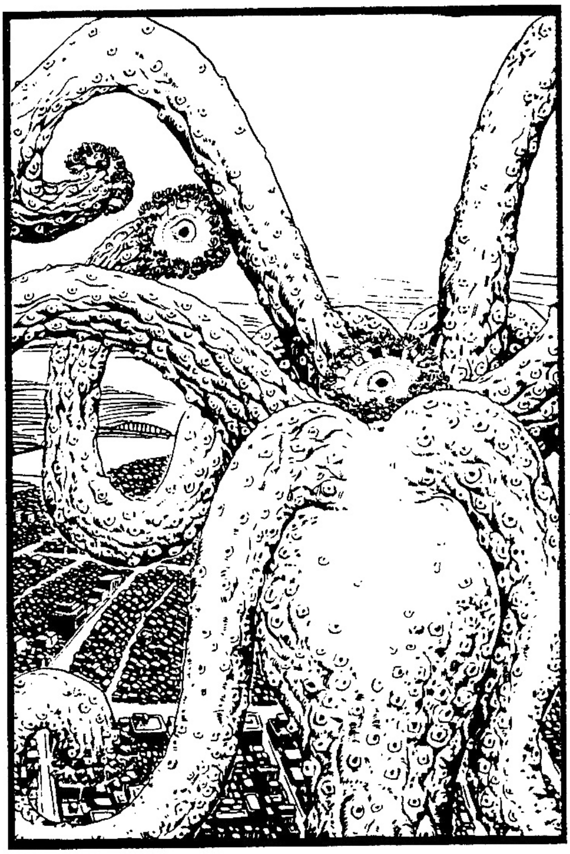


①1㎝③賽の河原④牙〔鬼太郎地獄編〕

賽の河原に棲息し、あらゆるものを食べ尽くす恐ろしい蟻。

通称『ピラニア蟻』。

巨大植物（きょだいしょくぶつ）マンモスフラワー



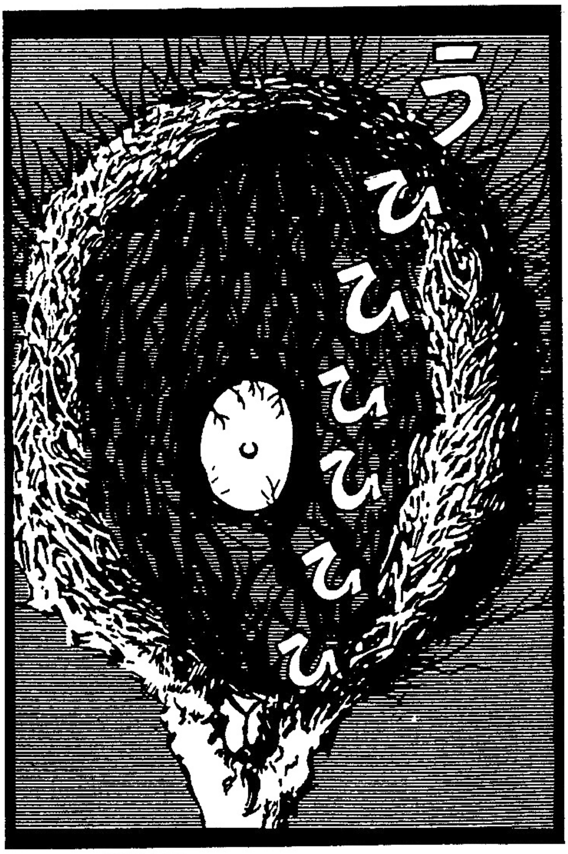
①10ｍ〜1㎞②測定不可③東京都・夢の島④怪力⑤清潔にされる事〔マンモスフラワー〕

東京の不潔さが古代石炭紀の沼の不潔さと同量になった為に蘇った太古の植物。

どんな刃物も歯が立たず、火炎放射器でも焼き切る事が出来ない。

唯一の撃退法は清潔にする事なのだが、うかつに近づくと太い枝で殴り飛ばされてしまうので要注意。

吸血木（きゅうけつき）妖怪樹（ようかいじゅ）



①20ｍ②700ｔ③小笠原諸島⑤炎・根〔ゲゲゲの鬼太郎〕

ドラキュラの親類で、吸血妖怪の総元締的存在。

妖怪の血を吸う事によって花を咲かせ、実を結び種を飛ばす事ができる。

その成長は著しく早く、根を断ち切らない限りは無限に再生を繰り返す。

電木妖怪（でんきようかい） さかばしら



①30m②1500t③ある山奥の村④コピー人間製造
⑤根〔最新版ゲゲゲの鬼太郎〕

人間を頭部（実は尾）から飲み込み、その人間のコピー（電気人間）を2体ずつ製造して操る。

地上に出ている部分は擬態であり、地下に隠れている部分が本体である。

『野衾』を手下として使う。

猛毒植物（もうどくしょくぶつ） ギロチン



①1m③毒の園④猛毒・鋭い歯〔怪奇死人帳〕

南蛮渡来の毒草で、近づく人間の首を嚙み切る所からこの名が付いた。その樹液は少し触れただけでも発狂してしまう程の猛毒だが、『シロチン』という薬品を用いれば中和できるらしい。

肉食植物 巨大ウツボカツラ

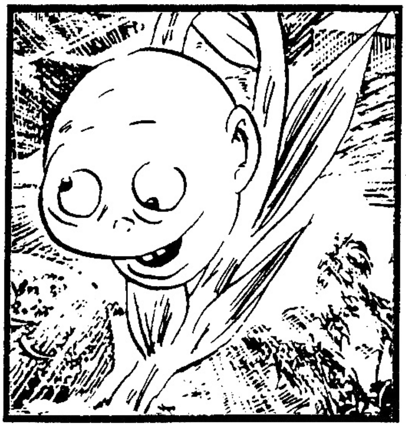


①2m③アマゾンの奥地④香り〔化木人のなぞ〕

良い香りで動物をおびき寄せ、溶かして栄養を採る。

御丁寧に、蔦が変化したと思われる梯子が付いている。

寄生植物 人面草



①1m③名も知れぬ島④寄生〔人面草〕

（この植物を）食べた者に寄生する。また、生物の傷口からも寄生する事ができる。

屍のような臭いと笑い声に似た不気味な音を発する。

密林の恐怖 人食い植物

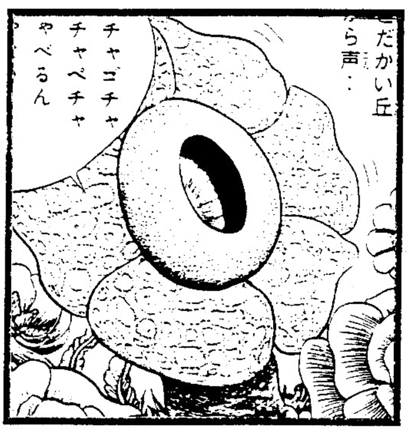


③アマゾンの奥地・人跡未踏の森〔化木人のなぞ〕

アマゾンの奥地に棲息する肉食植物。近づかなければ大丈夫。

周辺に群棲している目のような物が付いた植物との関係は不明。

吸血植物 ラグレシア



①5m②3t③南方の島④呪いの歌・花粉・雄しべの鞭・花びら鋸⑤炎〔鬼太郎国盗り物語〕

人間を《呪いの歌》で眠らせて血を吸う恐ろしい植物。

多芸。

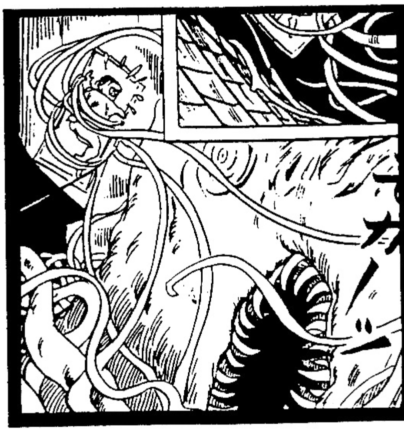
ゲゲゲの森（もり）の番人（ばんにん）　妖怪（ようかい）ツタ



③ゲゲゲの森④蔦・触手〔新編ゲゲゲの鬼太郎〕
ゲゲゲの森に棲息する肉食植物。

100年位は何も食べなくても生きていられるらしい。

食人植物（しょくじんしょくぶつ）　肉木（にくぼく）



①2㎝④触手〔安い家〕
日中は普通の樹木のようにじっとしているが、夜になると触手（枝）で人間を捕らえて食べてしまう。

食べられた人間はこの木に生まれ変わる。

妖怪谷（ようかいだに）の主（ぬし）　妖怪木（ようかいぼく）



③妖怪谷④触手〔東海道四谷怪談〕
妖怪谷に迷い込んできた人間を食べる。

谷に棲む他の妖怪とはあまり仲が良く無いらしい。

神木（しんぼく）　ジュジュガシラ

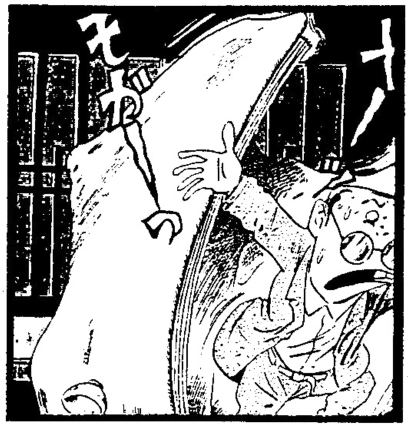


①20ｍ③地底④霊波吸収根・花粉〔最新版悪魔くん〕

地底に逆さに生えて地上に根を張り、悪い霊波を吸収して花を咲かせる。

また、花粉には悪い霊力を消す力がある。

不定形怪物（ふていけいかいぶつ） 本の怪物（ほんのかいぶつ）



③イスラエル④変身〔古道具屋の怪〕

環境に応じて食料を得やすい姿に変身しながら世界中をさ迷い続ける怪物。

現在は《本》としてどこかの古道具屋に眠っている。

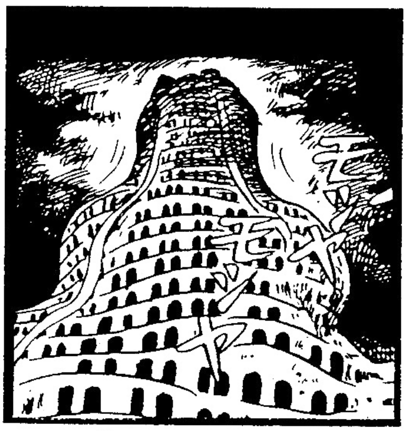
地下生物（ちかせいぶつ） のびあがり



③長野県松代町近くの奥山村④催眠術・吸血木の種・催眠術〔ゲゲゲの鬼太郎〕

飛行機を墜落させたり、人間を《吸血木》に変えたりして地上征服をしようと企む未知の『地下生物』。

住宅怪物（じゅうたくかいぶつ） 人食い家（ひとくいいえ）

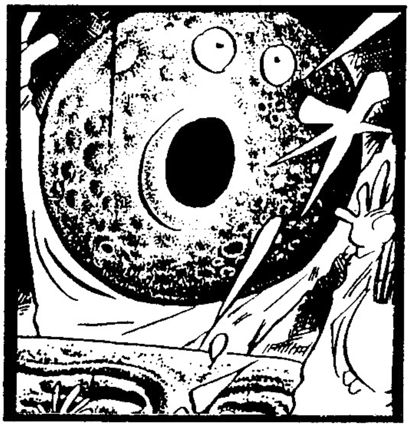


③山奥④擬態〔一万人目の男〕

小屋に擬態して人間を食べ、小屋から平屋⇩二階建て⇩ペンション⇩アパート⇩マンションへと成長する。

誇大広告等で人間をおびき寄せる。

太古の支配者（たいこのしはいしゃ） ムーン大王（だいおう）



③月④溶解攻撃〔新ゲゲゲの鬼太郎〕

かつて地球を支配していたムーン大陸（月）の大王。

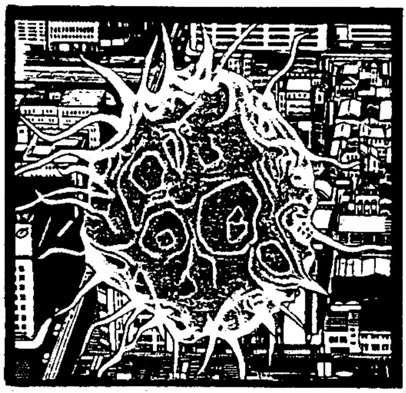
その正体は『水神様』や『妖怪湖』と同じく《水生物》だった。

水神様（みずがみさま）



透明な《水細胞》を持ち、液体と同化して雨や雪、霧などに変化する。全生物の元祖だと言われているが、その割にはケチで借金をなかなか返さない。〔鬼太郎夜話〕

もやもや



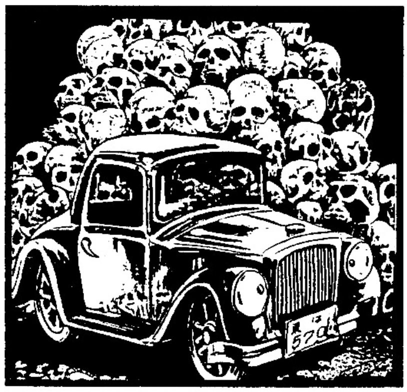
国民の不満が集合して発生した怪物体。日に日に膨らんでいき、国民を不安にさせる。日本政府がごまかし政治をやめれば消えるのだが…。〔もやもや革命〕

妖怪湖（ようかいこ）



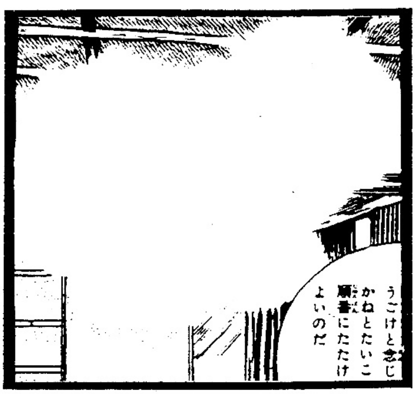
『ストトントノス大王』の秘宝を守る最後の妖怪。様々な姿に変化し、何でも溶かす。秘宝を取りに来た河童を馬鹿にする事を趣味としている。〔河童の三平〕

妖怪自動車（ようかいじどうしゃ）



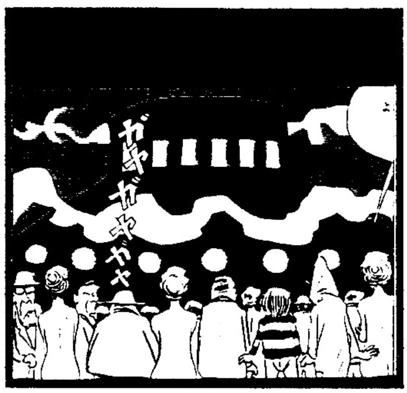
ポンコツ展示場（中古車センター）に紛れ込み、中に人間が乗り込むと人気の無い場所へ運んで食べてしまう。食べ終えると再び展示場へ戻る。〔妖怪自動車〕

気体生物（きたいせいぶつ）



妖怪『あしまがり』が雲の中で飼っている《気体生物》。体内が迷路のようになっており、体内に取り込まれたら二度と出て来れない。〔ゲゲゲの鬼太郎〕

主（ぬし）



自動車や幽霊船・ＵＦＯ等に化け、《美人幽霊》を使い体内に人間を誘い込み、食べてしまう。太古の昔から地球に棲息するらしい。〔続ゲゲゲの鬼太郎〕

妖怪の天敵 ヒ一族



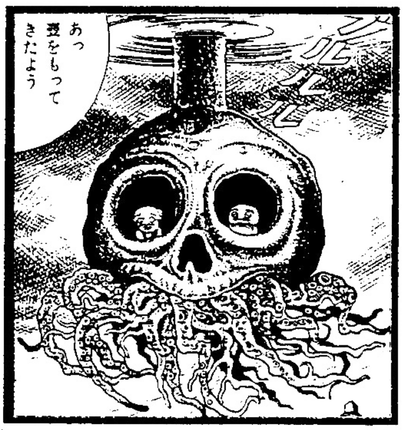
①5～160㎝④高射砲〔新編ゲゲの鬼太郎〕
《安駝駝（霊草）》で飼育した《金蚕虫（毒虫）》の糞で育てられた蛭。
あらゆる毒や妖力に強く、飼い主の言う事を何でも聞く。

対河童用生体兵鬼 一角鬼



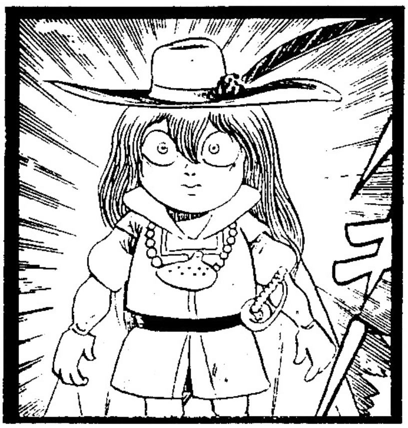
①100m②6000t③地下世界④怪力・神通力⑤角〔河童の三平〕
『ストトントノス大王』の使者と戦う為だけに生まれてきた人口生命体。
乱暴者だが根は寂しがり屋。

人口妖怪 なんじゃもんじゃ

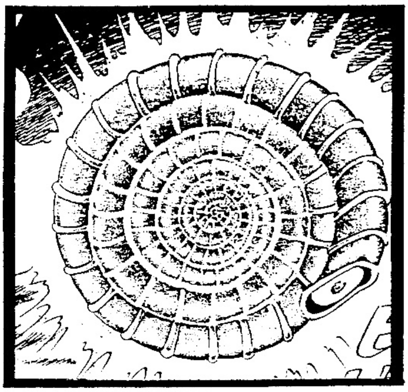


①30m③長野県梓川の上流・天の岩戸〔悪魔くん〕
『怪物と魔物の王』に『油すまし』が血液を与えて作り出した妖怪兵器。
ヘリコプターのように空を飛び、頑丈な体と無数の触手を持つ。

泥人間 魔王子

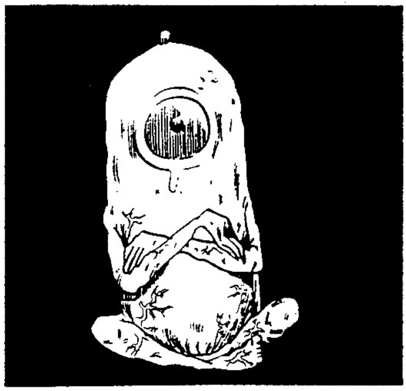


①140㎝③悪魔城④石化⑤水〔最新版悪魔くん〕
人間の子供を材料に『東嶽大帝』が作り出した《泥人間》。
ソロモンの笛と見えない学校を奪い、『悪魔くん』に成り代わろうとした。



怪物玉（かいぶつだま）

ムーの霊融合技術で海産物から造られた異次元兵器。ホバークラフトのように移動し、戦車やビルを破壊する。どんな近代兵兵器も通用しない。〔鬼太郎国盗り物語〕

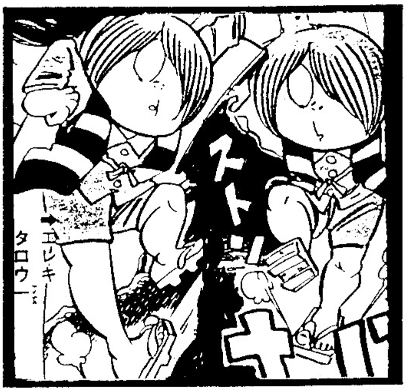


猫山（ねこやま）

惑星調査の為に肉体をどんな環境にも耐えられるように改造された元実業家。

性転換手術によって女性にされる。

〔ベーレンホイターの女〕



エレキタロウ

『さかばしら』が製造した『鬼太郎』のコピー。

＋（プラス）と－（マイナス）の２体で行動する。　〔最新版ゲゲゲの鬼太郎〕



総理大臣（そうりだいじん）

《ムーの国》の支配者。

その正体は『化け魂』が取り憑いて進化した深海魚だった。

〔鬼太郎国盗り物語〕



プルトン

ナチスがプルトニウムから造り出した人工妖怪で、人間の生気を吸い取る。

通常の人間には姿が見えない。

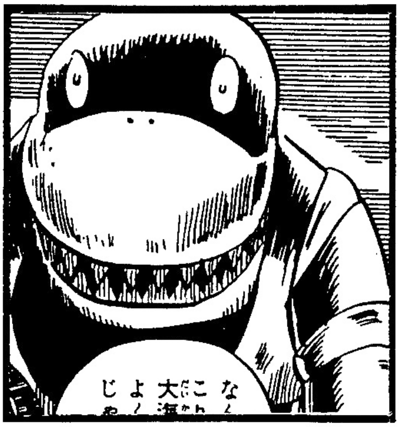
〔ノストラダムス大予言〕



フランケン

人間の死体を繋ぎ合わせて造られた人造人間。怪力だけで知能は低い。何故か『狼男』と共に『ドラキュラ』の手下として登場する事が多い。　〔ゲゲゲの鬼太郎〕

対大海獣用ロボ 鉄の大海獣

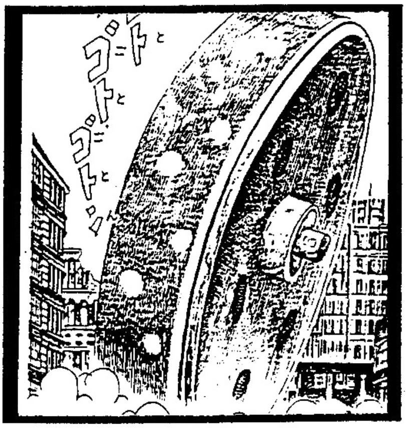


①50*m*④鋏・怪力〈ゲゲゲの鬼太郎〉

山田秀一が開発した水陸両用のメカ。

陸上でのパワーはゼオクロノドンを上回るが、水中ではかなわない。

対地上人用戦車 車輪メカ

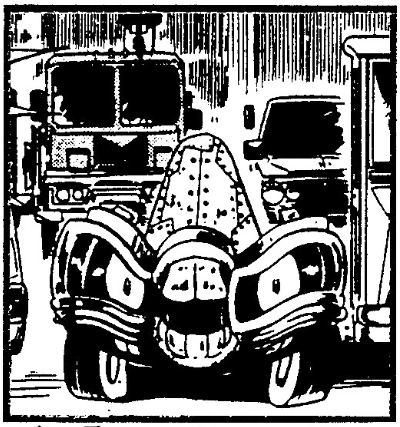


①100*m*③地底〈フ〜シギくん〉

『地底人』が乗り回す巨大マシン。

『フ〜シギくん』が変身した偽の『車輪メカ』に誘導され海の藻屑となった。

幽霊自動車 ゴーストカー



①3*m*④体当たり〈最新版悪魔くん〉

車を操り人間を轢き殺し、地上征服を企む。

その正体は人間や物体に取り憑く悪魔『カルマ』である。

執事メカ ロボット

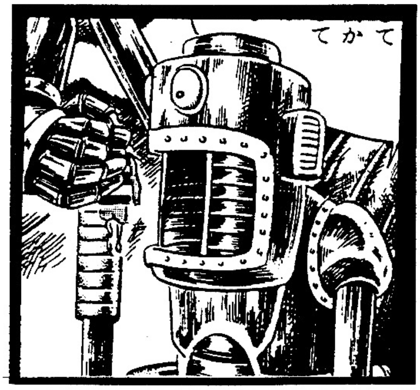


①1*m*③月・地下世界〈河童の三平〉

『ストトントノス大王』の後継者が現れるのをひたすら待ち続けている。

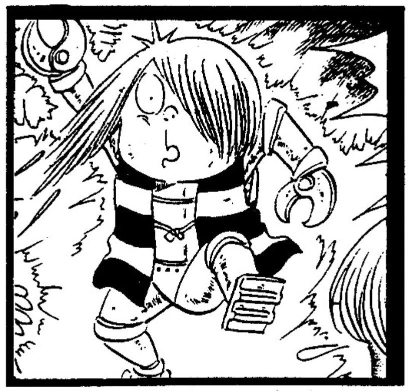
動力や内部構造については一切不明。

未来ロボ（みらい）



電子頭脳が支配する3000年後の世界では労働や生産はすべて『ロボット』が行い、人間が働いたり反抗すれば『ロボット』達にいじめられる。　〔新ゲゲゲの鬼太郎〕

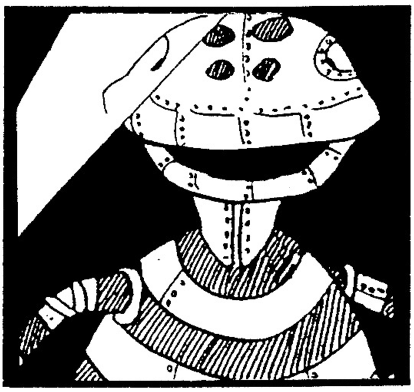
ロボット鬼太郎（きたろう）



ムーの霊融合技術で造られたニセの『鬼太郎』。《下駄》と《チャンチャンコ》を得て本物と同じ能力を身に付ける。

〔鬼太郎国盗り物語〕

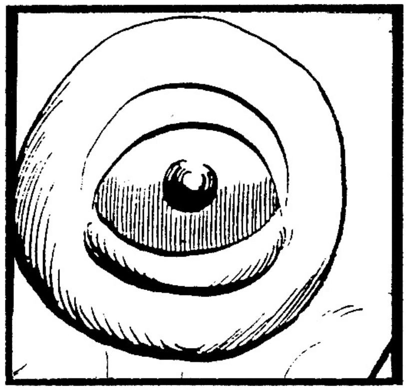
ラバン17号（ごう）



天才青年科学者、伊川二郎が開発した対ラバン用戦闘メカ。

17台目にしてやっと完成したが、伊川が反省したので不戦敗。　〔怪獣ラバン〕

目玉レーダー（めだま）



《ムー帝国》の無人探査機。自動追尾能力を持ち、ムーへの侵略者を察知すると自動的に作動する。　〔鬼太郎国盗り物語〕

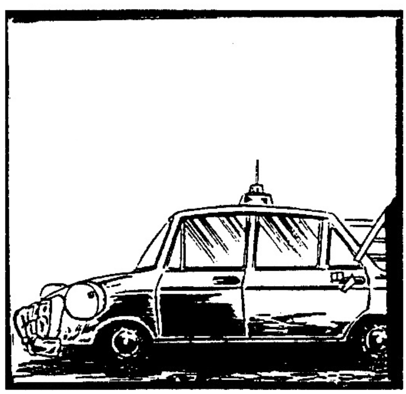
ムー戦車（せんしゃ）



外見は生物のようだが、内部には計器が並んでいる。しかし、戦車という割りにはそれらしき兵器は持ち併せていないようである。

〔鬼太郎国盗り物語〕

輪入道（わにゅうどう）



ノーベル賞候補者、山田レオナ氏の発明した《自動車》ならぬ《自動者》。『妖怪輪入道』の魂が宿ってしまう。〔輪入道〕



恐龍群（きょうりゅうぐん）

『毛羽毛現』が化石に子供の魂を入れて復活させた恐竜の大群。

〔ゲゲゲの鬼太郎〕



怪獣（かいじゅう）

『タケノコ星人（仮承）』の物体移送装置の実験に使われた謎の怪獣。

詳しい生態や移送先は不明 。

〔新ゲゲゲの鬼太郎〕



土精（どせい）

『悪魔くん』が誤って呼び出してしまった《大地の精霊》。

ファウスト博士が言うには「何でも無い」らしい。

〔悪魔くん〕



悪魔群（あくまぐん）

地獄を支配した『悪魔くん』が、地上征服のために引き連れて来た地獄の悪魔達。

『鬼太郎』率いる妖怪軍と衝突する。

〔復活悪魔くん〕



カネゴン

昭和72年の世界で使用されている《10万円札》に描かれている。

故・大伴晶司氏お気に入りの円谷怪獣である。

〔悪魔くん世紀末大戦〕



シャボン玉ゴジラ（だま）

フィンランドから来た『カルマ』を追い払う為、『ム～ラちゃん』がシャボン玉で造った『ゴジラ』。

〔おばけのム～ラちゃん〕



マンモス

太古の昔に棲息していた像の祖先。我々の祖先はこれを捕らえて食べていたらしい。

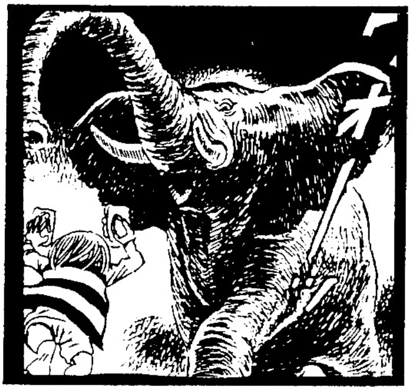
〔ゲゲゲの鬼太郎〕



井守（いもり）

邪馬台国の女王『卑弥呼』の霊力で巨大化した爬虫類。霊電気を帯びた球体を操る。

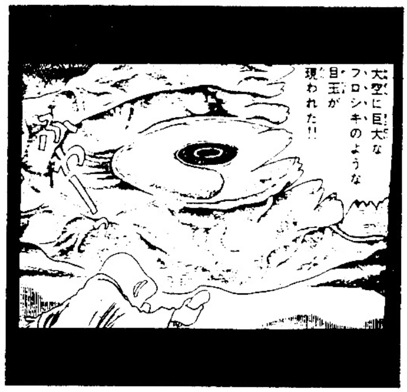
ゲゲゲの森の妖怪達に『ゴジラ』と間違えられる。　〔新編ゲゲゲの鬼太郎〕



吸血象（きゅうけつぞう）

妖怪大統領（蝙蝠猫）が魔法で召喚した幻獣。

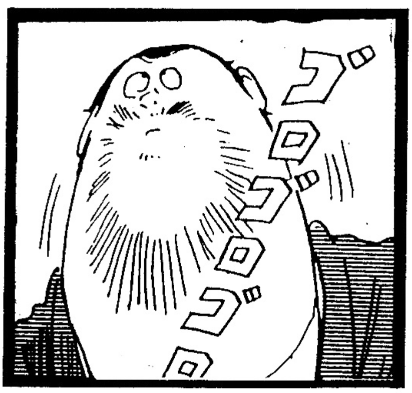
鼻から血を吸う。　〔ゲゲゲの鬼太郎〕



巨大目玉親父（きょだいめだまおやじ）

『死神』に空中に打ち上げられ、体が膨張して風呂敷のようになってしまった『目玉親父』。『死に神』を包み殺す。

〔ゲゲゲの鬼太郎〕



くまくす

明治時代に活躍した博物学者。あらゆる言語を解し、怒るとヘドを吐く。

豪傑。　〔快傑くまくす〕



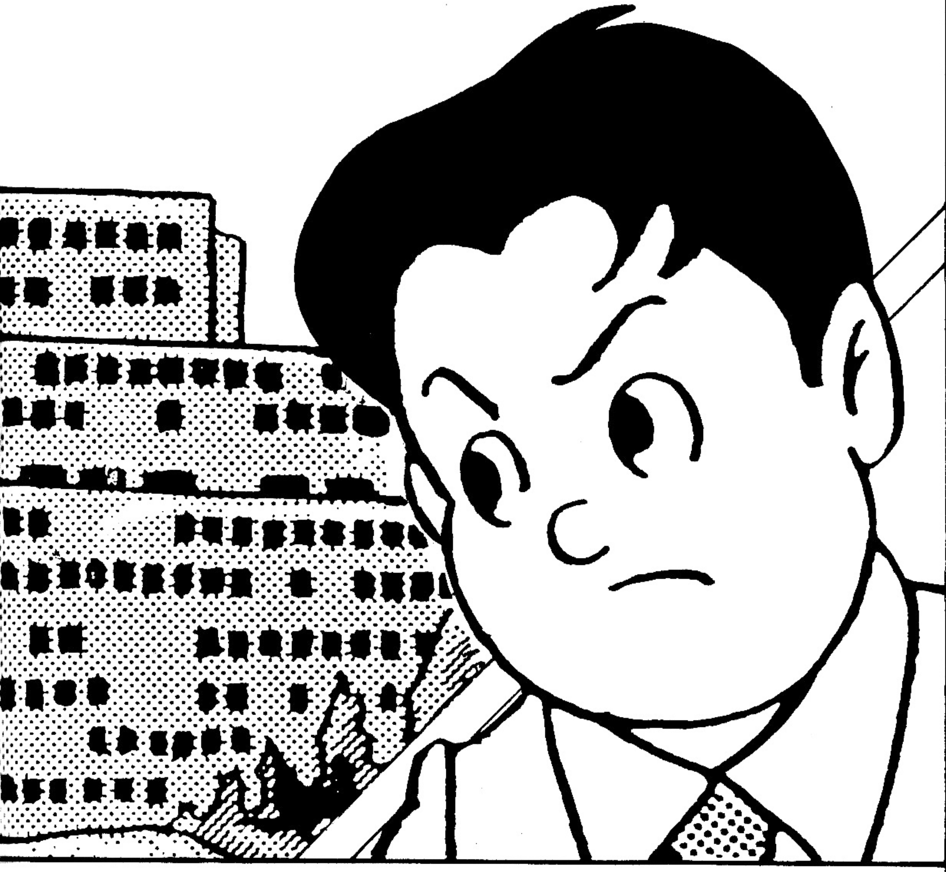
公害八俣大蛇（こうがいやまたのおろち）

河や大気中に公害を垂れ流して庶民を困らせる。詳しくは本編で。

〔公害八俣大蛇〕

怪獣ラバン

原作・東真一郎
構成・佐々木卓



2人の天才学生

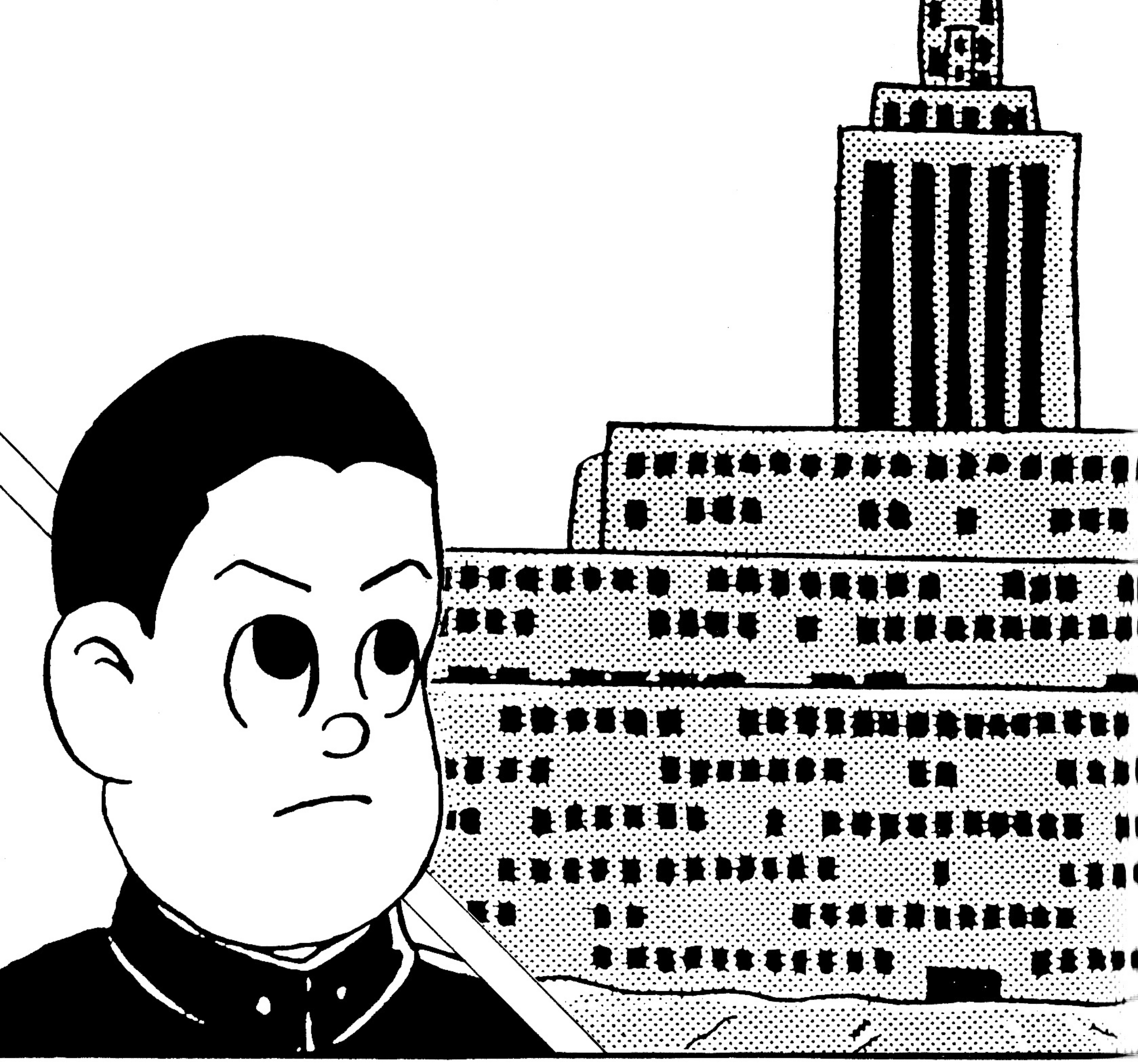
時は昭和33年、場所は東西大学で開かれた日本学術会議の会場。物語りはここから始まる。

「私がこれから発表する事は、ゴジラが存在するという事です。」

壇上に立ち、ゴジラ実在説を語っているのは天才科学者伊川秀鬼博士の令息であり、東西大学に籍を置く天才青年科学者、伊川二郎出ある。

馬鹿な！ゴジラは空絵事だ！口々に学者達が叫ぶ中、1人の青年が静かに立ち上がった。

青年の名は水木一郎。やはり東西大学に籍を置く天才青年科学者出ある。



「待ちたまえ伊川君。君の言おうとしている事はわかる。しかし、ゴジラの棲息場所を知らなければ発表しても無駄だろう。」
「では水木くん。君はゴジラの棲息場所を知っているのかね。」
「知っている。ニューギニアのポロゴン山だ！」
伊川は言葉を詰まらせた。
そして会議は閉会し、伊川は悔しさを胸に帰宅した。そして何げなく夕刊を開くと、そこにはニューギニアでゴジラが発見されたという記事が掲載されていたのである。伊川は驚き、父の研究室へと駆け込んだ。
「ああ、私もさっき連絡を受けた所だ。そこで調査隊を派遣する事になり、人選を急いでいるのだ。当然お前も行くのだよ。」
そして、水木もメンバーに選ばれていたのである。

調査隊出発

そして数日後、調査隊出発の朝を迎えた。

「お前、気をつけて行って来るんだよ。」

「心配しないで下さいお母さん。1ヶ月もしたら帰って来ます。では行って来ます」

もう1人の天才学生、水木一郎は母親と2人暮らしであり、他に身寄りはいないのである。

「親孝行なあの子に、何か悪い事でも無ければ良いが…。」

一郎の母親は、なぜか旅立つ息子の後ろ姿に不吉さを予感するのだった。



「がんばれよ！」

「ゴジラを捕まえて来いよ！」

人々の声援を受け、調査隊を乗せた飛行機が飛び立とうとした―その時である。

「待って下さい！」

群衆をかき分けて1人の少女が現れた。その少女は、伊川の妹の啓子だった。

「兄さん、これを持って行って下さい！」

啓子は御守り袋を頭上高く掲げて叫んだ。しかし伊川は

「馬鹿者！科学者にこんな物は要らん！」

と言って御守りを受け取ろうとはしない。

「渡したまえ。僕が兄さんに渡してあげるよ。」

そう言って御守りを受け取ったのは、水木である。

「では一郎さん、よろしくおねがいします。」

こうして飛行機は飛び立った。



「伊川くん、妹さんの親切だ。受け取れよ。」

「ふん、君が触れた物なら尚更お断りだね。」

「強情な奴だな。ではこれは僕がもらっておくぞ。」

ニューギニアへ向かう飛行機の中で、御守りを巡るこんなやりとりがあったという事を啓子は勿論の事を水木の母親も知る由もなかった。



現れたゴジラ

数時間後、飛行機はニューギニア上空へとさしかかった。やがてゴジラが出現したというポロゴン山が見えてきた。そして飛行機が着陸態勢に入った…その時である！ババババババ…！と謎の光が山の火口から発せられ、その光を浴びたとたんにエンジンが故障し、飛行機が落下し始めたのである。

「駄目だ！不時着するぞ！」

飛行機は密林に突っ込んで大破した。しかし奇跡的に隊員達は全員無事だった。



「今日はここで野営する事にしよう。伊川くんに水木くん、君たちは水を汲んで来てくれ。」

隊長に指令を受けた2人は給水タンクを持ち、川へ向かった。

やがて日が暮れ、2人が水を汲み終えた頃には辺りはすっかり闇に包まれていた。2人が帰路を急いでいると、ドドド…と、何か不気味な轟音が轟いた。何事かと2人が急いで戻ると、テントは目茶苦茶に崩れ、そこには瓦礫の山だけが残されていた。2人が呆然としていると、瓦礫の間から誰かの手が見えた。慌てて瓦礫を取り除いて見ると、それは隊長だった。



「しっかりして下さい隊長！何があったのですか？」

「ゴジラだ…ゴジラがついに現れたのだ！」

2人は驚いた。そして隊長は語り始めた。

「1時間ほど前の事だ。ドドド…という音と共にゴジラが現れたのだよ。わしは急いで採血器を打ち込みゴジラの採血に成功した。しかし…その後テントは踏み荒らされ…この在様だ…頼む水木くん！これを…このゴジラの血を無事日本へ届けてくれ！」

隊長は最後にそう言い残して息を引き取った…。

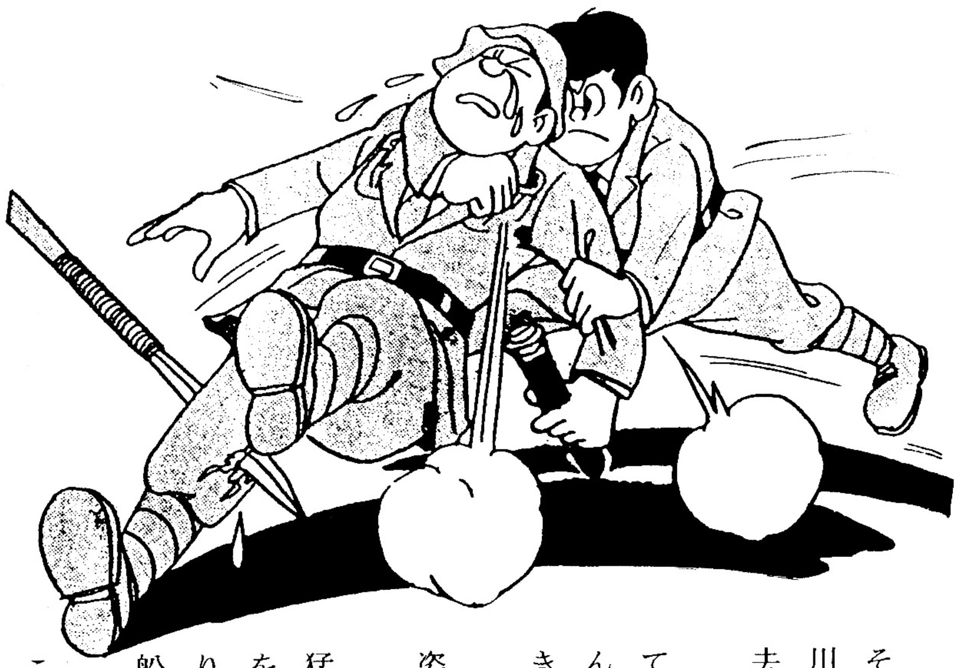
恐ろしいゴジラの血

「隊長、安心してください。ゴジラの血は必ず日本へ届けます。」

水木は隊員達の仮墓を前に誓いを立てた。しかし伊川は、隊長が水木にゴジラの血を託した事を面白く無いと考えていた。そして、なんとかゴジラの血を独り占めしようと思うのだった…。

2人はとりあえず必要最小限の荷物を持ち、浜辺へと向かった。やがて、好戦的な部族の暮らす密林へとさしかかり、2人は自然と足早になった。しかし、彼らに発見されてしまった！ビュッ！ビュッ！ビュッ！と、無数の槍がどこからとも無く降ってくる。そして運悪く、1本の槍が水木の足を貫いてしまった。

「うっ…しまった！」



水木はその場に倒れた。槍の先端には毒が塗られていたのである。

「あっ！水木がやられた…。ゴジラの血を奪うのは今だ！」

伊川は水木に飛びかかった！

「水木！ゴジラの血を渡せ！」

「うっ！何をするのだ！」

そして、ゴジラの血を奪い取った伊川は、無情にも水木を見捨てて走り去った。

「…うっ…毒にやられた僕を見捨てて逃げるのか…。しかし、僕はこんな所で死ぬ訳には行かない…。生きて帰ると母に誓ったのだ…。」

水木は薄れ行く意識の中で母親の姿を思い出すのだった。

一方、ゴジラの血を奪った伊川は猛獣や毒蛇の生息する恐ろしい密林を一気に駆け抜け、無事浜辺へとたり着いた。しかし、海を見渡しても船が通る気配はどこにも無かった。

「仕方無い…。助けが来るまでここで待とう。」

伊川は適当な木材をかき集めると、掘っ建て小屋を建て始めた。

おまえは幽霊か？

それが3ヶ月の月日が流れた。伊川は半ば諦めの心境でで海を眺めていた。すると、遠くを走る船が見えた。—しめたっ！伊川は急いで狼煙を上げた。

「こんな物では気付いてもらえない。そうだ！小屋を燃やしてしまおう！」

伊川は小屋に火を放った。すると船が停まり、救命ボートが浜辺へと向かって来た。助かった…！伊川がそう思った瞬間、背後の茂みがガサガサッと音を立てた。

「僕も連れて行ってくれよ。」



伊川が驚き振り向くと、そこには全身カサだらけで痩せこけた、謎の男が立っていた。

「お…お前はだれだ？」

「もう忘れたのか？水木だよ。」

伊川は驚き、恐れおののいた。

「わ…悪かった…。ゴジラの血は返すから許してくれ！」

「いや、僕はそんな物の為に生き延びたのでは無い。生きて帰ると母に誓ったのだ。」

こうして2人は日本の漁船に救出された。しかし伊川は、自分の悪事を水木に暴露されるのではと恐れていた。そして、水木を亡き者にしようと考えるのだった。

「そうだ…ゴジラの血を注射してみよう…。」

何という恐ろしい事を考えるのであろうか！伊川は救急箱から注射器を取り出し、水木の部屋へと向かった。

「水木くん。とても能く効く解毒剤があるのだが…」

「それは有り難い。」

水木は目に涙を浮かべた。伊川が本当に自分の事を心配しているのだと思ったからだ。そして…伊川は注射器にゴジラの血を入れ、それを水木の腕に注射した。



「うっ！馬鹿に痛い注射だな！」

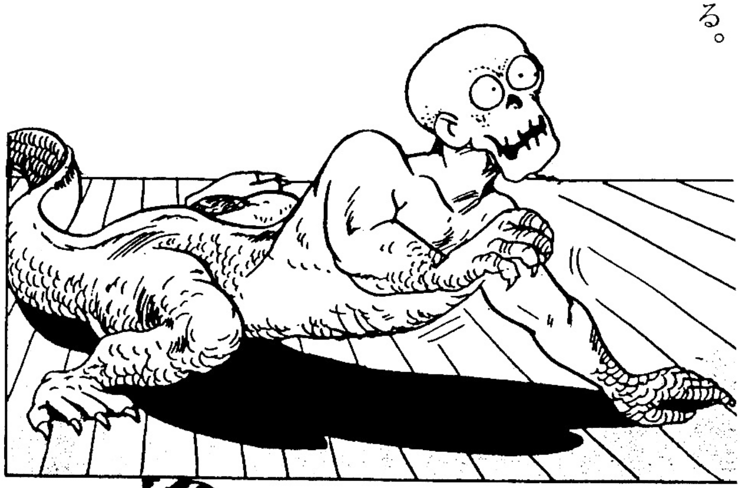
ゴジラの血を注射された水木は、どうなってしまうのだろうか…。

それから3日が経過した。伊川はそっと水木の部屋を覗いて見た。水木は丁度、ベッドから起き上がり洗面所へ向かう所だった。

「どうも体の調子が変だ…。」
水木は呟きながらドアノブに手をかけた。すると、そのまま手袋でも外すかのように、スルッと手の皮が剥けてしまった。
「あっ！」
水木が驚いていると、今度は全身の毛が抜け始め、皮膚がボロボロと崩れ始めた。そしてその下から鱗のような模様が浮かび上がり、手足の爪が伸び始めたのである。更に顔が尖り、尾まで生えてきた。

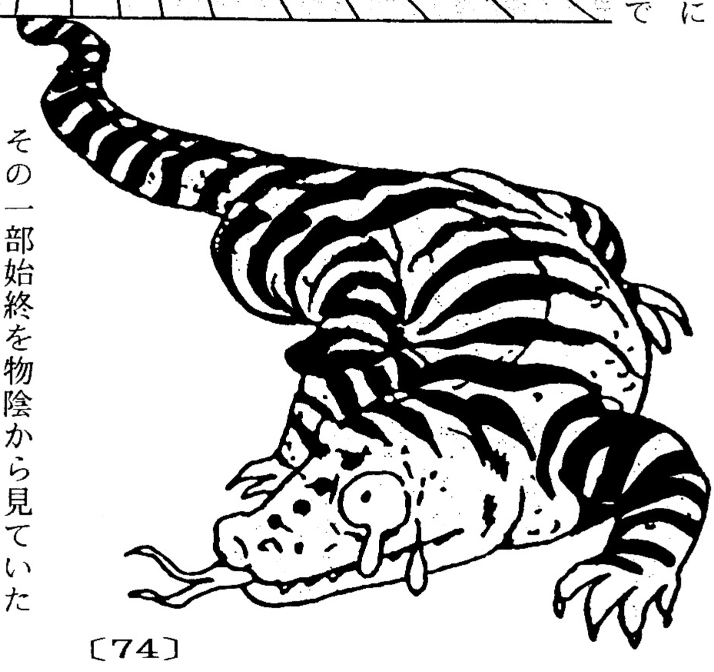


そして数分後、水木の姿は完全に巨大なトカゲへと変貌を遂げたのである。



水木は洗面所の鏡に映った自分の姿を見て驚き、そして何を思ったのか部屋から這い出すと甲板から海へ身を投げ捨てた。
「こんな姿になる位なら…、死んでしまおう。」

その一部始終を物陰から見ていた伊川は、船長に
「水木は気が狂って自殺した。しかし、事情は自分が帰ってから直接伝えるので無線連絡はしなくても良い。」
と告げた。
やがて、伊川を乗せた船は横浜港へ到着した…。



世界的大成功

横浜港は、世界で初めてゴジラの血を採取する事に成功した英雄の姿を、一目見ようとする人々で溢れかえっていた。やがて船が到着し、伊川がその姿を現すと人々の歓声は一段と高くなった。

「よく帰って来てくれた。」

伊川をまず始めに出迎えたのは、父親の伊川秀鬼博士だった。そしてその背後から人込みをかき分けるようにして1人の中年女性が現れた。それは水木の母親だった。

「あのう…あの子は、一郎はどうなったのでございましょうか？」

伊川は驚き慌てた。そして、

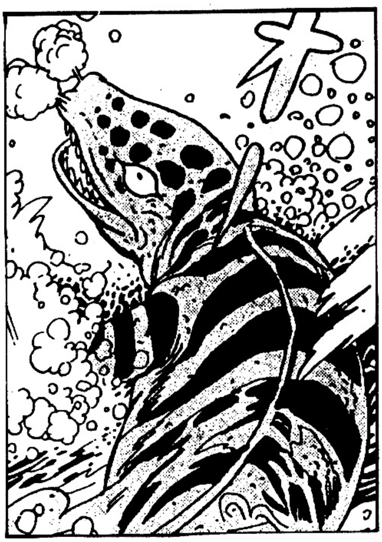
「僕はこれから大臣に会うので忙しいのです。」

と言い、逃げるように車に乗り込んだ。

そして、秀鬼博士はそんな息子の姿に疑問を感じるのだった。

翌日、秀鬼博士は息子にニューギニアでの出来事を問いただした。しかし伊川は言葉を濁して答えない。

そうしているうちにラジオから臨時ニュースが流れて来た。



―沖縄方面に巨大な怪物が出現しました。付近航行の船舶は十分に注意してください。繰り返します…

その怪物こそ何であろう、船上で変貌を遂げた水木なのである。やがて水木は人目につかないように九州の無人の浜辺を選んで上陸した。

しかし運悪く近くの灯台守りに目撃されてしまい、通報を受けた警察を通じて自衛隊が出動する事になってしまった。

ゴーッ！やがて航空自衛隊の爆撃機が到着し、水木めがけて数発のミサイルを発射した。

ヒュウーッ！ドドーン！

ミサイルは全て命中した。

しかし、水木は傷一つ負っていない。

「あちち…なんて事だ…。自殺みようとしたが僕は水中でも呼吸ができる体になっていたのだ…。仕方無いから一目母に会い、生きている事を知らせて引き上げるつもりだったのに…。それにしても先に帰った伊川は英雄として迎えられ、僕は爆撃を受けるとは…」

水木は心の中で呟きながら海へと引き返した。

御守りの怪？

「兄さんが無事に帰って来られたのも、あの御守りのおかげね。」

伊川が考え事をしていると、不意に妹の啓子が声をかけた。

「御守り？そんな物は知らん！」

「しかし私は水木さんに預けたのよ。」

「それじゃあ、あいつがくすねたんだろう。」

「水木さんはそんな事する人じゃないわ。兄さんは以前から水木さんの才能を妬んでいたのよ。」

「うるさいっ！用が無いなら出て行け！」

その頃、東京湾に巨大な影が現れた。それは水木だった。通報を受けた自衛隊が早々と駆けつけ大砲を発射した。ヒュルルゥ、ドッカーン！

水木は重傷を負った。

「ひどいなあ…僕は建物を傷めないようにしているのに…。」

「よし！もう一発準備しろ！」

その号令を聞き、さすがの水木も怒って威嚇した。

「うわあっ！逃げろおっ！」

隊員達はほうほうの体で逃げ出した。自衛隊が来た事で安心し切っていた人々もそれを見て慌てだし、辺りはパニックに陥った。

「もう面倒だ。早く母に会って引き上げよう。」

水木は町中を歩き始めた。やがてわが家へ到着し《お母さん！》と叫んだ。

しかしその声は『ガオーッ！』という獣の叫び声にしかならなかった。

「何かしら？」

表に出て見た水木の母は腰を抜かした。

「たっ…助けてっ！」

その姿を見た水木は悲しくなり涙を流した。

―情け無い…母親にも気付いて貰えないなんて…。

水木は力無く海へと引き返し始めた。しかし、あることに気付いた。

―そうだ！爪の間に挟まっている御守り…これを見れば伊川は気付いてくれるだろう。

水木は伊川邸へ向かった。そして窓ガラスを割り、御守りを放り込んで立ち去った。

「何事だ！」

伊川家の人々が集まってきた。

「あっ！これは…？」

伊川は御守りを拾いあげ驚いた。

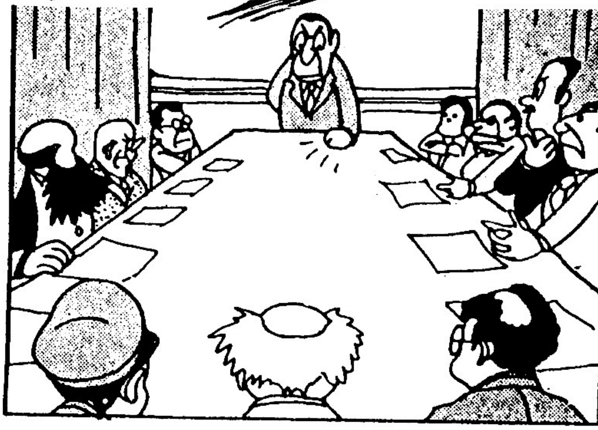
―やはりあの怪物は水木！

「あら？その御守りは…」

「うるさいっ！何でも無い。」

啓子に気付かれた伊川は、慌ててその御守りを隠した。

それは怪獣ラバンだっ！



翌日、怪獣対策会議が開かれ、各分野の科学者や軍事評論家が多数招かれた。勿論、その中には伊川親子も含まれていた。そして、議長は首相自らが務める事になった。

「あの怪物を退治する自信のある方はいませんか？」

「首相！我が自衛隊の力を持ってすれば獣の1匹や2匹、訳無い事です。」

そう言って立ち上がったのは自衛隊の隊長である。

「しかし、その獣が何であるか御存じかね？」

生物学者の皆高博士に質問され、隊長は言葉を詰まらせた。そして皆高博士は続けて発言した。

「あの怪物は名前の無い、まったく新種の生物です。それは、何かの関係でゴジラと人間の血液が総合された場合に発生する物であり、あえて命名するならば『ラバン』という動物なのです。」

その発表を聴いた伊川は、あの怪物が水木である事を確信した。



「―で、ラバンを退治する自信のある者はいるのかね？」

「首相！僕に任せてください！」

伊川は立ち上がって叫んだ。

「…して、予算はどれ位？」

「ざっと1億！」

「安いっ！2億出そう。」

こうして伊川は2億円でラバン退治を引き受ける事になった。



皮肉な運命

数日後、水木の母親が伊川邸を訪れた。女中として働くためである。

「よろしくお願いします。」

「…時に、一郎くんは気の毒な事で…」

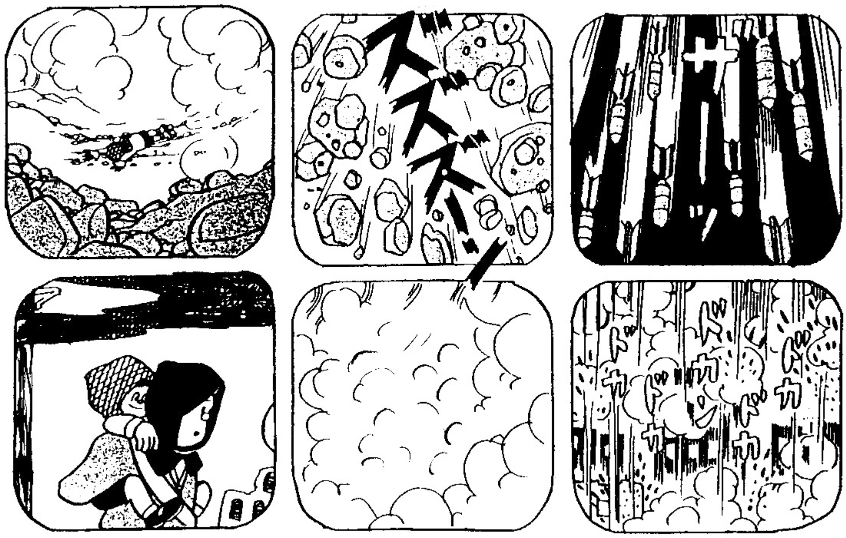
「…実は今だからお話しするのですが、あの子は私の本当の子ではないのです。」

秀鬼博士は驚いた。そして、水木の母親は語り始めた。

「思い起こせば13年前の東京大空襲の時の事です。あの子は焼野原に倒れていたのです。聴けば自分の名前しか覚えておらず、そこで私はあの子を引き取って育てる事にしたのです。」

「まぁ！そうだったんですか。」

そこへお茶を運んで来た啓子も驚いていた。



しかし、それ以上に秀鬼博士は驚いている。

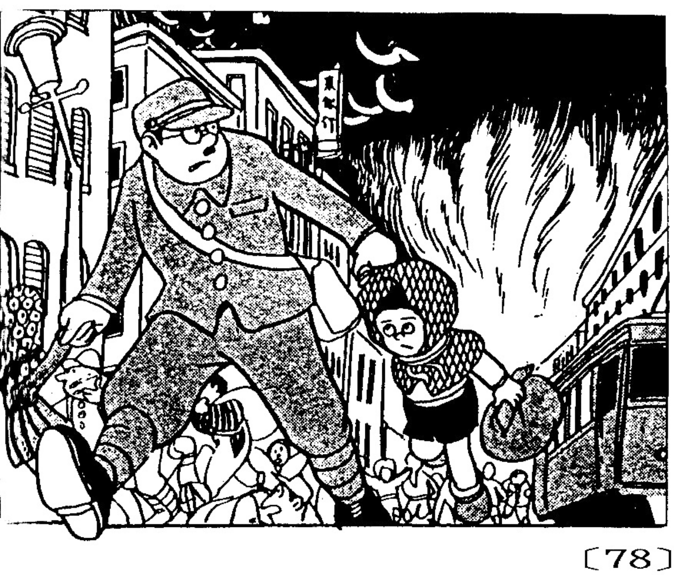
「ま…まさかその子は私の息子の一郎では…！」

今度は水木の母親が驚いた。啓子は驚き通しである。

「実は東京大空襲の時、私は二郎と啓子を、妻は一郎を連れて逃げていたのですが…いつしか妻を見失ってしまい、それ以来2人は見つからず死んだものだと諦めていたのですが…。」

水木の母親は驚き、一郎を発見した時の様子を詳しく語った。

そして、一郎が二郎の兄である事が判明したのだった…。



ラバン17号

伊川は対ラバン用のロボットを開発していた。しかし失敗が続き、既に15体ものロボットがスクラップされていた。そしてまた、15体目のロボットが大音響と共に爆発してしまったのである。

「また失敗かね。」

「あっ、首相…すみません。」

「謝って済む問題かね。もう32億も出しているんだぞ。」

「しかし首相、万一ラバンが街で暴れたら被害は千億程度では済みませんよ。」

「…仕方無い。しかしこれで失敗したら辞めてもらうからなっ！」

―一方、伊川家では―

「兄さんは2ヶ月も帰って来ませんね。」

「うむ。あれはラバンを退治するための研究をしておるのだ。」

「では、兄さんは一郎兄さんを殺そうとしているのね…。」

「何を馬鹿な事を言うのだ。」

「しかし私は見たのです。以前ラバンが現れた時、ラバンが投げ込んで行った物は私が一郎兄さんに渡した御守りだったのです。」

「何！そんな馬鹿な…。」

しかしその時、秀鬼博士は帰国後の息子の様子と併せて怪獣対策会議での皆高博士の言葉を思い出していた。

―それは、何かの関係でゴジラと人間の血液が総合された場合に発生する物であり…。

「ま…まさか二郎が…。」

その夜、伊川が久し振りに帰宅した。

「父さん！ついにラバン17号が完成しました！」

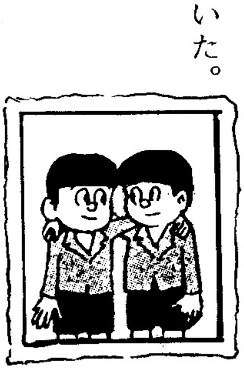
伊川は父が喜んでくれると思っていた。しかし秀鬼博士を始め、妹の啓子や水木の母親も深刻な顔をしている。

「二郎、驚かずに聞いてくれ。水木くん…いや、一郎はお前の兄なのだ。」

秀鬼博士は全てを語った。伊川は驚き、うろたえた。

「これを見てくれ。たった1枚だけ残されたお前達兄弟の写真だ。」

そこには、幼き日の2人が写されていた。

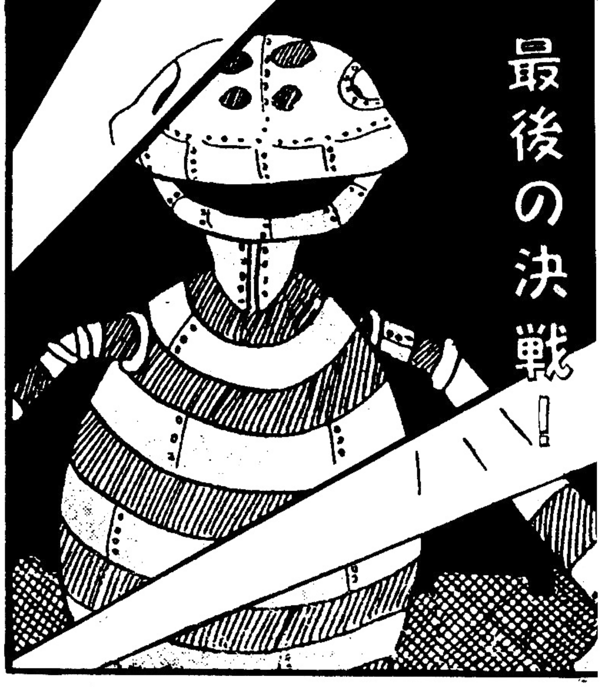


「そ…そんな…。」

「兄さん…。ニューギニアで何かあったんじゃない？」

妹の言葉を聞き、伊川はその場に泣き崩れてしまった。

最後の決戦!!



丁度その頃、横浜港にラバンが現れ大騒ぎとなっていた。そして、伊川邸に数台のパトカーが到着し中から首相が現れた。

「ラバンが横浜に現れたのだ!二郎くん、早くラバン17号を発進させたまえ!」

「えっ!…し…しかし…。」

伊川は口籠もり、何とかごまかそうとした。しかしごまかし切れなくなり、やむを得ずパトカーに乗り込み研究所へ向かった。



「もう…後には引けない…。」

伊川は各後を決め、ラバン17号に乗り込んだ。

ー付近の住人は速やかに避難して下さい。

街に避難勧告が発令され、人々は逃げ惑った。そして人々が居なくなって静まり返った街中に、ラバン17号の足音が響いた。

ズシン、ズシン、ズシン…。

やがて伊川の目の前にラバンの姿が見えてきた。



「これが兄か…。」

伊川の頭の中を、今までの出来事が映画のように流れた。

ー怪我をした一郎からゴジラの血を奪って逃げた事。

ー変わり果てた姿で再開した事。

ー船上で解毒剤だと偽ってゴジラの血を注射した事。

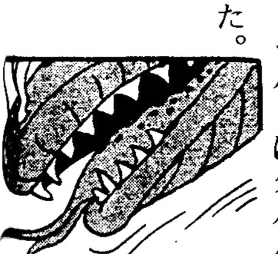
ーそして船上で怪物へと変身して行く兄の姿…。

「僕は…何て事をしてしまったのだ!こうなっては仕方が無い。直接兄に謝ろう…。」

伊川はラバン17号を乗り捨て、ラバンのもとへ駆け寄った。

「兄さん!僕が悪かった!」

ラバンはグルルッと低い声で唸った。





そして伊川めがけてガーッ！と腕を振り下ろして来た！

ーもう駄目だ！これも自分がした事の報いなのだ！

　伊川は覚悟を決めた。だが、ラバンの腕は伊川の頭上で止まった。そしてラバンは伊川を摘まみ挙げ、ズシン、ズシンと首相の居る建物へと向かった

「あっ！こっちへ来るぞ！」

　逃げようとする首相の背後から伊川が叫んだ。

「待って下さい首相！私の話を聞いて下さい。」

　首相の前に降ろされた伊川はすべて白状した。

「すると君は今まで私を騙していたのだな？」

「…申し訳ありません首相。そのうえ誠にすみませんが、兄を元に戻す為に百億ばかり…。」

「ふざけるなっ！」

　首相は激怒した。だがしかし、その背後から眼鏡をかけた謎の紳士が現れた。

「首相っ！」

「誰だね君は？」



「作者です。百億出してもらわないと、物語が終わらないので困ります。」

「ふんっ！勝手な奴だ。仕方が無い、今回は特別だぞ。」

　こうして、謎の紳士のおかげでラバンを元に戻す作業が行われる事になった。

「まず体内からゴジラの血とあの毒をを抜けば良いのだな。」

　伊川親子は力を合わせて研究に取り組んだ。

「結局、僕のつまらない野心の為にこんな大それた事になってしまって…。」

「そうだ。科学者はしっかりとした良心を持たなくては駄目だ。」

　かくして大々的な還元装置が設けられ、一郎は無事に元の姿へと戻る事が出来た。

「兄さん…すまなかった…。」

「いや、もう過ぎた事は良い。これからは2人で力を合わせ、科学の為に頑張ろうではないか。」

「兄さん…。」

　こうして2人は和解し、世界平和の為に自分たちの才能を使う事を誓い合うのだった。

完、

水木しげるの怪獣漫画名鑑



怪獣ラバン

【一九五七(昭和三二)年十一月二五日　発表】

●発表誌—暁星文庫(株式会社暁星)
●登場怪獣—ラバン、ゴジラ、他

＊「ないしょの話」「大海獣」のベースとなった水木しげる初期の書下し長編作品。妖怪や風刺もの、また戦記漫画といったジャンルが有名な水木氏の作品群に、怪獣漫画というジャンルを確立させたのはこの作品があったからこそで、またこのような怪獣漫画の新作が発表されるのを期待したいと思う。ペンネームは東真一郎。



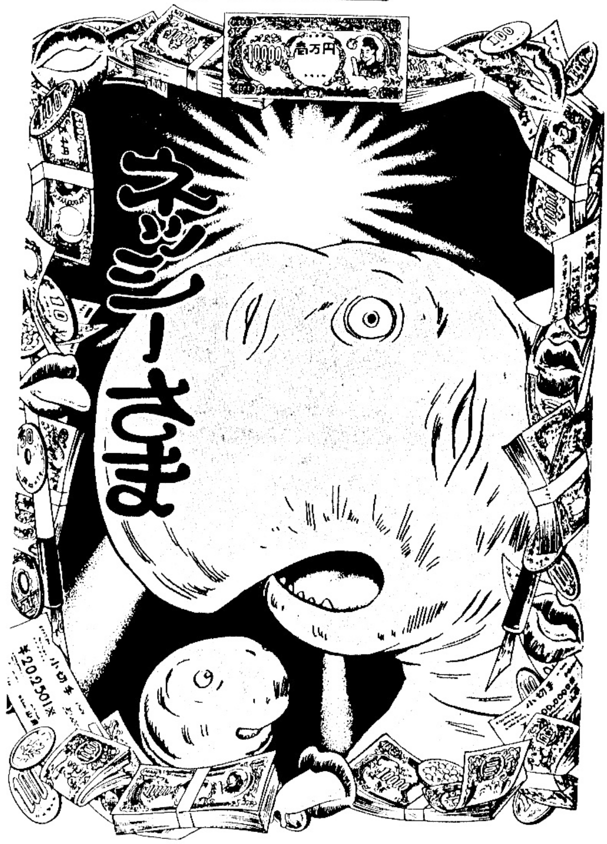
霊獣マッサライ

【一九七七(昭和五二)年十月一日　発表】

●発表誌—DONDON(日本ジャーナル出版)
●登場怪獣—マッサライ

＊怪獣の死体の写真が新聞に載った。それを見た男は「南方の現地人が書いた絵にそっくりだ」と友人に話す。友人は「これは儲け話」と会社に旅費を出させ男を現地へ向かわせる。だがこの怪獣は霊獣マッサライといって、あの世に生息するもの。男は現地の占いばあさんにあの世に魂を送ってもらうが、あの世の住民の怒りをかい、そのまま帰らぬ人となった。

水木しげるの怪獣漫画名鑑



ネッシーさま

【一九七七(昭和五二)年九月一日　発表】

●発　表　誌―漫画アクション(双葉社)

●登場怪獣―ネッシー

＊ニュージーランド沖でネッシー(首長竜)の子供が捕獲された。捕獲した会社の社長はネッシーを見せ物にして大儲けをしようと企む。だがネッシーを見せ物にしようとすると、何処からともなく大きな水玉が現れて妨害する。更にネッシーの親が現れて大混乱。社長はやむおえず、ネッシーを親に返すのであった。



やまたのおろち

【一九六七(昭和四二)年一月五日　発表】

●発　表　誌―少年サンデー増刊(小学館)

●登場怪獣―やまたのおろち

＊やまたのおろちの遺跡があるといわれる「ひい川」の上流にやってきた少年は、やまたのおろちではなく「呼子」という妖怪に出合う。呼子は手にダイヤモンドを持っており、少年がダイヤに触れるとダイヤの中に引き込まれてしまった。ダイヤの中で少年が見たものは、少年が探していたやまたのおろちだった…

水木しげるの怪獣漫画名鑑



キンドコング

【一九七七(昭和五二)年一月十三日　発表】

●発 表 誌―パワァコミック(双葉社)

●登場怪獣―キンドコング、モグラコング、他

＊人気タレント欽ちゃんが番組の収録中に奇妙なはがきを踏み付けたら巨大化しキンドコングになってしまった。同じ頃、別の場所で巨大なモグラが出現。都心を破壊する。巨大モグラは自衛隊の攻撃にもびくともしないので政府は巨大モグラ退治をキンドコングに依頼。死闘の末、モグラを東京湾に投げ飛ばしキンドコングの勝利。欽ちゃんも元の大きさに戻る。



マンモスフラワー

【一九六五(昭和四〇)年十一月発表】

●発 表 誌―ガロ(青林堂)

●登場怪獣―マンモスフラワー

＊蛆虫と悪臭で有名な東京の「夢の島」に巨大な怪植物が出現した。怪植物は清潔にされるのを嫌いブルドーザーやノコギリでもびくともしない。怪植物は「マンモスフラワー」と呼ばれ東京中に出現した。金持ちのビルを次々と壊し戦車でも火焔放射機でも歯が立たない。マンモスフラワーを殲滅させる手段はないのか？

水木しげるの怪獣漫画名鑑





大海獣（墓場の鬼太郎）

【一九六六(昭和四一)年五月二二日〜七月三日】
●発表誌—少年マガジン(講談社)
●登場怪獣—大海獣、鉄の大海獣
＊ニューギニアの奥地へ探検家と一緒に大海獣を調査しに行った鬼太郎は、手柄を独占しようとする青年科学者「山田秀一」によって大海獣の血を輸血させられてしまい大海獣へと変貌してしまう。ロボットの大海獣との戦いは後の特撮映画等も影響を与え、鬼太郎シリーズの中でも一際異色作品で、そのスケールの大きさといい怪獣漫画のジャンルに入れてもおかしくない作品だ。

妖怪獣（墓場の鬼太郎）

【一九六七(昭和四二)年七月二日〜八月二〇日】
●発表誌—少年マガジン(講談社)
●登場怪獣—蛟龍、妖怪なまず、要石
＊四国のダム工事現場から八百八狸が復活、妖怪獣・蛟龍と妖怪なまずを操り日本を占領してしまう。人類最大のピンチに我等が鬼太郎が立ち上がるが、相手は手強い。鬼太郎もこれ迄にない危機にさらされる。作品は少年マガジンに全八回も連載されたスケールの大きい超大作。現在コミックスに収録されているものは大幅にカットされたもので、完全版は某舎より全2巻で限定発売されたが絶版、水伝での完全版が期待される。

水木しげるの怪獣漫画名鑑



なんじゃもんじゃ（悪魔くん）

【一九六六(昭和四一)年十二月二五日〜】

●発　表　誌—少年マガジン(講談社)

●登場怪獣—怪物＋魔物＝なんじゃもんじゃ

＊山奥から突然イソギンチャクのような怪物が出現、悪魔くんはメフィストに怪物退治を命令するがソロモンの笛をなくしてしまい言うことを聞かない。仕方なく魔法陣から魔物を呼出し怪物と対決させるが二匹は死闘を繰り広げやがて丸い塊となる。塊は妖怪もののけと油すまし、小豆とぎによってもっと恐ろしい「なんじゃもんじゃ」に作り替えられてしまう。妖怪たちはなんじゃもんじゃで人類に戦線布告してきた…



ビチゴン事件（悪魔くん）

【一九六七(昭和四二)年一月一日】

●発　表　誌—別冊少年マガジン(講談社)

●登場怪獣—ビチゴン

＊ある村では、家畜の糞の処理に困っていた。村長たちは村にある「底なしの穴」に糞を捨てることで解決したと思った。しかし、底なしの穴にはビチゴンという糞を吹きかける怪物が冬眠していた。底なしの穴に糞を流したことからビチゴンは目覚め、都心で大暴れをしていた。悪魔くんこと山田真吾はメフィストの力を借りてビチゴンを退治するのであった。

水木しげるの怪獣漫画名鑑



空中大サーカス（縄文少年ヨギ）

【一九七六(昭和五一)年二月六日】

●発表誌―パワァコミック(双葉社)

●登場怪獣―怪鳥、巨大ゴキブリ、他

＊「縄文少年ヨギ」という作品は縄文時代が舞台の物語なので怪獣、怪物と言った類のものが多く登場する。この「空中大サーカス」の話もそれで、怪鳥や巨大昆虫が登場し、ヨギたちを乗せて空で大レースを繰り広げる。



カラス（縄文少年ヨギ）

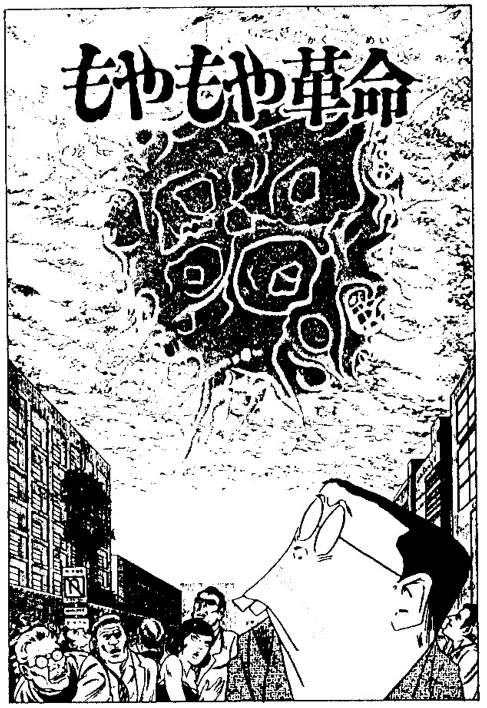
【一九七六(昭和五一)年二月十三日】

●発表誌―パワァコミック(双葉社)

●登場怪獣―怪物（リュウ）

＊ヨギの住む村に怪物・リュウが現れた。リュウは家を壊し、人々を喰う。ヨギたちは山の精という河童のような生き物の力を借りてリュウを退治することができるがリュウの死体から出る臭いや血が部族を苦しめる。これは山の精が部族を全滅させるための罠だったのだ。ヨギも山の精に捕らわれ大ピンチ。そこへヨギに味方するカラスと猿がヨギを助けだし、ヨギは山の精から解毒剤を奪い村を救った。

水木しげるの怪獣漫画名鑑



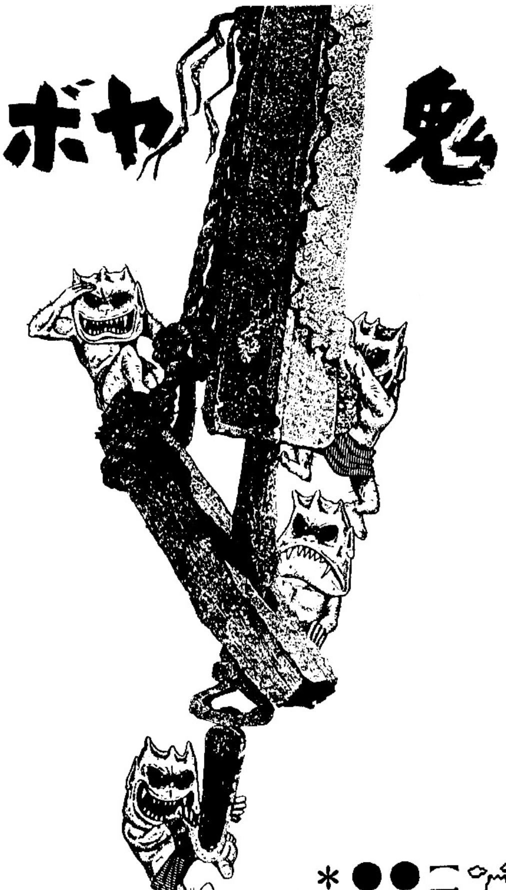
もやもや革命

【一九六九(昭和四四)年九月一日】

●発 表 誌―小説エース(学研)

●登場怪獣―もやもや

＊東京の空に、ある日バルンガのような浮遊物体がふわふわ浮かんでいた。マスコミはこれを「もやもや」と呼び、政府は無害であると報じた。だがもやもやは益々大きくなり住民の不安は増すばかり。さらに「日本妖怪会議」と称するものが「政府のごまかし政治が改正されないともやもやは更な大きくなり、やがて爆発する」と発表。そして庶民の期待どうりもやもやは大爆発…



ボヤ鬼

【一九六九(昭和四四)年一月十六日】

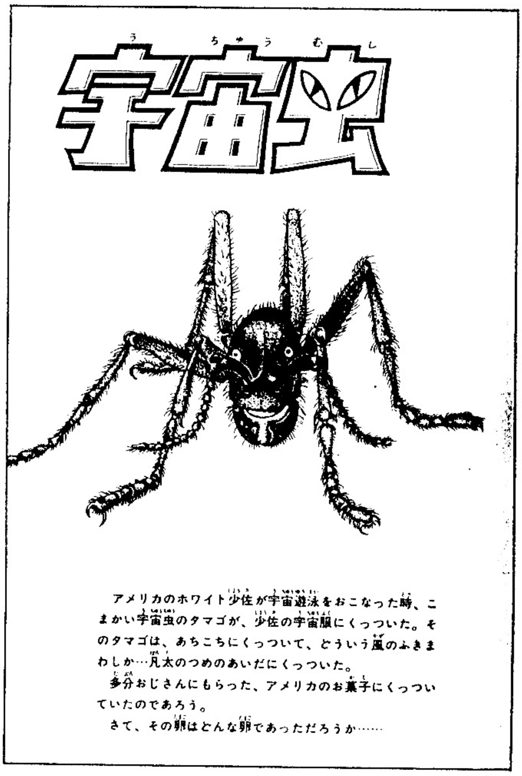
●発 表 誌―漫画アクション(双葉社)

●登場怪獣―ボヤ鬼

＊山田は真面目な人間だ。だが会社では誰にも相手にされず要領が悪いので後輩に先に出世される。そんな不満が彼の飲酒料を増やさせ、愚痴も多くなる。ある日山田は帰りの地下鉄内である男と知りあう。男と愚痴を交わす間に男の口から卵のようなものが山田の口の中へ入った。それは世にも恐ろしい「ボヤ鬼」という生物の卵だった。山田の体内で育ったボヤ鬼は彼の部屋で繁殖し、そして山田はボヤ鬼に体を乗っ取られてしまう…

水木しげるの怪獣漫画名鑑





墓守虫

【一九六六(昭和四一)年七月八日】

●発 表 誌―漫画天国(芸文社)

●登場怪獣―墓守虫

＊不況の世の中、失業した夫婦が保険詐欺を企てた。睡眠薬で妻を仮死状態にし保険金をガッポリ頂戴するというものだ。計画はうまく進んで床についたその夜、押し入れに「墓守虫」という人肉を喰う伝説の虫が隠されているのを発見する。妻が仮死状態から戻ったときに「自分を殺すために飼っていたのだ」と考えた男は仮死状態の妻を墓守虫に喰わせ誤って自分も墓守虫に喰われてしまう。

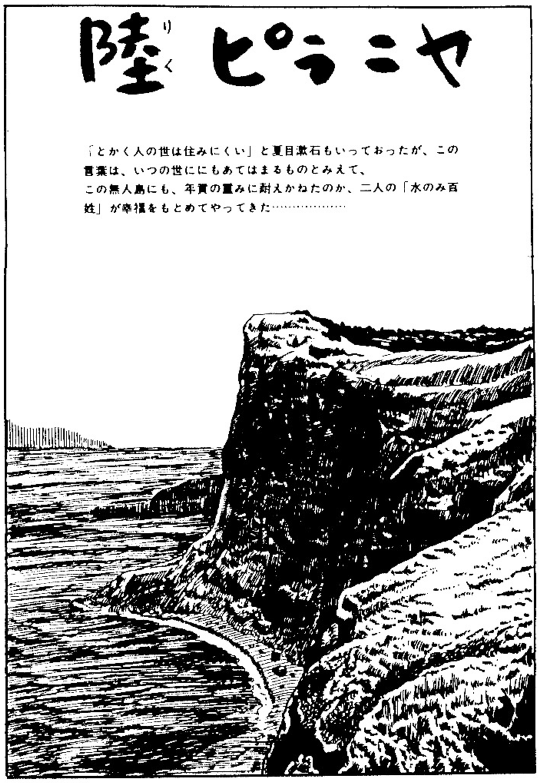
宇宙虫

【一九六五(昭和四〇)年十一月一日】

●発 表 誌―別冊少年キング(少年画報社)

●登場怪獣―宇宙虫

＊アメリカの宇宙飛行士の体に付着した奇妙な卵は風に飛ばされ少年「凡太」の爪の中に紛れ込んだ。卵から孵化したのは今迄見たことの無い虫で、凡太は飼ってみようと思ったが両親に反対され仕方なしに近くの小島に投げ捨てた。奇妙な虫は学者に「宇宙虫」と呼ばれ宇宙虫は小島で急激な進化をし自力でロケットを造り自分の星へ帰っていった。





陸ピラニア

【一九六五(昭和四〇)年三月五日】

●発 表 誌―ガロ(青林堂)

●登場怪獣―陸ピラニア

＊年貢の重みに耐えかねて、二人の百姓が無人島にやってきた。眼鏡の男が野菜の栽培に余念のないころ頬にイボができる。もう一人の男がそのイボも栽培して楽をしようと提案する。イボは眼鏡男の養分で成長、独立するが楽になるどころかイボは反発、実はこのイボ、イボではなくて陸に住むピラニア「陸ピラニア」だった。二人は島に隠れていた陸ピラニアの大群に家畜として飼われるのであった。

恐るべきライバル

【一九六六(昭和四一)年六月二四日】

●発 表 誌―漫画天国(芸文社)

●登場怪獣―(原子生物)

＊花子は眼鏡の男と交際していた。だが花子に想いを寄せる青年科学者は原始生物を育て眼鏡の男を喰わせる。悲しんだ花子は友人の男「山本」に結婚することを条件に青年科学者をかたずけて欲しいと頼む。だが山本も原始生物の餌食にそして青年科学者も原始生物に殺される。それは原始生物はオスであり、奴もまた花子を狙っていたからだ。

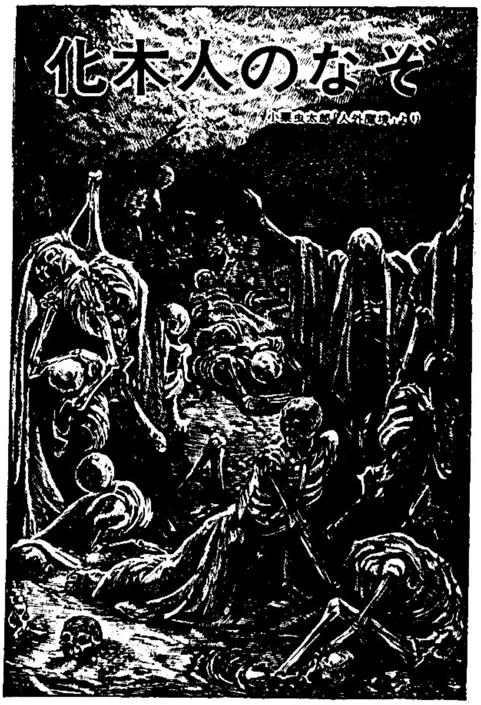
水木しげるの怪獣漫画名鑑



怪物マチコミ

【一九六六(昭和四一)年二月十一日】

●発 表 誌―漫画天国(芸文社)
●登場怪獣―マチコミ
＊貧乏絵草紙屋「横山貧観」が売れない絵草紙屋から超売れっ子絵草紙に大変身。それはアイデアを絞り取ってしまう恐ろしい怪物マチコミに目を付けられたからだ。横山貧観は廃人になるまでマチコミにアイデアを絞り取られてしまうのだ。あぁ恐ろしい。



化木人のなぞ

【一九六九(昭和四四)年八月十日】

●発 表 誌―少年キング(少年画報社)
●登場怪獣―牙蛙、吸血蝙蝠、ツカンデロ、他
＊交通事故に会った男が緑色の血をしていた事件があった。男は輸血ができないため死亡。遺体は死後木質化し、学者達はこの男を化木人と名付けた。化木人のなぞを調査すべく、学者は探検隊の編成を提案。博士の孫の正夫を含めた3名と現地で知りあったアメリカ人の4人で人跡未踏のアマゾンの奥地へ向かう。しかし、そこには人喰い植物や人間大の牙蛙、大蛾ツカンデロ等が生息する大魔境だった。

水木しげるの怪獣漫画名鑑



カモイ伝

【一九六六(昭和四一)年一月一日】

●発 表 誌—ガロ(青林堂)
●登場怪獣—原始人

＊人跡未踏の山奥に入り込んだ二人の男は、絶滅したはずの縄文人に遭遇する。縄文人は二人に友好的で善良な人種だった。二人は善良な縄文人に発展した日本の文化を見せようと東京へ連れ出すが縄文人はモーレツな現代人に恐れをなしてしまい山奥へ帰っていった。



原始さん

【一九六九(昭和四四)年十月一日】

●発 表 誌—文春漫画読本(文芸春秋)
●登場怪獣—原始さん

＊昭和七〇年、巨大な原始人が現れ都会の建物を次々と破壊していった。巨大な原始人は「原始さん」と呼ばれ自衛隊の攻撃にもびくともしない。原始さんは破壊活動を続け十年もすると東京は大自然のジャングルになり人々は清々しい快感を感ずるようになった。そして原始さんはアメリカに向かって太平洋を泳いでいった。

水木しげるの怪獣漫画名鑑



天国

【一九七〇(昭和四五)年十月二五日】
●発 表 誌―ビッグコミック(小学館)
●登場怪獣―ブンメイ

＊人類が文明を持たずにのんびり暮らしいた時代、山のように巨大な怪物が現れて人類を驚かせた。怪物は土を食べ土器や土鍋といった便利なものを排出する。怪物は人々から神と崇められまたブンメイという名が授けられた。しかし一年もすると人々はブンメイの食べる土を掘りだすために日夜働かされる。ブンメイは人々にとって本当に神様だったのだろうか？



首かざり

【一九七〇(昭和四五)年九月十日】
●発 表 誌―ビッグコミック(小学館)
●登場怪獣―(名もない怪獣)他

＊人類創生の時代、一人の男は若い女の後をつけた。その女を自分の物にしたいからである。女はやがて自分の集落へ辿り着き、男は集落の仲間に取り囲まれる。しかし男は自分の力を誇示してみせた。この時代は力のあるものが女を手にいれる事ができた時代だったからである。だが、後からやってていた丸太船の男は「名もない怪獣や鯨をやっつけた」と男以上の力を誇示するのである。

水木漫画の中の怪獣映画

　待望久しく、皆様に今回お届けするの水木伝説は『怪獣漫画』特集。という事ですが、水木先生の作品群をジャンル別に分けても『怪獣漫画』というジャンルは存在しないのではないでしょうか。『怪獣漫画』というより、主人公が何かに影響され体に異変が起きて『怪獣化』するという変身モノのように思いますが、まぁそんな小難しい事はいうのはやめて今回の『怪獣漫画』特集を大いに楽しみましょう。そして、これを期に水木先生の作品リストに『怪獣モノ』を追加しましょう。

　さて、私は馬場会長とともに『怪獣』という言葉には大変よわいのです。そして水木先生にもよわいのです。一応、今回のこの原稿を書くにあたり、何本かの巨大な怪獣がでる話を読みました。読んでいると「どこかでみたな」という感じのコマがあり、気いてみましたら、なんと『怪獣映画』と同じじゃないですか。で、そんなコマを拾っていこうと思いました。ここに書きました事はホンノごく一部。もし「これもそうや」というのがありましたらご一報下さい。この号が再版され、改訂される時は追加される事だと思います。

　さて、最近の怪獣映画等は、突然登場して暴れまくりますが、昔の怪獣映画ではあまりそんな事はなかったのです。まず、出現するまでのプロセスが割とテイネイに描写されていました。そんな中で怪獣は割と南方に多く生棲しているのです。『大怪獣バルゴン』はニューギニアの奥地の『虹の谷』、ゴロザウルスは南太平洋のモンド島、ガッパも南海の孤島、ジャイガーは南太平洋のウェスター島と枚挙にいとまがありません。

　さて、水木先生の作品でも南の島を舞台にストーリーが始まるものがあります。ゲゲゲの鬼太郎の『大海獣』がそれですが、これはある探検家がニューギニアで大海獣を目撃したところから始まります。これと良く似た話が怪獣映画にもあります。それは昭和四二年の東宝作品の『キングコングの逆襲』です。モンド島では巨大な猿神伝説があり、それを主人公達が目撃するところから始まります。もっとも、この主人公は前々から、この猿神の生存説を追っていたフシがあります。『大海獣』のある探検家とは多少ニュアンスが違いますが。

　私はやはり怪獣は自然の中で、力強く生きて欲しいと思っていますし、ドキュメンタリー番組や森村などには我々の未だ知らない未知の動物がいてもおかしくないと思ったりもします。（かの『若者の家』も夜になると得体の知れない物体が出そうで）当時は





米吉和久

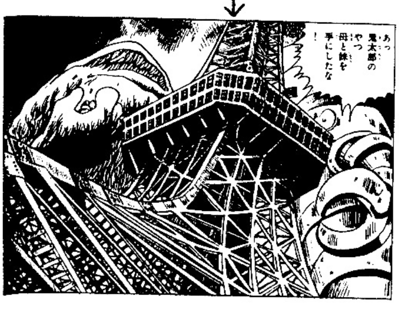
まだ未開発地域だったので、こういう巨大な怪物がいてもおかしくなかったのでしょう。よく怪獣映画で、舞台として使われたようです。それが、日本に攻めてくるのです。いかに日本人はおろかか…

なんか、タイトルと違ってきましたが、タイトルどうりに話をすすめますと鬼太郎と探検家がニューギニアに到着しベースキャンプを張るところがあります。鬼太郎が水汲みに行っている間に風が吹いて足音だけが聞こえてくる場面があります。そこは『ゴジラ』（S・二九）の大戸島に暴風雨の中を島に上陸してくるゴジラ（この時は、ゴジラは足と声しか見せません）とよく似ていると思います。次に日本に帰国する船の甲板に立つ天才科学者　山田の場面がありますが、ここに望遠鏡と金持ちの上品な女性を立たせると『ゴジラ』（S・二九）の大戸島に向かう調査船の上の宝田明と河内桃子になるのではないでしょうか？

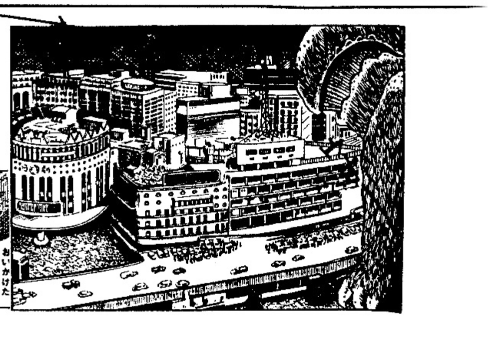
鬼太郎が『大海獣』になって海に飛び込んで、海上に出現する横長のコマは、大映映画『鯨神』（S・三七）の凶暴な巨鯨を横から見た写真とよく似ています。『大海獣』が初上陸するあたりは灯台がありますように、ここでも似ている映画があります。『大怪獣ガメラ』（S・四〇）です。灯台守の子供がガメラと遭遇する場面ですが、構図もほぼ一緒です。ちなみに『大海獣』は灯台を破壊しません。

さて、東京に出現し探照灯に照らされた『大海獣』ですが、品川沖から上陸して、高圧鉄塔に行く手を阻まれた『ゴジラ』（S・二九）にも似ています。また、もう少し細かく見て行きますと、山田を捜すコマは『ゴジラ』（S・二九）で、何と良く見ると東宝のマークが書かれています。さらにコマのスミには『大怪獣ガメラ』（S・四〇）でガメラに破壊されるダンスホールが書かれています。

何と言っても、この『大海獣』のメインはロボット大海獣との決闘シーンですが、この場面は冒頭にも挙げました『キングコングの逆襲』（S・四二）でのコング対世界で一番高い玩具メカニコングとの決闘とまったく同じといっても過言ではないでしょう。東京タワーを挟んでの構図はまさにコングとメカニコングのまま。と言っても調べて見ますと、この『大海獣』は昭和四一年の作品で『キングコングの逆襲』よりも一年も先に描かれています。という事は、この『大海獣』を見て脚本家と円谷英二特技監督と本多猪四郎監督が『キングコングの逆襲』に取り入れたのではないかと思ってしまいます。尚、近年出版されました岩波新書『続・妖怪画談』の中でもふれているように、このパ







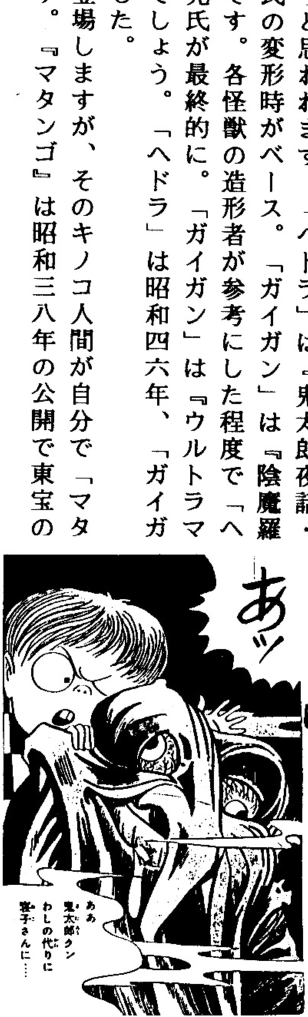
ターンは四〇年前に水木先生が考案されていたようですね。しかし、東京タワーも良く破壊されますね。モスラ、ガメラ、ガラモン、妖怪ガンマー(スチールのみ)ETCと、『大海獣』を中心に書きました。今回、この原稿を書くにあたって『別冊新評・水木しげるの世界』等も参考にしましたが、どうもこの『大海獣』は水木先生の紙芝居作品(著者は未見)の『人間ゴジラ(百巻)』と同じく『人鯨(十五巻)』を足したような感じです。また、先生は『ゴジラ』(S・二九)を何回も見ており、その心に残った場面をこの『大海獣』で意欲的に絵にしているのではないでしょうか?

先に進めましょう。今でも手に入る、ちくま文庫の「妖怪たちの物語」に収録されている『やまたのおろち』(S・四二)の中の一コマに、口を開いて光線を吐く竜のアップのコマがあります。これはどう見ても「キングギドラ」ですね。特に頭の三本の角、下アゴのトゲ、目の付き方、『怪獣大戦争』(S・四〇)、『三大怪獣　地球最大の決戦』(S・三九)の「キングギドラ」です。と、書いて見たものの皆さん、どう思われますか?

最近、ポプラ社より出版されました『鬼太郎国盗り物語』の第五巻に収録されております「怒り狂う地下マンモス」に登場します怪獣「ヤドカリマンモス」は、円谷英二が没して作られた東宝映画『ゲゾラ・ガニメ・カメーバ　決戦！南海の大怪獣』の中に登場するカルイシガニの変身怪獣ガニメです。そのガニメに多少アレンジが加わっています。この映画一九七〇年に公開されました。

最近、特撮関係の本で「ヘドラ」と「ガイガン」のデザインに水木先生がタッチしていたという様な事が書かれていますが、「ガイガン」にしろ「ヘドラ」にしろ、そのデザインベースとなっているという事だろうと思われます。「ヘドラ」は『鬼太郎夜話・吸血木と猫娘』にでてくるトランク永井氏の変形時がベース。「ガイガン」は『陰魔羅鬼』がそれぞれベースとなっているだけです。各怪獣の造形者が参考にした程度で「ヘドラ」はこの映画の監督でもある坂野義光氏が最終的に。「ガイガン」は『ウルトラマンA』の超獣をデザインした高橋昭彦氏でしょう。「ヘドラ」は昭和四六年、「ガイガン」は昭和四七年にそれぞれ公開されました。

『化鳥』という作品にはキノコ人間が登場しますが、そのキノコ人間が自分で「マタンゴになった」と説明する個所があります。『マタンゴ』は昭和三八年の公開で東宝の





作品。ちなみに『化鳥』は「いずみ出版」より昭和三七年に貸本漫画として水木先生の手で描かれています。ここでも「マタンゴ」という言葉が映画より先に使われています。映画は原作としてウイリアム・ホープ・ホジスンの『闇の声』と表記し、SF作家の星新一、福島正美が脚本したという風に表記されています。同じホジスンの原作を『化鳥』では水木先生流にアレンジしているのではないでしょうか？

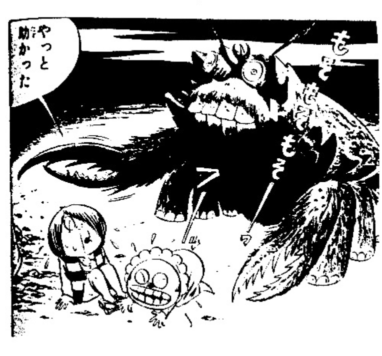
先述したポプラ社の『鬼太郎国盗り物語』ですが、ここに一つの重要な特撮キャラクターがいました。この原稿もきちんと整理して書けばよかったのですが、泣きむし怪獣ナキラのスキをみながら書いてますのでバラバラですが『埴輪軍団登場』と『妖怪城の大攻防戦』には『大魔神』が登場しています。一番『大魔神』らしくみえるのは後編の方にでる鬼太郎を踏みつぶそうとしている奴で、腰にベルトを付け加えると『大魔神』になります。この『大魔神』は昭和四一年の公開で、その年に三本公開されました。この鬼太郎を踏みつぶそうとしている『大魔神』も先に書きました「ヤドカリマンモス」の「ガニメ」同様、細部を細くアレンジしているようです。

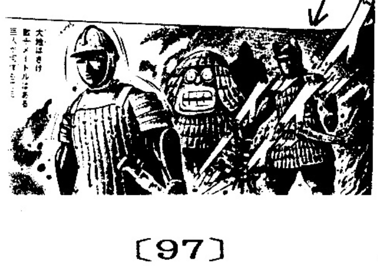
さて、いろいろとみてきましたが、まだまだ特撮映画と同じ様な場面、その特撮映画に登場したキャラクターを使用した個所をみてきましたが、この一本をあげてこの原稿を締めくくりたいと思います。

最後に挙げますのは『キンドコング』で、昭和五二年の水木先生の作品です。例の萩本欽一氏が、番組中に巨大化して、巨大なモグラと闘うという作品で、萩本氏は狸の呪いで巨大化します。これは『ウルトラQ』の「変身」で使用されたパターンで、『ウルトラQ』では日本には居ない「モルフォ蝶」という蝶の毒粉を浴びて巨大化します。『ウルトラQ』の第二二話でこの「変身」は恋愛モノのようで、放送前のタイトルは「変身と変心」でした。

『キンドコング』と闘うモグラですが、これは『ウルトラQ』の第八話「甘い蜜の恐怖」に出現した大モグラのモングラーを使用したような感じです。多分この年に、映画の『キングコング』がリメイクされて公開された年だと思うので、水木先生流のパロディーで、この『キンドコング』を書き上げたんだと思います。なお『ウルトラQ』は、昭和四一年のテレビ作品です。

ここにあげた特撮作品は今でもビデオやLDで見れますので、見る前や見た後に水木先生の作品を読むと、また水木先生の作品が一層オモシロク読めるのではないか、私以上に新たな発見をできるのではないかと思います。







難産でした…

水木しげるFC始まって以来の大難産！『怪獣漫画特集』がようやく完成にこぎつけたが、何故？こんなに発行が遅れてしまったか？いいわけがましくなってしまうが、この場を借りて説明させていただきたい。

まず、『怪獣漫画特集』の企画が上がったのは一九九四年のこと…

毎年夏の恒例行事『サマーイベント』で、初参加の佐々木卓氏が冗談半分（本人は本気）で言ったのがきっかけだった。水木しげるの初期作品で、後に『ゲゲゲの鬼太郎・大海獣』にアレンジされることとなった『怪獣ラバン』が一般に復刻されていなかったため、今回の特集で「復刻しよう！」と当時の編集長「瀬戸氏」と会長の間で合意し、『怪獣ラバン』の資料探しと発案者佐々木卓氏の特集記事作成でスタートした。発案者の佐々木卓氏は、「大伴昌司氏の怪獣図鑑の様なものにしたい！」という希望で彼に原稿の殆どを担当することにしてもらい、探していた資料も九三年から運営スタッフをしてもらっていたM氏が中野書店の複刻版を所有していたので彼に複製の了解をもらい、水木先生にも復刻の許可を得て順調に進んでいる、はずであった。しかし…復刻本の所有者であるM氏が突然協力を拒否！理由は「本からコピーを取るときに本が痛むので…」だとか。



ここで作業が一時中断してしまう。そして翌年は阪神大震災！約1年間は水木伝説の活動が不能になってしまい九六年には新スタッフ・栗本典明氏がある古書店から『怪獣ラバン』の復刻本をGET！作業は再び開始されるもまたまたM氏が作業を中断させる。その理由は…

①―特集の発案が安易過ぎる。水木漫画に『怪獣漫画』というジャンルはないし、『怪獣ラバン』という作品もそんなに面白いものではない…

②―中野書店の復刻本から複製するのに問題がある。オリジナルからの復刻なら問題は無いが復刻本からの複製だと絶対に中野書店からクレームがくる…

③―企画そのものが面白くない。それよりも他の貸本漫画作品の復刻を優先させるべきだ。

だそうである。

結局、M氏の発言を優先させ『怪獣漫画特集』は白紙に戻り先に『地獄流し』を発行する。その後もM氏は水伝内で何度もこういったスタッフ間の衝突が絶えず、九七年に脱退。反対する者が居なくなったので残ったスタッフは『怪獣漫画特集』の作業を再開！だがM氏の助言もまんざら間違ってはいないと考え。『怪獣ラバン』の復刻は見合わせストーリーダイジェストのみとした。そんなこんなで企画から4年！難産の末ようやく『怪獣漫画特集』は完成した。スタッフの皆さんそして会員の皆さん、本当にご免なさい。

文責・馬場茂幸（会長）




公害八俣大蛇
こうがいやまたのおろち
海洋汚染
工場排気
食品公害
排気ガス
水質汚染
薬品公害
騒音公害
農薬汚染
水木しげる



みてよ あれだけ 清かった 肥の河も ……！
近ごろは 悪臭を はなち 魚も 住めない 魔の河と 変りはてた
八人あったお前の 姉も公害おろち にもってゆか れて 残るのは そなただ けだ
実はあたしも 近ごろは 骨が 痛んで……
あな おそろしや おろちに もってゆか れた お前の 姉たちも
必ずおろちの くる前には そうじゃった
ええっ


やがておろちがお前を招きにくるじゃろう……
うう う かなしや な……
とても こんな国に はすめねえ
なにか かなしい ことでも あるのかネ
あっ
あやしいもの ではない
この国を治めようと 思っている 須佐(すさ)藤男命(とうのみこと) だ、別名 栄ちゃんとも いわれ親しまれている
なにか悩みが あったら なんでも 話して ちょう
ばあさん 強そうな いい人の ようじゃ
どうせ 金無田比売(かねなしだひめ)も 公害おろちに もってゆかれる 身だ


いっそ須佐藤男命に差上げておろちを退治してもらおうじゃないか
それがええそれがええ
比売を下されば喜んで退治いたしましょう
須佐藤男命さま大丈夫でやんすか
バ、、、ンユウをふるえばわけはない
では八つのい、かめに血税を入れて下さい
ポ
それをのみにきたところをバッサリやりやしょう
おやまたい、出すのでやんすか


ギャハ
しぼられるのですか
なにごともタダというわけにはゆかない
公害
おろちがおそろしかないの
やがて大きな音をたてておろちがくる
ドロドロドロン
ゴロゴロゴロ


まておろち
誰かと思ったら須佐藤男命ちゃんじゃない
おらあおめえを切ってこの国をうまく治めるのだ
ばかな
あんたの着物その銅剣すべてあたしが作って差上げたものじゃないの
人命よりお金が大切だというリクツがまだ分んないの
分ってるけどお前を傷つけなけりゃ国は治まらねえんだヨン
あなた本気？
我々を殺せばあんたの資金源は断たれ
政権の座からすべりおちるは必定よ
親方ちょっと相談が……
うむ
そうなるだろうと思っていた


ひそひそひそ
じゃあそういうことにしてかえるべえ
あっ須佐藤男命さまのおかえりじゃ
いやどうもごくろうさんでやんした
いやいや
戦況はどうで……
うむおどかしておいたよ
おどかしたってなんにもならんでしょう退治しなきゃあ
いや、公害おろちは、あなたがたが御心配なさるほどでもない
人間はどんどん死んだり苦しんだりはするが、物はでき豊かになるからねえワカル?
これアホやないかなあ



お父さん お母さん もうおっしゃらないで……
須佐藤男命さまは公害おろちとは深い仲なのです
比売(ひめ) だまりなさい
俺はこうしか生き方がねえんだ
ゆるしてケレ
さ 比売(ひめ) ゆきましょ
おおおおお
肥の河はいぜんとして公害おろちの天国だったとか……



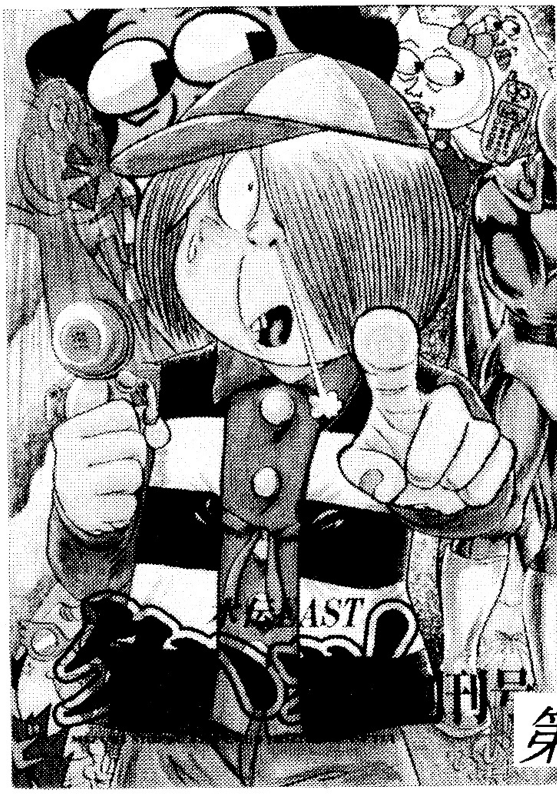
水木伝説ＸⅣ

《怪奇スリラー特集》

- ■ 庭に住む妖怪
- ■ 約束（黒のマガジン版）
- ■ 鉛（黒のマガジン版）
- ■ 木枯らし

※初復刻含む貴重な全４作品収録


フハッ増刊4
大海獣
只今製作中！乞う御期待！
ゲゲゲの鬼太郎（アニメ版第4部）特集



水伝ＥＡＳＴ
タノハッ！創刊号

価格＝１冊１０００円（送料250）

水木ＦＣ関東支部・水伝ＥＡＳＴの会誌第１号。漫画あり、小説あり、関東ならではのレポートあり、復刻あり、特集ありで本家フハッを早くも凌駕した。年内に完売しそうな勢いなのでご講読はお早めに……

連絡先：〒１４２－００６４
東京都品川区旗の台６－25－12－101

第２号は'98年末発行！

水伝ＥＡＳＴスタッフ募集

君の水木作品への熱い思いを、クリエイティブな仕事で表してみないか？？
なんて力んじゃったけど、まだまだ完成形ではないのでやる気ある人募集

■資格➡水木伝説の会員、及び水木伝説発行物の（本部・ＥＡＳＴ含む）購読者である者で、無償（つまりお給料無し）の活動に喜びを感じられる人。性別、年齢は問いません。
連絡が忠実にとれる方、電話連絡もＯＫな方尚可

■仕事内容➡現在は主に会誌「タハッ」の編集・発行をメインに行っております。今後は水伝本部の主催イベントの手伝い・水伝ＥＡＳＴならではの企画でイベント開催も予定しております。
現在都内で（不）定期的にスタッフの集会を開いております。興味のある方は、一度参加してみてはいかがでしょうか。詳しい仕事内容、集会の日時などを知りたい方は８０円切手同封の上、
〒１４２－0064 東京都品川区旗の台６－25－12－101 幸治（様）方Ｅ係迄。

水木しげる公認ファンクラブ・水木伝説

入会案内

サークル活動趣旨

●日本漫画家の重鎮『水木しげる』先生の公認ファンクラブです。我々『水木伝説』は水木しげる先生の初期作品（一般に貸本漫画と呼ばれる）から最新の作品、更に『ゲゲゲの鬼太郎』や『悪魔くん』といったアニメや実写で映像化された作品までこよなく愛し研究する団体です。勿論作品に取り組むだけでなく、全国の水木しげるファンとの交流もとり、水木しげるファンの輪を広げようと絶え間なく努力してまいりますので貴方の入会を心よりお待ちしております。

サークル入会資格

① 水木しげる先生の想像世界をこよなく愛する者であること。
② 水木しげるファンであることを誇りに思える者であること。
③ 水木しける先生が日本の漫画家で一番だと思う者であること。

サークル活動内容

◎ 年４回会報『フハッ』の発送(会員紹介、水木最新情報等掲載)
◎ 年２回会誌『水木伝説』の発送（水木しげる作品研究、復刻本）
◎ 年１回会員交流の『水伝まつり』開催（全国規模のイベント）
◎ 他、オリジナル水伝グッズの制作。

入会特典

★ 当ＦＣの関連グッズが会員割引で買えます。
★ 会報『フハッ』誌上にて抽選プレゼント等あります。

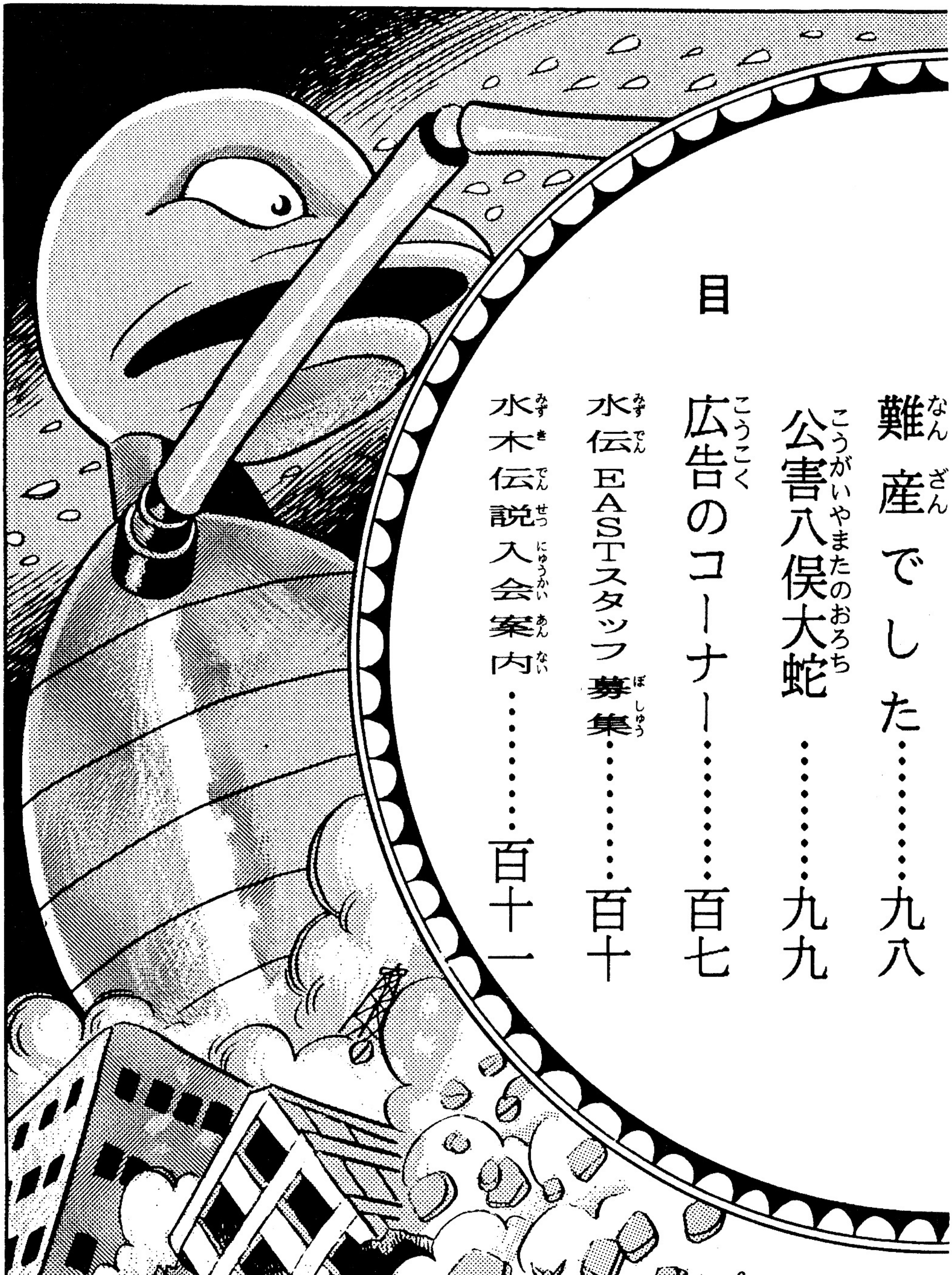
入会申込み方法

■ ８０円切手同封の上下記住所まで「水木しげるＦＣ・水木伝説」入会希望と書いて封書にてお申込ください。

〒６５４－０１
神戸市須磨区北落合３丁目３８番地２１７－７０９
馬場方　水木しげるＦＣ・水木伝説

次





目

編集後記

☺ 世紀末を迎えて水木先生の関連商品ラッシュが凄まじい！講談社の貸本漫画完全復刻版、やのまんの妖怪伝カードが１０００種類以上に達し、セガサターンから妖怪図鑑（講談社ＣＤロムの総集編版）が発売され角川書店の季刊「怪」も第参号を数えた！９８年末には「水木しげる漫画家生活５０周年」と題し妖怪画集が超豪華版で全８巻、約５万円で発売されるらしい。その他でも雑誌の特集や復刻本、全て揃えていたらお金がいくらあっても足りません！でも欲しいんだよね、ファンとしては……

☾ 「ゲゲゲの鬼太郎」のアニメが放送終了して間もないが、既に第５部の新作が検討中であると耳にした。やはり製作は東映とフジテレビだそうであとはスポンサーと時間帯が問題となって来るだろう。２年後に再スタートを目標としてるそうで、ファンの一人としては今回以上に原作に近く、グレードの高い作品を期待している。
また水木伝説としても今回の第４部の放映終了を機会に特集号を製作中である。水木伝説の会員が選んだ作品ベスト５！関連グッズ完全リスト！さくひんリスト！等の内容で、新作が放送されるまでに完成させたい！

☹ 最近の出版物は限定版で入手が困難だったり、価格が高過ぎて手が出せなかったり、不景気の世の中に逆行した商法が目立っているような感じもする。一部の古書専門店は予め古書価格が高昇することを前提に買占めを行ったり、庶民にとっては「ほしがらされるだけでガマンするのが文明なんだよ」の『カモイ伝』のセリフそのままの現状である。しかし…諦めるのはおよしなさい！庶民の味方・水木伝説！必ず復刻してご覧に入れます！

☆ ようやく完成にこぎつけた『怪獣漫画特集』！次回配本は『怪奇スリラー特集』です。未復刻作品の「庭に住む妖怪」を始め貴重な作品数本を収録してお届けします。引き続き『別冊水木伝説Ｖ・駆逐艦魂』は一般売り無しの会員のみ配布本です。

水木伝説ＸⅢ
{怪獣漫画特集}

★平成10年９月20日発行
★表紙／絵(古賀弘明)
★裏表紙／絵(水木しげる)、レイアウト(佐々木卓)
▲編集／佐々木卓、馬場茂幸
▲担当／米吉和久、竹内丈
▲協力／北迫耕治、森田元弘、高橋知和、栗本典明、幸治亮、石川明子、
竹田勝二、ミスター高井
★多謝／水木しげる先生、水木プロの皆様、株式会社・やのまん様
★印刷／太陽出版株式会社
制作・発行／水木しげるＦＣ・水木伝説
〒６５４−０１５１
兵庫県神戸市須磨区北落合３丁目３８番地２１７号練７０９号室


ゴジラは実在する!?
怪獣
ラバン
ゴジラの血を巡る２人の
青年の数奇な運命
半世紀の時を越えて、
今ここに蘇る幻の名作
制作／配給
水伝
水木伝説
全国水伝系にて近日公開